

Title	音楽家に演奏する事の出来る新しい場を与え聴衆に新しい音楽体験を与える都市基本構想案
Sub Title	Activities in the community that maintain musical activities and urban master plan based on new music industries supporting such activities
Author	奈雲, 政人(Nagumo, Masato) 奥出, 直人(Okude, Naohito)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2013
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2013年度メディアデザイン学 第318号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002013-0318">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002013-0318</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2013年度（平成25年度）

音楽家に演奏する事の出来る新しい場を与え  
聴衆に新しい音楽体験を与える  
都市基本構想案

慶應義塾大学大学院  
メディアデザイン研究科

奈雲 政人



本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に  
修士(メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

奈雲 政人

審査委員：

奥出 直人 教授 (主査)

加藤 朗 教授 (副査)

中村 伊知哉 教授 (副査)

修士論文 2013年度（平成25年度）

音楽家に演奏する事の出来る新しい場を与え  
聴衆に新しい音楽体験を与える  
都市基本構想案

カテゴリー：デザイン

論文要旨

OIKOS MUSIC Groupではミュージックインコミュニティというプロジェクトを行っており、6社の参加企業と共にコンソーシアムを組み、そこでは音楽が中心のコミュニティとはどのような物かという事が議論された。私は2013年2月から参加し、コンソーシアムでの議論に加え調査を行い報告書にまとめ、そこから音楽活動を恒常的に維持できるコミュニティとそれを支える新しい音楽産業を基盤とする都市計画基本構想案の作成と提案を行った。現在コンソーシアムでは基本構想案を元に、幾つか新しいプロジェクトが行われている。本修士論文はこの都市基本構想案作成の経緯と概要の説明と、基本構想の具体化について述べるものである。

キーワード：

音楽、音楽産業、都市デザイン、コミュニティ、地域

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

奈雲 政人

Abstract of Master's Thesis of Academic Year 2013

Activities in the Community that Maintain Musical  
Activities and Urban Master Plan Based on New Music  
Industries Supporting such Activities

Category: Design

Summary

At OIKOS MUSIC Group, we conduct a project called “Music in Community” along with a consortium of six sponsor companies. In the consortium, we discussed what and how is a “community centered in music.” My participation in the discussion began since February 2013, created a research report of the current music community and an annual report of the activities in the consortium. This masters thesis proposes a form of community that enable continuous career in music for musicians and a master plan for a city established upon the music industry. Based on the master plan, the group is currently conducting several projects. This masters thesis also explains the detailed process of the establishment of the master plan and how the master plain is realized.

Keywords:

Music, Urban Design, Community

Graduate School of Media Design, Keio University

Masato Nagumo

# 目 次

第1章 序章	1
1.1. 背景	1
1.2. 報告書作成の経緯と目的	2
1.3. ミュージックインコーソーシアムの参加企業	4
株式会社 白寿生化学研究所	4
株式会社株式会社シブヤテレビジョン	5
日本コロムビア株式会社	6
株式会社 ニュースペース・コム	6
株式会社 三菱総合研究所	7
第2章 報告書作成	8
2.1. 調査項目の選定理由	8
2.2. レイアウトについて	9
調査の結果	10
第3章 音楽を専門とする人材の居住パターンに関する調査	12
3.1. 住居×音楽	14
ミュージション	14
ヴェルディ憩の家	15
松濤	15
3.2. 高音質音源配信	16
e-onkyo music	16
Krypton HQM Store	17
OTOTOY	17

3.3. 音楽番組 . . . . .	18
schola . . . . .	18
佐野元春のザ・ソングライターズ . . . . .	20
Blockfm . . . . .	20
3.4. 学校公演 . . . . .	21
3.5. ニッチな音楽 . . . . .	22
シャンソン . . . . .	22
タンゴ . . . . .	23
三味線 . . . . .	23
フラメンコ . . . . .	24
<b>第4章 代々木・渋谷から横浜までの東横線沿線の音楽施設を調査</b>	<b>28</b>
4.1. コンサートホール . . . . .	30
白寿ホール . . . . .	30
八ヶ岳 . . . . .	32
Musicasa . . . . .	33
エッセン歌劇場（ドイツ） . . . . .	34
神奈川県県民ホール . . . . .	36
サントリーホール . . . . .	37
4.2. ライブハウス . . . . .	39
東京ドーム . . . . .	39
武道館 . . . . .	40
O-Group . . . . .	41
4.3. 音響設備 . . . . .	43
Sound System . . . . .	43
4.4. 貸し音楽スタジオ . . . . .	43
NOAH . . . . .	44
音楽館 . . . . .	44
ビーチサイド . . . . .	45
4.5. カラオケ . . . . .	45

カラオケ館	45
カラオケの鉄人	46
カラオケパセラ	47
カラオケ歌広場	47
カラオケアドアーズ	48
第一興商	49
セガカラ	49
1人カラオケ	51
<b>第5章 東横線沿線に音楽の能力がある人材の移動についての調査</b>	<b>53</b>
5.1. 駅前演奏	57
横浜	57
5.2. 野外フェス	57
FUJI ROCK FESTIVAL	57
RISING SUN ROCK FESTIVAL	58
MTV ZUSHI FES.	59
Free Dommune	60
lollapalooza	61
Mid Green Stage	62
フェスのビジネスモデル (ap bank)	63
5.3. 飲食×音楽	63
BAR TRACK	63
Spiral Cafe	64
俺のフレンチ	65
5.4. ニッチな音楽	66
シャンソン	66
タンゴ	67
三味線	68
フラメンコ	69
5.5. 音楽教室	71

5.6. 都市基本構想・道玄坂街作り研究会 . . . . .	72
全体構想（副都心線） . . . . .	72
5.7. 道玄坂まちづくり研究会の成果 . . . . .	76
<b>第 6 章 2013 年度の活動</b>	<b>78</b>
6.1. forme sounds . . . . .	79
背景 . . . . .	79
活動方針 . . . . .	81
活動結果 . . . . .	82
考察 . . . . .	82
6.2. Prelude sounds . . . . .	83
概要 . . . . .	83
背景 . . . . .	83
活動について . . . . .	83
Youtube チャンネルの趣旨 . . . . .	84
撮影条件 . . . . .	85
6.3. コロンビア音楽教室 . . . . .	85
概要 . . . . .	85
背景 . . . . .	86
活動について . . . . .	86
6.4. 展望 . . . . .	87
謝辞	88
参考文献	89

# 第1章 序 章

## 1.1. 背景

20世紀の音楽は複製技術の登場と発展に大きく支えられている。アナログ再生技術によってパッケージとしての価値を持ち、一大産業として成長した音楽ビジネスはデジタル技術の登場でその価値を大きく変動させた。音楽のデジタル化は録音技術に始まり、さらにCDの登場によってパッケージのあり方が一新され、iTunesの登場が視聴方法を大きく変えた。またデジタル通信網の発達も音楽の流通をパッケージからネットワークへと変化させた。現在ではCDを超えた音質でいつでもどこでも音楽を鑑賞できるようになってきている。ここに至って、パッケージ商品としての音楽の価値は飽和したといえる。音楽産業全般の成長の鈍化あるいは現象がこの動きを反映している。

一方で新しい音楽の価値が生まれている。それはパッケージ化された「伴奏」に合わせて歌唱を楽しむカラオケに始まり、現在クラシック、ジャズ、ポップスを問わず、ライブ演奏の盛況に見られるパフォーマンスとしての音楽の価値である。それはつまり、物ではなくて場所に付随する音楽である。また、youtubeなどの新しい情報流通の出現によって、演奏者は切磋琢磨し合う事でレベルは近年上がっており、ネット上では「弾いてみた」の様な自撮り演奏の配信や、「goose house」の様に演奏家のセッションを定期配信するチャンネルも多い。

明治に始まった日本における西洋音楽の受容は戦後の高度成長と持続する平和の中で大きく展開して受容から自己表現へと転換し、クラシックの世界的な音楽家を多く輩出しただけでなく、独創的なポップスの音楽家も多く生み出し、またそれをささえた聴衆も多い。日本社会における音楽性に目を向けると、質と



量は非常に充実しており、現在も独自の進歩を続けている。また音楽を支える楽器や録音再生機器の発達も日本の企業が主導権を持って進めてきた。

しかし、生演奏の音楽は閉じた場での演奏から抜け出せていない。その結果、オーディエンスを失い、演奏者はオーディエンスが居ない所では演奏ができないという現状である。18世紀以来、新社会の登場により音楽家達は一般市民に対して音楽を聞かせる為にコンサートの様に壁の中で演奏を始めた。そこで演奏する人たちは演奏家と呼ばれる様になり、この事が音楽が閉じた物になるきっかけになっている。閉じた場所に人を呼び込むことにおいて、音楽という物は縮小していつてしまう。聴衆が音楽好きのみ残り、知識がない一般の人々にとっては疎遠な物になってしまうからだ。そんな中、音楽産業に携わる人々の一部は、閉じた所でのみ音楽が演奏される事対しての危機感を認識している。開かれた音楽を目指す物として、近年では東京文化会館をメインに、東京国立博物館、国立科学博物館、東京都美術館、国立西洋美術館などの文化施設や、上野地域の街角などでクラシック音楽のコンサートを1カ月の期間中に、有料・無料合わせておよそ100公演行う「東京・春・音楽祭」など壁のない音楽が行われた。開催中には音楽好きだけでなく、無料の公演には散歩をしている人や、デートをしているカップルなど普段クラシックを聞かない人々が足を止めて耳を傾けていた。しかしこのような取り組みは一部に過ぎず、生活の中で音楽と触れる機会は少ない。

2013年3月16日に東京メトロ副都心線が東横線と相互直通運転し、東京の東と西の地域の行き来が容易になる。これは渋谷から横浜の音楽に価値を見いだしている人々が多く生活して地域と、それを支える音楽家がいる地域を繋ぐ事という事になるのではないか。そのことにより、将来的に渋谷から横浜に至る地域は音楽パフォーマンスによって場所の価値が高まる場所になると考えられる。

## 1.2. 報告書作成の経緯と目的

OIKOS MUSIC PROJECTでは2012年4月より公益財団法人ローランド芸術文化振興財団の協力のもと二期生の水上寿美江によって立ち上げられたプロジェクトである。総合大学に実技の音楽教育を開講する事を目的にミュージックプロ

プロジェクトがスタートし、ローランド、龍角散、白寿のサポートを受け活動を続けている。

プロジェクトを進める中で、現在の音楽産業の背景の元、コミュニティの開けた音楽教育と音楽演奏に代表されるパフォーマンスを集合的に感じ取ることが出来る都市デザインをすることによって、音楽家という資産をコミュニティに戻し、新たな音楽産業の基盤を作る事を目的に6つの企業と2013年1月24日に慶應義塾大学メディアデザイン研究科は共にコンソーシアムを立ち上げる事となった。これをミュージックインコミュニティコンソーシアムとする。各社は新しい音楽産業に関わる新事業をコンソーシアムを通して起こす事を目的としている。詳しい参加動機と、目的に関しては次のセクションにて述べたい。

音楽を中心とした大規模なコミュニティ活動としてザルツブルクの音楽祭が上げられる。クラシックから現代音楽までをカバーし、創設から90年たっているにもかかわらず上演スケジュールも上演場所も増大している。この期間、都市自体が舞台になっており、著名な音楽家による演奏会だけではなく、街中の様々なスペース、小さな教会、レストランで、たくさんのアーティストが同時多発的に演奏していることも特徴である。

ミュージックインコミュニティコンソーシアムは3月8日までの計5回が度、株式会社白寿生科学研究所の会議室にてミーティングが行われ、音楽が中心のコミュニティとはどのような物かという事が議論された。ここで議論された事から実際にコミュニティを作成するための基本構想を作るにあたって、如何にコミュニティを音楽家と聴衆で作るかという事を理解する事目的に調査を行った。調査項目として、2013年3月16日に東京メトロ副都心線が東横線と相互直通運転する事により音楽を専門とする人たちの居住パターンが変化すると考えられるため、音楽を専門とする人材の居住パターンに関する調査、ライブハウス、コンサートホールなどの需要と供給の新たな可能性を研究するために代々木、渋谷から横浜までの東横線沿線の音楽施設を調査、提供できる演奏（ライブ、コンサート、レッスンなど）の検討をする為に東横線沿線に音楽の能力がある人材の移動についての調査を行った。本プロジェクトにおいて、コンソーシアムの運営、各調査とまとめ、報告書の作成を私が行った。結果、それらをまとめた物は74ペー

ジ、16章に別れており報告書は製本され、6社に受理された。現在、この報告書を元にプロジェクトの活動は行われている。本修士論文はこの報告書作成の経緯と概要の説明と、それを元に現在行われているプロジェクトについて述べるものである。

### 1.3. ミュージックインコーソーシアムの参加企業

参加企業のコンソーシアムへの関わり方についてそれぞれ述べて行きたい。

#### 株式会社 白寿生化学研究所

株式会社 白寿生化学研究所<sup>1</sup>は、家庭用・医療用ヘルスケア機器および食品などの開発ならびに製造販売を行っている会社である。取締役営業本部長の原和久浩之氏、営業本部広報宣伝部の日高正人氏、白寿ホールディレクターの内倉真紀子氏がコンソーシアムに参加している。原和久氏はコンソーシアムミーティングが始まる以前、0回目の会をヒルズアカデミーで行った時からの参加である。株式会社白寿生化学研究所は、最上階にコンサートホールを持つ自社ビルを代々木八幡に10年前に建てた。場所が少し渋谷から離れている事もあり、出来たばかりの頃は赤字が出てくるなど運営が難しかった。そんな中でリクライニングシリーズという1500円という画期的な値段でコンサートを始めるなど、10年間試行錯誤を続けている。しかしデフレの中、チケットの販売は上手く行かないのが現状であった。そんな中で、11年目から白寿ホールをどういった方向にして行くかという議論を社内で行っており、その議論を中だけで行うのではなく、コンソーシアムのメンバーと議論して行きたいという事で参加している。また、白寿ホールと近隣の飲食店で提携することで、クーポンの発行をするなどの活動をしているなど、コミュニティデザインの考え方を中心に出来る事を模索している。また、日高正人氏はクラシックを聴くという事に壁があるのではないかと考えており、身軽に聴ける様な環境、広報活動を通して裾を広げていきたいと述べている。内倉氏

---

<sup>1</sup><http://www.hakuju.co.jp>

は元々音楽の勉強をしており、ヨーロッパに留学していた事もある。当時ヨーロッパで見ていた地元住民が演奏家を応援しているような、地元で根ざした音楽活動を日本で出来ないかという事をこのコンソーシアムで形にしたいと考えている。

## 株式会社株式会社シブヤテレビジョン

株式会社株式会社シブヤテレビジョン<sup>2</sup>は、渋谷に設置してある電子広告版の管理や、イベント運営、ライブハウス (SHIBUYA O-Group、六本木ケントス) の運営、不動産関連事業、ダンス (BEASTAR)・ボーカルスクール (BESE) の運営などを行っており、渋谷発の情報発信を行っている会社である。イベント・音楽事業局局長原和久氏、イベント・音楽事業局ライブホール事業部制作室の林田達也氏がコンソーシアムに参加している。親会社は不動産事業を手がけるケン・コーポレーション。20年前、料亭、桶屋の町であり、渋谷の中でもマイナーな場所であった渋谷円山町の開発地区を音楽の街にしたいと言う事でライブハウス事業が始まった。1991年からオンエアというブランドで1店舗目をスタートし、円山町を生演奏の現場にしたいという思いで22年続けるなかで、一民間企業が一気に街を変えて行く事は難しいという現実があった。日本の音楽産業のパフォーマンスはレコード会社が頂点にて、レコード会社からバジェットされ、ライブハウスなどにまわって来ていたのだが、レコード会社から流れてきていた予算が今はなくなってしまったのが現状である。音楽産業全体としてそれ以外の形を示す必要があるのではないか。また、株式会社シブヤテレビジョンは生演奏の場所にどのように人を集めてくるかという事に関心がある。その背景として、良い音楽を演奏出来るのにも関わらず、経済効率的な編目からこぼれてしまうミュージシャンが多いという事があげられる。そのためコンサートは売れるコンサートと、売れないコンサートの二分化してしまっていて、真ん中がないのである。この真ん中を作らなければ配信でも何をするにしてもそこにお金を使ってくれる聴衆は作って行けないので、コンソーシアムで議論し考えて行きたい。林田達也氏は下北沢のライブハウスを繋いでインディーズファンクラブというフェスを行ったりする中でデジタルネットワークが面白いと感じている。また、生演奏でライブという

---

<sup>2</sup><http://www.sib.tv/home.html>

事は、その場限りでしか聴けない音だという事を活かし、当日の音源を帰りに販売するなどの試みをしている。

## 日本コロムビア株式会社

日本コロムビア株式会社<sup>3</sup>は、オーディオ、ビデオ、ゲームソフト等の制作、宣伝、販売、音楽アーティストのマネジメントを行うレコード会社である。岡野インターナショナル制作宣伝部部長 岡野博行氏がコンソーシアムに参加している。岡野博行氏はクラシック、ジャズ制作、フィットネスや子供の為の映像などを制作を行っている。音楽や映像の普通の企画をしても面白く無いと考え、大江健三郎氏の息子の光氏や、本田美奈子氏にクラシックを歌わせたりと様々な企画を行って来ている。日々の制作の中でCD、パッケージビジネスは厳しいという事を実感しており、新たな取り組みをするべくコンソーシアムに参加する事となった。試みの一つとして、音楽教室が重要と考えており、株式会社森音楽教室と共同で新しい形の音楽教室を実施しようと考えている。クラシックは演奏者はいるが聴衆はいなく、習う人もいないというのが現状。プロジェクトの中で変化が出来ればその関係も一気に変えられると考えている。

## 株式会社 ニュースペース・コム

株式会社 ニュースペース・コム<sup>4</sup>は、広告、宣伝に関する企画、制作及び広告仲介・代理業、インターネット広告の広告代理業、広告プランニング、インターネットを利用した広告配信サービス及び情報提供仲介サービスを行っている会社である。今回新規事業部のメディアプランナー 浦前忠彦浦前氏が参加している。ニュースペース・コムではiphoneでの無料で見れる産経デジタルのアプリなどを関わっており、現在慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科修士2年に在籍中である。音楽で人々を温めて行ける様なきっかけをつくりたいと考え、コンソーシアムに参加することとなった。

---

<sup>3</sup><http://columbia.jp>

<sup>4</sup><http://www.newspace.co.jp>

## 株式会社 三菱総合研究所

株式会社三菱総研<sup>5</sup>は、企業や官公庁と多様な分野を扱うシンクタンク・コンサルティング会社である。情報通信政策研究本部長 中村秀治氏、副本部長兼情報通信戦略グループリーダー主任研究員 高橋知樹氏がコンソーシアムには参加している。高橋知樹氏自身音響にこだわりを持ち、マイナーレーベル、Jazz や Fusion などの CD の購入で音楽産業に貢献していた。以前は田舎に住んでいたため大音量で音楽を聴けたが、都内に住まいを移してから音楽を聴かなくなってしまったそうだ。会社にはいつてからは ICT 分野に関わってきており、コンテンツの聴き方も変わってきているのだから、ぜひ豊かな生活を送るためにも音楽を聴く環境を作りたいと考えている。会社としての関わり方はリサーチになるのか紹介になるのかはまだわからないが携わっていきたい。放送業界の関係者を連れて、プロジェクトには3名で参加する。最近では ICT と街づくりということをやっているが、そこでは ICT 産業に音楽をいれたいといった事しかやっていない。できればミュージックインコミュニティのように生活に密着したような形でやっていきたいため予算を会社から取って来て貢献したいと考えている。

---

<sup>5</sup><http://www.mri.co.jp>

## 第2章

# 報告書作成

### 2.1. 調査項目の選定理由

2013年1月24日から3月8日までの期間、6社が集まり5回にわたって行われたミュージックインコミュニティコンソーシアムミーティングでは、音楽が中心のコミュニティとはどのような物であるかという事が議論された。参加企業はそれぞれ音楽と密接に関わった事業を行っているため、各回のミーティングでは音楽の新しい産業を作るにあたって重要になってくる項目について議論する事が出来た。それらを項目として選定し、調査の対象とした。基本構想とはコンソーシアムでの議論を集め、新しい音楽産業をつくる上でのステークホルダーである参加企業全社がビジネスとして関わる事の出来る物をつくる事である。また、音楽を扱う場合には特に啓蒙的な構想になりやすい為、きちんと利益を産む事が出来る構想を意識しながら調査項目の選択を行った。報告書の調査項目についてそれぞれ述べていきたい。

現在のチケット収入型の運営の限界から、新しいビジネスモデルを検討したいという事、ホールのブランディングを考えたいという事から「コンサートホール」。同じくチケット収入以外のビジネスモデルの模索と、ファンコミュニティの形成、地域のライブハウスとの連携したイベントの検討をするという事から「ライブハウス」。コアな音楽のジャンルには強いコミュニティが存在し、様々な工夫をしながら演奏者は活動しており、新事業を検討するにあたって参考になることから「ニッチな音楽」。駅前演奏から著名なアーティストが多く産まれているなど音楽が演奏される場として魅力的であるが、現状は合法的に演奏出来る場所は少ないなど、不透明な事が多い事から調査が必要であるということから「駅前演奏」。コ

ンソーシウムは音楽の演奏だけでなく、音楽を道具に魅力的な場をつくって行きたいと考えている中で、2年程前から音楽のある場として盛んであるという事から「野外フェスティバル」。音楽と飲食の組み合わせは良く、新しい形の生演奏の出来る店、高音質の音を流せる店を検討したいという事から「飲食×音楽」。演奏家が自宅で練習出来る住まいの検討と、住まいでミニコンサートを行える場をつくる事で演奏者と住民のコミュニティ作りを行うことの検討の為に「住居×音楽」。演奏家が集まる地域をデザインする事を考えたときに、近くに演奏出来る場所が必要であるという事から「貸し音楽スタジオ」。音を出せる場として様々な場所にリソースとして点在しており、音楽スタジオや教室など様々な利用方法の検討をする事が出来るという事から「カラオケ」。ハイレゾなど高音質の音源の売り上げが伸びているが、若い世代の利用を増やしたいという事から「高音質配信」の現状についての調査と、それを聴く環境をつくる為の設備の検討を行う事から「音響設備」。コンサートの生放送や、コンソーシウムでの新事業を発信する方法の検討する事から「音楽番組」。演奏を教わる事のできる教室は現在多く存在し、その現状の調査と、理想の音楽教室の検討の為に「音楽教室」。小中学校にてコンソーシウム企画を学校公演として検討する為の調査として「学校公演」。音楽が演奏される空間を魅力的につくる事を検討する為に議題にあがった、紙で建築をつくっている坂茂についての調査を行った「その他」。副都心線と東横線が直通になり、音楽家と音楽を必要とする人々がつながる事によって考えられる東急沿線上の都市基本構想についてと、渋谷の地権者などが議論する、成りたい形についての調査をまとめた「都市基本構想・道玄坂街作り研究会」の全部で16項目に分類された。報告書での中身に関しては3章、4章、5章で詳しく見て行きたい。

## 2.2. レイアウトについて

報告書のレイアウトについて説明したい。報告書では非常に多くの項目について書かれおり、情報を整理して伝える必要があった。その為中身のレイアウトに共通したルールを使ってデザインを行った。そのルールとは、報告書を手に取りページをめくって行く際にそれぞれの項目の場所、イメージを素早く直感的に理



解出来るよう、に中心に円形のメインビジュアルを置いて、周りに項目について詳しく説明する為のサブビジュアルとその説明見出しを配置し、更にその外側に調査した文字情報を配置するというものである。この報告書は様々な状況で使われる事が考えられる。例えば、早いスピードでページめくり、新事業のイメージをしたい時や、詳しく知りたい項目の調査内容をじっくり見るなど様々である。設定したデザインのルールはこれら様々な見る時間、状況に対応したものとしても設定されている。また、テキストの詳細調査内容に関しては基本的に概要やコンセプトなどを左側に、その他を下や右側に統一して配置する事で読みやすくなっている。製本された本はA3サイズ片面刷になっており、調査項目一つに対して1ページが割り当てられている。何度も繰り返し読む事に耐えられる様に、ヴァンヌーボという強度がある高級紙を使用した。縮小版ではあるが本論文の付録として報告書載せている。情報が公開されている項目の調査に関しては在学生、卒業生の方々による協力の元行った。レイアウトのラフの状態まで作成する事を指定し、pdf、ai、eps形式での提出の指示を行う事で、その後の調整にかかる時間を最小限で行う事が可能となった。また、道玄坂街作り研究会についてはシブヤテレビジョンに、ICTスマートタウンについては三菱総研に、音楽教室に関しては森音楽事務所からの調査情報を元に作成を行った。

## 調査の結果

今回ミュージックインコミュニティコンソーシアムが行う都市デザインとは、ビルなどの建築物や公園を作る様な物理的な空間設計ではなく、既存の音楽教室や、コンサートホール、ライブハウス、駅前の空間など、実際に演奏される場所を有機的に連結させる事でコミュニティデザインを行う事である。コミュニティを作る為には今存在する建物、場所にコミュニティを作る必要がある。コミュニティとは、物理的な空間ではなく、人と人とのコミュニケーションが産み出すコミュニティ感覚の事である(?)。人は実際にリアルスペースと、サイバースペースの間に境界領域(コミュニティ)を感じる事が出来るため、コミュニティをつくることは、都市のイメージをつくる事になり、これはつまり都市デザインにおける最終目的であると言える(?)。

報告書の16項は、音楽のプロフェッショナルであるコンソーシアム参加者がそれぞれ抱く、都市における音楽のイメージである。調査しをまとめた報告書を読む事で都市において様々な場所でどのような「音楽の場」が存在し、どのようにコミュニティが存在するかがわかるようになっており、それらを組み合わせる事によって、新しいコミュニティを作り出す事が可能になっているのである。報告書は2013年6月に6社に受理された。これを元に新事業の検討がされ、現在コンソーシアムでは音楽を生演奏で楽しみたいオーナーと仲間が、おいしい食事やワインとともに、いい演奏家を選択でき、ジャンルを問わずライブを楽しめるパーティーである「formesounds」、ミュージシャンの為のコミュニティをつくる活動の一環として、ミュージシャンの魅力を伝えるためのコンテンツ制作 やyoutubeなどの動画配信サイトを使ったプロモーション、ミュージシャンの権利を守る音楽著作権ビジネスの在り方を研究している「preludesounds」、初心者から音大受験生まで、お客さまのニーズにあったオーダーメイドのレッスンを、一流講師陣によって実現するクラシック音楽教室である「コロムビア音楽教室」などのプロジェクトが実際に行われており、その事については6章にて詳しく説明したい。

## 第3章

# 音楽を専門とする人材の居住パターンに関する調査

3章では2013年3月16日に東京メトロ副都心線が東横線と相互直通運転する事により音楽を専門とする人たちの居住パターンが変化すると考えられるため、音楽を専門とする人材の居住パターンに関する調査結果について述べる。具体的にはコンサートホール、ライブハウス、ニッチな音楽、駅前演奏、野外フェスを取り上げて書いて行きたい。先に各項目の調査するに到った理由と、調査のまとめについて述べ、後に報告書で書かれている詳細について述べて行きたい。図版などに関しては報告書を付録として載せている。

### ・住居×音楽

渋谷近辺から日吉まで見てみると、ホールやライブハウス、スタジオの数はとても多くある。しかしそれに比べて防音物件はない。演奏家が満足に自主練習するとなると遅い時間にも演奏が可能な物件が必要となる。また、ミュージシャンの生活は移動が多く、例えば東京と大阪を往復する生活が多く、その場合東京に住まいを構え、大阪の滞在をホテルにて行う事になり、家賃がどこにしようとかかかってしまうのである。さらに、ホテルで泊まる場合には防音ではない為、練習を行う事は出来ないし、移動先には楽器を送らなければならない。また、音楽好きは高級機材を購入し好きな音楽をいい音で聴きたいと考えても、音響機材が場所を取ってしまうこと、かかるコストが高い事などから手が出せず、出せたとしても家族からは邪魔扱いされたり、結局メンテナンスが面倒で使わなくなってしまいう事が多い。高音質配信をしたとしても、それを聴ける環境が揃っていなければ流通しない。これらの現状を踏まえた上で、演奏者、音楽好きの為の住居を検

討する。参考として防音部屋のマンションを現在駅徒歩5分圏内に展開している「ミュージション」を調査する。音楽家が集まり、地域の人に演奏を教えたり、演奏会を開けるサロンの様な場づくりを検討するにあたって、音楽家が多く住みコミュニティをつくっていた「ヴェルディ憩の家」の調査を行う。東急東横線沿線の地域は経済的に豊かな人々が多く、広い家に住み、ホームコンサートをしたいと考え、広いリビングを自宅に持っている人が多い。しかし、演奏家とのつながりが無く演奏のオファーをする事が出来なかったり、コンサートの準備をする事が大変だったり、ホームコンサートを行う場はあるのにも関わらずあまり多くは行われていないのが現状である。そのような既にあるリソースへ音楽を届けることをコンソーシアムは検討する。そのために、ホームコンサートを行う事が出来る広い家が多い場所の一つである「松濤」を調査対象とする。

#### ・高音質配信

高音質音源配信とは、CDよりも高音質であるハイレゾ音源をWAV・flac・DSDなどの形式で配信するサービスである。元々LPAを未だにかけているオーディオ好きがCDの音では物足りないと感じて求めている事が多い。近年ハイレゾの配信の売り上げが増加しているが、コンソーシアムでは既存の音楽好きではない、新しい層へのアプローチについて検討されている。現在高音質音源配信を行っている「e-onkyo music」、「Krypton HQM Store」、「OTOTOY」を調査対象とする。

#### ・音楽番組

音楽番組とは、TV番組、ラジオなどで音楽について取り上げているものを指す。コンソーシアムでの活動を発信して行く際に、音楽番組としてを行う事がコンソーシアムで議論された。放送するコンテンツとしては、音楽教育番組や、コンサートの音をすべて録音し配信する事などが検討された。音楽番組は様々な企画で行われている。坂本龍一が、音楽の魅力を座学と実技を交えて伝える「schola」、ポピュラーソングライターをつくる歌詞に注目し、佐野元春が文章表現に特化した講義を放送する「佐野元春のザ・ソングライターズ」、m-floのDJ☆Taku Takahashiが提唱するダンスミュージック専門の音楽ストーリーミングサービス「Block fm」などがあり、これらを調査する事で番組制作の参考にしていきたいと考えている。

#### ・学校公演

学校公演とは学校公演とは全国の小学校、中学校、高等学校に招かれ、演奏などのパフォーマンスを行う事である。現在行われている公演の多くは単に演奏を行うという物が多く、技術的にも、企画の面白さとしてもいまいちな物が多い。小学生、中学生のときに上質で楽しい音楽に触れる事は、音楽に対する印象が変わるきっかけになるのではないかという事が議論された。学校公演を良い物にして行く為には、楽しい公演を企画できる人材を教育して行く事の出来る組織を設計することを検討する必要がある。その為に学校公演の現状を調べる必要があり、調査項目とした。

それぞれの項目の詳しく調査した内容についてそれぞれ見て行きたい。

### 3.1. 住居×音楽

#### ミュージション

プロの演奏家から趣味を満喫したい人まで、様々な音楽家たちが求める、生活と演奏や創作の場がひとつになった理想の空間がミュージションである。デザイン性の高い建築で2000年、2005年とグッドデザイン賞を受賞している。その高いデザイン性は道行く人達にも注目される。住空間の提供だけにとどまらず、マンション内でのコンサートという発表の場を提供することにより、発信者だけでなく、地域の方々との交流の場を創り出している。

安心して演奏や音楽鑑賞ができるプロも納得の遮音構造になっており、一般的なマンションより厚い床（コンクリートスラブ厚180mm＋浮き床工法）、浮き壁工法で、遮音効果を高めるグラスウールを施工することにより、プロのレッスンにも充分対応できる高い遮音性能を実現している。

音響設計は有名音響設計会社監修している。コンサートホール・劇場をはじめとして、スタジオ・学校講堂・会議場・体育館など多くの施設の建築音響設計を行っている、日本トップレベルの会社である。サントリーホール、カザルスホール、東京都庁舎、W・ディズニー・コンサートホール他、国内外で多数の実績があり、この経験に基づいた豊富な専門知識で、「ミュージション」の高い遮音性能が実現している。

ミュージションは、ミュージション川越、ミュージション志木、ミュージション登戸、ミュージション野方、ミュージション江古田、ミュージション武蔵中原の様に多数存在し、どの物件も最寄り駅より徒歩5分圏内に位置している。家賃70,000円～160,000円となっている。

## ヴェルディ憩の家

ヴェルディ憩の家は音楽家のための老人ホームである。1899年竣工され、1903年に施設の利用が開始された。現在は音楽学校の生徒も生活している。重厚なレンガ色の建物に、軽やかな白い窓が並ぶネオ・ゴシック様式。約3000mの敷地に、中庭をぐるりと囲むように建物が置かれている。約80～100人のための居室の他、音楽練習室や150人程度収容可能なコンサートホールがある。中庭正面にはモザイク装飾が一面に施された霊廟があり、ヴェルディと妻ジュゼッピーナが眠っている。かつての移住者は指揮者、ピアニスト、バイオリニスト、バレリーナなど老音楽家が約50人いた。また、音楽学校の生徒が20人住んでいる。

具体的な入居者はヴィットリオ・ジュリアーニ(98)、指揮者・作曲家・ピアニスト・リーナ・ヴェスタ(70)、ソプラノ歌手のアンナ・ゼッペテリ(79)、ピアニストのルイジ・ヴェッチャ(88)、チェリストのイタリア・ヴェスコボ(86)、バレリーナのレオ・アグッツオーリ(82)、テノール歌手のアルナルド・デル・シニョーレ(90)などである。

ジュゼッペ・フォルトゥニーノ・フランチェスコ・ヴェルディ(1813年10月10日 - 1901年1月27日)の遺言によって、彼の死後50年間はヴェルディハウスすべての運営費を彼の著作権料で支払われていたため、入居者は無料であった。

## 松濤

渋谷区の南西部に位置し、町域内の多くは住宅地となっている。東京都心を代表する高級住宅地のひとつとしても知られるが、「松濤」はかつてこの地に茶園『松濤園』があったことに因み、茶園の名が町名となった珍しい例である。町域

には住宅のほか、Bunkamura や戸栗美術館、渋谷区立松濤美術館、観世能楽堂といった文化・芸術関係の施設も多く見られる。

Hakuhu Hall を頂点にした音楽コミュニティの生成が行われており、レストランと音楽の融合を目指している。松濤にはレストランやバーが多く立ち並んでおり、白寿ホールの半券を持っている人にはディスカウントを行えるシステムを作り、音楽と食のコラボレーションを産んでいる。また、Hakuju Hall を中心に気軽に参加できる場所をネットワークで結びつけて行く。気軽に音楽を聴ける場所、気合いを入れて音楽を聴く場所など多様な場所をネットワーク化させる事も行っている。

街としての広い受け皿造りを目指しており、プラハやウィーン、ザルツブルグの教会の様に、学生や若い人たち、また多様な演奏手法のアーティストを受け入れられる受け皿を創ることを目指している。

## 3.2. 高音質音源配信

### e-onkyo music

e-onkyo music と提携している配信レーベル例は crypton、ponycanyon、horipro、kingrecord、saileraparadiso、emi music japan、cryston などがある。配信データ DRM 付きのものは WMA Lossless、DRM なしの場合は WAV、FLAC、WMA Lossless、DSD がある。DSD は 1bit / 2.8MHz、HD は 24bit / 192kHz、HD は 24bit / 96kHz、CD は 16bit / 44.1kHz (1441kbps)(※ iTunes : AAC - 128kbps) となっている。サービス利用者はオーディオマニア、中高年層になっており、中心は 40~60 歳。最高は 80 歳。e-onkyo にサポートを置いているが、ほとんどパソコン教室になっているとの事だ。そこで右クリックしてくださいなどの指示がほとんどである。ユーザーはそうしてでもハイレゾで聴きたいのだろう。配信してものは、Eagles / Hotel California を FLAC 形式で、アルバム購入が 3000 円。ウィーンフィルハーモニー管弦楽 / Beethoven Symphonies Nos. 5 & 7 を WAV / FLAC 形式で、アルバム購入が 3000 円、個別購入が 400 円 / 曲で行える。The

Bill Evans / My Foolish Heart は WAV / FLAC 形式で、アルバム購入は 2400 円、個別購入は 400 円 / 曲で行える。

## Krypton HQM Store

全体的にウェブのデザインが古く、一世代前の印象を与える。配信しているレーベルは DREAM 21、awingbros、MEISTER MUSIC などである。配信しているものは、タマーシュ・ヴァルガ(チェロ)、コダーイ・リゲティ・ガルの無伴奏チェロ・ソナタ集が FLAC 形式で 96kHz / 24bit、アルバム購入が 3,150 円 / 8 曲 / 68:38 や、タマーシュ・ヴァルガ(チェロ)、コダーイ・リゲティ・ガルの無伴奏チェロ・ソナタ集が FLAC 形式で 96kHz / 24bit、アルバム購入が 3,150 円 / 4 曲 / 53:22、日比野則彦の GENTLE LOVE が形式:FLAC 96kHz / 24bit、アルバム購入が 3,150 円 / 11 曲 / 42:21 である。

## OTOTOY

OTOTOY は読んで、聴いて、買えるミュージック・ダウンロード・サイト。アーティストのインタビューやレビュー記事が多く WEB に挙っている。DRM フリーの MP3、WAV、WAV(24bit 48khz)、DSD が配信されており、国内のロック / ポップス・ファンに向けたサービスとなっている。ユーザー・フレンドリーな運営方針も利用者の共感を呼んでいる。編集長は飯田仁一郎で、バンド Limited Express リーダーであり、OTOTOY 編集長、10 年続く音楽フェス BOROFESTA 主催、東京リアル脱出ゲームの仕掛人でもある。さらにレーベル JUNK Lab Records の主催等、活動は多岐にわたる。代表は竹中直純で、イレギュラーズアンドパートナーズ (I & P) 取締役、未来検索ブラジル代表取締役大統領 (創業者)、タワーレコード取締役兼最高情報技術責任者 (グループ CTO)、ナップスタージャパン取締役などを歴任している。現在はディジティミニミ代表取締役社長 (創業に関わる)、2ちゃんねる IRC 管理人、武蔵野美術大学非常勤講師としての活動も行う。更にニワンゴ取締役、株式会社 BCKKS 取締役 (創業に関わる)、株式会社レコミニ代表取締役 (創業に関わる)。他デジタル・スタジアム (NHKBS2) で 2003 年



からキュレーターを務めるなど、活動は多岐に渡る。OTOTOYの活動の一つであるオトトイの学校では学校長である飯田仁一郎が、ネット上では、USTREAMやYouTube、MySpace等、多くの音楽を聞くことができるし、クリックすれば、情報が何でも飛び込んでくる。それでも、オーデインスは、ライブ・ハウス、トーク・ショーや音楽講座等の現場へ、積極的に足を運んでいる。それは、多くの人がもっとリアルな情報を求めている証拠ではないだろうかと述べている。また2012年12月19日から25日まで渋谷ヒカリエにてOTOTOY DSD SHOPというポップアップショップをオープンしていたりと、webだけではなく、リアルな場での活動も行っている。主なユーザーはロック、ポップスリスナーで、ITに強い若者が中心であるようだ。インディーズなど多数のレーベルと提携を行っている。

配信している作品を一部紹介する。坂本龍一のNHK session、形式はWAV / DSD / mp3。アルバム購入で2500円 / 5曲 / 65分。ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団、A・ヴィト(指揮) / マラーの交響曲第8番変ホ長調「千人の交響曲」、形式はWAVで、アルバム購入は1400円 / 26曲である。非常階段のLive at Akihabara Goodman, Tokyo February 2nd, 2013はDSD(1bit/5.6MHz)+mp3形式だと7曲2,000円。DSD(1bit/2.8MHz)+mp3形式だと7曲で1,500円。HQD(WAV 24bit/48KHz)形式だと単曲250円 / アルバム1,500円で配信している。

### 3.3. 音楽番組

#### schola

坂本龍一が現在ライフワークとして取り組む「スコラ」プロジェクト(スコラとはラテン語で「学校」の意味)は人類の生み出した偉大なる文化「音楽」の魅力を解き明かそうというこの企画をもとに、坂本氏を講師に迎え、音楽の真実を、時に学究的に、時に体感的に伝えようというテレビによる「音楽の学校」である。NHK放送にて毎週金曜、午後11:00~11:30に放送しており、シーズン1としてバッハ、ジャズ、ドラムズ & ベースを、シーズン2として古典派、ドビュッシー、サティ、ラヴェル、ロックへの道を、シーズン3(2013年1月~)として、映画音楽、オーケストラ、アフリカの音楽を扱った内容で行われた。

シーズン1に関わる人を見てみると、2010年4月「J.S. バッハ」の回はゲスト講師が浅田彰(京都造形芸術大学大学院長)、小沼純一(早稲田大学文学学術院教授)、岡田暁生(京都大学人文科学研究所准教授)で、演奏は藤原真理(チェロ奏者)、坂本龍一が、ワークショップ演奏を東京藝術大学バッハ・カンタータ・クラブが行った。2010年5月「ジャズ」の回は、ゲスト講師を山下洋輔(ジャズ・ピアニスト)が、演奏を大谷能生(音楽家・批評家)、山下洋輔(ピアノ)、坂本龍一(ピアノ)、田中邦和(サクソ)、高瀬裕(ベース)、ASA-CHANG(ドラム)が行い、ワークショップ演奏を国立音楽大学ニュータイム・ジャズ・オーケストラが行った。2010年5月「ドラムズ & ベース」はゲスト講師に細野晴臣(ミュージシャン)、高橋幸宏(ミュージシャン)、ピーター・バラカン(ブロードキャスター)が行い、演奏を坂本龍一、細野晴臣、高橋幸宏、小山田圭吾、権藤知彦が行った。世田谷区立祖師谷小学校の児童の皆さんがワークショップに参加し、ワークショップサポートを小田桐和寛、吉野智子(国立音楽大学ニュータイムジャズオーケストラ)が行った。

また、commons:schola(コモンズ・スコラ)という「音楽の学校」にふさわしく、知る楽しみを享受する教材として、また新しい「音楽全集」として、ユニークな選者ととも選曲された「CD」と、豪華執筆陣による「本」とを組み合わせた、次世代へ世界中の音楽を継承してゆく全30巻(クラシック+非クラシック)のアーカイブ・シリーズを制作している。全30巻、クラシック16巻、非クラシック14巻で構成し、年3巻10年間に渡り発売を予定。教育的な視点を持ち、音楽の成り立ち、歴史的背景を網羅した120Pのブックレットである。もの、パッケージとしてのこだわりを持つ、百科事典や古典文学全集のような重厚な質感のパッケージによる高付加価値商品として制作されている。次世代に手渡して行く価値を持つ「音楽の百科辞典」といえるだろう。commons: schola vol.1 J.S. Bach Ryuichi Sakamoto Selections は14曲 / 通常価格 8,925 になっており、永続特殊パッケージ仕様の豪華ハードカバー・永続同梱特典のブックレット(116P)のセットになっている。commons schola: Live on Television vol. 1 Ryuichi Sakamoto Selections: schola TV(DVD) はamazon 価格 3,027 円でNHK E テレで放映された「schola (スコラ) 坂本龍一 音楽の学校」の番組内で演奏したさまざまなジャンルの楽曲の中から、演奏パートの厳選映像を収めたDVDである。

## 佐野元春のザ・ソングライターズ

2009年7月4日からNHK教育テレビにて毎週土曜、23:25～23:55に放送開始された番組である。ホピュラー音楽のソングライターこそ、現代の詩人であり、ポップソングは時代の表現であり、時代を超えたポエトリーである、をコンセプトにしている。音楽における〈言葉〉をテーマに、佐野元春が毎回異なるソングライターをゲストに招き、歌詞について講義形式で語り合う人気シリーズ。佐野の母校である立教大学の教室での公開収録。音楽・文章表現を志す学生たちを招き、ゲストのソングライターと学生との対話も番組の中に織り込んでゆくのが特徴である。ワークショップやQ & Aを通してゲストと交流する。音楽演奏は基本的に行われない。2012年に放送されたものとして、星野源 Part1が11月2日(金)23:00～23:29、星野源 Part2が11月9日(金)23:00～23:29、その他に中村一義、大木伸夫 (ACIDMAN)、山崎まさよし、なかにし礼などが参加している。

## Blockfm

block.fm は、アーティスト m-flo の DJ ☆ Taku Takahashi が提唱するダンスミュージック専門の音楽ストーリーミングサービス、web ラジオである。始まりは、2008年から DJ ☆ Taku Takahashi が Myspace にて始めた、ダンスミュージック専門ラジオ、TCY Radio Tokyo が『2011.11.11 PM 11:11:11』に新しいメディアとして『block.fm』と名前を変えた。TCY Radio Tokyo とは m-flo の ☆ Taku Takahashi が率いる TCY Recordings Crew 始めたダンスミュージック専門のインターネットラジオで、既存の FM 放送や AM 放送では流れる事がほとんど無いダンスミュージックを現場 DJ のセンスで新譜はもちろん、定番アンセム、そして TCY でしか流れないエクスクルーシブな曲を紹介していた貴重な音楽専門番組であった。ジャンルは Electro, House, Tech House, Drum 'n Base, Dub Setp, Disco など、クラブ(現場)でかかっている曲をトップ DJ 達がトークや DJ MIX で放送。自前 HP ではなく、ウェブサービスのマイスペースを利用して運営していた。また、レコードショップの閉店や専門誌の休刊など、日本のダンスミュージックが抱える問題とその解決策としての意図もある。出演 DJ/アーティストは、FYS aka BINGO

/ Gunhead / YUMMY / JAGUAR SKILLS / SHOTARO MAEDA / Tomoyuki Tanaka (FPM) / Shinichi Osawa / Masatoshi Uemura / Yasumasa Yonehara / VERBAL / Tetsuji Tanaka / MC CARDZ / NERDZ ERA / Takeru John Otoguro / ☆ Taku Takahashi / REMO-CON / sugiurumn / Bryan Burton Lewis / RAM RIDER / POWDA / KANOMATA KEISUKE / Danny Wheeler / LaTourette / Naeleck など多数存在する。コンテンツは、毎日更新される、様々なジャンルの様々なラジオと、参加アーティストイベント出演や新婦発売などニュース情報も掲載している。また、アーカイブ機能も有しており、最新の放送は、放送終了から次の放送まで視聴することができる。システムはhtml5を採用しており、スマートフォン対応も行われている。(専用のアプリケーションは無い。) また、ラジオを聞くだけであればMixlr (<http://mixlr.com/>) に番組を設置しているためそこから聞くことも出来る。block.fm では、番組ごとにDJが本人の曲もしくは、mixを流しており、番組ごとに流れた曲はその場で購入できる仕組みになっている。block.fm 主催により、イベントを開催しており、アーティストの活躍の場の提供とアーティストの育成に貢献している。エナジードリンク burn が主宰し、ダンスミュージック専門インターネットラジオ block.fm がサポートする、世界規模のDJコンテスト「burn World DJ CONTEST 2013 supported by block.fm」を開催。才能のあるアーティストを育てる活動も行なっている。

### 3.4. 学校公演

学校公演とは全国の小学校、中学校、高等学校に招かれ、演奏などのパフォーマンスを行う事である。演奏プログラムは見た目にも楽しく且つ演奏を堪能できるプログラムを提供する事が理想である。毎年課外授業として「音楽鑑賞」「映画鑑賞」「演劇鑑賞」など学校の担当によって選ばれ、ることが演奏の条件である。単価は100,000円～20,000,000円になっており、営業方法は資料配布や、電話営業、子ども劇場経由などかなり地道な作業似よって行われている。今後の学校公演の取り組み方として、学校公演や野外演奏などただやってきたことを続けるためには、もっと違うプログラムで提供する必要があると考える。面白い事と、絶

対的な高度な演奏技術の披露が出来るかどうかが重要である。これらを実現させる為の教育、組織化された学校公演の仕組みを作る必要がある。

### 3.5. ニッチな音楽

ニッチな音楽は強いコミュニティを持っている。独自の楽器やルール、それぞれのジャンルで協会が存在しているジャンルもある。また、関わる演奏者達は音楽を続けて行く中で様々な工夫をしながら活動しており、その多くは飲食を扱ったり、音楽教室とライブハウスを時間を別けて行ったりと我々のプロジェクトで多い参考になるため、調査項目とした。

#### シャンソン

シャンソンが演奏される場所はライブハウス等より、多くのイベントがホール、飲食店（レストランやバー等）、貸切会場にて行われる。多数の客席がある大きな会場を貸し切るには、場所によって夜の割増などのルールがあるため、料金は少し高めとなっている。

現在活動しているシャンソン歌手を例にあげて活動の様子を見て行きたい。鳥越さやかはラゾーナ川崎プラザソルで最近演奏しており、そのキャパシティは200席、チケット料金は5000円で設定している。山口蘭子は最近セルリアンタワー東急ホテル JZ Brat で演奏しており、290席（スタンディング200名、着席90名）、チケット料金：5000～5500円と設定している、ソワレはSARAVAH東京で演奏しており、お店のキャパシティは230席（着席60、オールスタンディング100、着席40＋立見30）、チケット料金を4000円～4500円としている。佐々木秀実が最近演奏しているお店は森のホール21でキャパシティは436席、チケット料金は5500円である。

また、日本におけるシャンソン協会がいくつかあり、日仏シャンソン協会、日本シャンソン館、日本シャンソン協会が存在する。

## タンゴ

タンゴのステージはライブステージで行われる。都内ではタンゴのライブがある飲食店があり、そこもやはりステージがあったり、普段教室を行っている場所である。また、またパーティー会場や貸しステージのある場所でも行ったりする事もある。タンゴが聞ける場所として赤坂のアンベ・クアトロがまず挙げられる。プロの演奏者であるタンゴ・エスキーナ・トリオ、バンドネオンの大河内 祐を中心に、石井有子、山下真愉美、吉川雅子の4人が「街角のタンゴ」として毎月第二水曜日にレギュラー出演している。ノチェーロ 六本木ではサンバ、ボサノバ、ショーロ、タンゴ、バンドネオン、チャマメ、ボレロなどラテン音楽を中心にしたライブを行っている。

日本で古くから活動しているサークルがある。Orquesta de Tango Waseda (オルケスタ・デ・タンゴ・ワセダ) である。951年に「早大タンゴ・バンド」として誕生したバンドである。ファン・ホセ・オルティス氏によって「オルケスタ・デ・タンゴ・ワセダ」と命名され現在に至る。活動としてTANGO スエニョスさん主催のタンゴフェスティバル2012に参加や、渋谷にある東京タンゴシティでミュージシャンとして参加など、出張演奏も年数回行っている。(福山氏は現在は Bar Martha にいる)

## 三味線

三味線とはリュート属の楽器であり、15～16世紀成立し、和楽器では比較的歴史が浅いものである。伝統的な日本のイメージ、国際交流の出し物としてよく使われる。海外でも知名度が高い。また、クラシックやポップ・ロックとの親和性が高く、受けやすい。

三味線には大きく別けて津軽三味線と沖縄三味線の二つが存在する。

津軽三味線は青森県津軽地方で盲目の旅芸人達が始めた門付芸で、最初は譜面がなく、蔑まれていた。ジャズやブルースに通じる即興演奏が魅力である。津軽三味線が聞ける場所をいくつか挙げる。青森県弘前市住吉町8(銀座街)にある津軽路 居酒屋あどはだりは営業時間が16:00～24:00 (L.O. 23:30)、不定休(要電

話)での営業である。青森県弘前市富田2-7-3にある、ふる里の響 あいやは営業時間が17:00~23:00(L.O. 22:30)で、演奏時間は19:00からタイミングを見て随時行われる。不定休での営業である。

また、津軽三味線のイベントも行われており、津軽三味線全国大会「The 津軽三味線」がローカル企業の協賛を多数得て開催されている。

津軽三味線のプロの奏者が存在する。渋谷 幸平、昭和56年4月9日黒石市浅瀬石(つがるじょんがら節発祥の地)に生まれ、9歳より津軽圭助氏のもとで三味線を始める。平成12年度津軽三味線全国大会B級チャンピオン、平成13年度津軽三味線全国大会A級入選、平成20年度津軽三味線全国大会A級チャンピオンになっている。

沖縄で三味線は一般に広く普及している。それゆえに沖縄出身者が多い土地柄には三味線店が多いとも言われている。

三味線演奏者のライブのギャラの参考として上妻宏光を参考にすると、CDは(3,000円)、DVD販売・ライブ、コンサートでは明智楓ホール2,500円、富山県教育文化会館では3,500円、浅草公会堂では5,500~6,500円、千葉市民会館で行った時は無料招待制で演奏会を行った。また、三味線奏者の澤田勝成はイベント出演や、地方出張、国内外文化系イベント(東日本大震災チャリティー中国凱旋ライブ)、稽古教室(入会金1万、月謝1万)、指導(椎名林檎「勝訴ストリップ」)、他コンテンツとのコラボ(映画、ドラマ、ゲーム等)など様々な活動を行っている。Youtubeでは吉田兄弟の演奏が100万回再生を超えるなど人気を博しており、また、英語のコメントが多い。(http://www.youtube.com/watch?v=Ron17xFNBf0)

三味線販売の大手、三味線オンラインショップは三味線を5万~200万円で販売している。近年では楽器の進化も進んでおり、ゆるまない糸巻き、エレアコ三味線など様々なものが開発されている。

## フラメンコ

フラメンコ(flamenco:フランドル地方の音楽という意味)は、スペイン南部のアンダルシア地方に伝わる芸能で、歌、踊り、ギターの伴奏が主体となっている。フラメンコの歴史と発展にはヒターノ(スペインジプシー)が重要な役割を果た

している。さらにさかのぼると、ムーア人の影響もみられる。フラメンコという語が、今日知られる意味でのフラメンコに対して用いられるようになった時期は、文献から判断する限り 19 世紀半ばのことである。歌とギターと踊りで、悲しみや苦しみ、喜びや快楽などを表現するが、フラメンコの原点は差別されて迫害されたジプシーたちの叫びだといわれている。- フラメンコが演奏される場合は、当初は個人の家などプライベートな空間が中心であったが、19 世紀後半にカフェ・カンタンテと呼ばれる定期的にフラメンコが上演される飲食店が出現し、フラメンコの普及を後押しする。カフェ・カンタンテは 20 世紀初頭には姿を消すが、20 世紀後半になると同様の飲食店であるタブラオが出現し、現在までフラメンコの上演の場の大きな部分を占めている。この時期からは劇場公演やフェスティバルもフラメンコ上演の重要な場となっていった。

近年、フラメンコ専門アーティストおよび一般愛好家の増加はめざましく、日本は今やスペインに次ぐフラメンコ人口を誇るまでとなった。日本フラメンコ協会(略称 ANIF = アニフ)は、日本のフラメンコ芸術の普及振興及び向上発展に寄与することを目的に 1990 年に誕生した。日本におけるフラメンコ芸術をさらに発展させるべく、コンクールならびに協会賞の制定、国際交流による芸術活動の提携及び促進、対外的な各種啓蒙活動、専門家の利益擁護と福利厚生、内外資料の収集保存、機関紙及び図書の刊行、各種公演、イベント、講習会などの開催、その他フラメンコの普及振興に必要な事業のような事業を計画、実行している。

協会ウェブサイトに登録されている全国の教室(バイレ、ギター、カンテ)は計 136ヶ所、協賛店・企業(飲食店(タブラオ、バル等の名称がつく)、レンタルスペース、用品販売、舞台制作会社等)は計 86ヶ所ある。

日常的にフラメンコライブが行われる場所はバルやタブラオ、レストラン内での定期公演であることが圧倒的に多い。ANIF に登録している協賛店はいくつかある。カルメン(兵庫県神戸市中央区北長狭通 1-7-1)は、営業時間 11:30~15:30 & 16:30~23:00 で営業しており、1956 年創業、日本で一番古いスペイン料理店である。毎週土曜日午後 8 時からフラメンコライブが行われる。

エルムンド(東京都羽村市五ノ神 1-8-3)はランチタイム 11:30~14:00(月、火、木、金曜日) / 夜 17:30~翌 1:00(料理のラストオーダー 23:30)、定休日を水曜日



で営業しており、スペイン料理とフラメンコと共に32年の歴史がある。舞踊、スペイン語クラスを行っており、2階をスタジオとして貸し出している。第3土曜にはフラメンコ（19時・20時半）の公演が行われている。メゾンセルバンデス（東京都千代田区六番町2-9セルバンテスビル）は月～金にランチ&カフェ 11:30～15:30/ディナー 17:00～22:30、土には10:30～22:30、日祝には12:00～22:30に営業している。日本で一番スペインに近いレストランバルで、スペイン国営の文化施設セルバンテスビルの最上階にある。フラメンコ発表会にも利用することができる。

フラメンコには専門用語が多々存在するのでいくつか紹介したい。カンテ (Cante) とは歌という意味であり、魂の奥底から響く深い声（カンテ・ホンド）こそ、フラメンコの真髄といえる。ヒターノ達にとってフラメンコと言えば、まずはこのカンテが重要。男性の歌い手はカンタオール (cantaor)、女性の歌い手はカンタオーラ (cantaora) と呼ぶ。バイレ (Baile) とは、踊りのこと。日本ではフラメンコといえば踊りというイメージが強い。つま先やかかとで床を踏み鳴らしてリズムをとる（サパテアード）、また手の動き（ブラッソ）はフラメンコの命である。男性の踊り手はバイラオール (bailaor)、女性の踊り手はバイラオーラ (bailaora) と呼ぶ。トケ (Toque) とはギター演奏。主に、アコースティック・ギターの一種であるフラメンコギターを用いる。指先でギターを叩いてリズムを取る奏法からギター表面を保護するため、セルロイドなどで出来たゴルペ板を貼ってあるのが特徴。ゴルペ（名詞 golpe, 動詞 golpear）とはスペイン語で「打撃、(剣術の) 打ちこみ」などの意味。パリージョ (palillos) とは踊り子が両手に持つカスタネット。利き手には高音が出るもの、逆手には低音がでるものをつける。

日本のフラメンコパフォーマーである平富恵は1988年小松原庸子スペイン舞踊研究所に入門。その後コンクール出場、受賞等を経て国内外で高い評価を受ける。人気アーティストのミュージックプロモーションビデオ出演やTVCF、雑誌など多方面でも活躍。現在千代田区にて平富恵スペイン舞踊研究所を開設し、後進の指導にあたる。鍵田真由美は様々な舞踊の研鑽を重ね、日本女子体育短期大学・舞踊科在学中にフラメンコと出会う。佐藤・山崎スペイン舞踊団員として、数多くの舞台を踏む。創作フラメンコの他、能とコラボレーション作品も発表し幅

広く活躍。2006年、Newsweek 日本版の「世界が尊敬する日本人100人」に選ばれるなど、国内外で高く認められている。現在「鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団」、ARTE Y SOELRA を主宰。石塚隆充は日本を代表する実力派カンタオール。学生時代にカンテに出会い、卒業後1998年よりスペインへ渡る。フラメンコの本場ヘレス・デ・ラ・フロンテーラのサンティアゴ地区に滞在し、現地のジプシー達に学ぶ。日本人離れしたその声と歌唱力はスペイン人からも定評がある。2006年より日本に拠点を移し、ソロ活動を精力的に展開する他、フラメンコ界以外でも幅広い活動をしている。

## 第4章

# 代々木・渋谷から横浜までの東横線沿線の音楽施設を調査

4章ではライブハウス、コンサートホールなどの需要と供給の新たな可能性を研究するために、代々木、渋谷から横浜までの東横線沿線の音楽施設を調査結果について述べる。具体的には飲食×音楽、住居×音楽、貸し音楽スタジオ、カラオケ、高音質配信を取り上げて書いて行きたい。先に各項目の調査するに到った理由と、調査のまとめについて述べ、後に報告書で書かれている詳細について述べて行きたい。

- ・コンサートホールコンサートホールは主にクラシックの演奏dを行う文化的な建物の事である。公設、私設のものが存在する。コンソーシアムではチケット収入を求めて主催するビジネスモデルが今限界に来ており、新しいコンサートホールの運営が検討される必要があると言う事が議論された。そのため、現在のコンサートホールがどのように運営されているのか、施設の状況はどうなっているのかを調査する必要があるため調査項目とした。同じ地域の飲食店と提携し、地域でのコンサートホールを意識して運営している「白寿ホール」、立地の素晴らしい景観、ホールの設備に加え、それらを語る物として全体をまとめ、東京から距離があるのにも関わらず、音楽通を惹き付けるブランドを作ることに成功している「八ヶ岳」、個人運営の音楽ホールでは日本で一番成功していると言われている「Musicasa」、国民投票によりドイツで一番の歌劇場に選ばれた「エッセン歌劇場(ドイツ)」、地域のコンサートホールとして「神奈川県県民ホール」、東京初のコンサート専用ホールとしてつくられた「サントリーホール」の調査を行った。

- ・大規模ライブハウスライブハウスとは、ロックやジャズなどのライブやその他

イベントを行う、比較的小型で立ち見中心のコンサートホール、又は可動式テーブル席を置く飲食店のことである。現状、有名なアーティストが行う大規模なライブであるか、小規模の売れないライブかの二極化が進んでおり、経済的効率的な編目から実力があるがメジャーではないアーティストが漏れてしまっている。このような箱単体のイベントによるチケット収入による運営はコンサートホール同様厳しくなっている事がコンソーシアムにおいて議論されており、新しい運営の方法の検討が求められている。これらの事を調査する為に、5万人を収容する大規模ライブ会場である「東京ドーム」、アーティストにとっての登竜門として扱われている「武道館」、コンソーシアム参加企業であるシブヤテレビジョンが運営を行っている「O-group」と規模の違う3つのライブハウスを調査した。

・音響設備良い音質の音源で聴きたいと思う人は、既に良い音響設備を設置した専用リスニングルームを持っている人という事がほとんどである。良い音響設備をそろえる事は金銭的にも、スペース的にも簡単なことではない。そんな中で高音質配信と、音響設備を若い層に浸透させる為には既存のイメージを変える事が大事であるということがコンソーシアムでは議論された。高音質な音響体験が出来る場所と言えばjazz喫茶などが挙げられるが、表参道にあるスパイラル内のカフェの様にオープンで、若い人が楽しみ易い空間を作り、体感してもらう場所をつくる事を検討するために、音響機材についてと、それらを扱う会社について調査した。

・貸し音楽スタジオ貸し音楽スタジオは、時間貸しなどのシステムで音楽家、または音楽愛好家が楽器のレッスン（練習）に使用する。音楽家が生活しやすい住環境（練習が出来る住まい）を整備して多様な音楽家をこの地域に呼び込む可能性を検討するためには貸し音楽スタジオの現状を知る必要があり、音楽コンソーシアムミーティングの議論では、「住宅」と合わせて不動産のビジネスモデルを考察するために議論されている。また、自由が丘の調査では「住宅と音の関係」として「音の問題」も議論され、防音の設備がないマンションの住人のための練習場所として貸し音楽スタジオの必要性が議論された。報告書では、貸し音楽スタジオの検索が出来る「スタジオ一覧」、貸し音楽スタジオである「音楽館」、「NOAH」の調査を行った。音楽家や音楽愛好家のなかで練習が出来る環境への需要は「音

の問題」がある住宅地では高く、また住宅地以外でもアクセスの便利性などを兼ね備えた練習の出来る環境への需要は高い。また、貸し音楽スタジオの供給側は貸し音楽スタジオにとどまることなく多様化されている。

・カラオケ個室で大音量で歌を歌う事が出来るカラオケは様々な形に進化している。カラオケ店として展開する会社も多く存在し、それぞれの可能性を探る為に「カラオケ館」、「カラオケの鉄人」、「カラオケパセラ」、「カラオケ歌広場」、「カラオケアドアーズ」、「第一興商」、「セガカラ」などの大手カラオケ店を調査対象とした。また、カラオケの利用の仕方として流行している「一人カラオケ」についても個別に取り上げ調査した。これらの調査を元に、コンソーシアムで議論された貸しスタジオ、録音スタジオ、音楽教室などへの転用が可能かを検討したい。

それぞれの項目の詳しく調査した内容についてそれぞれ見て行きたい。

## 4.1. コンサートホール

### 白寿ホール

白寿ホールはコンソーシアム参加企業である株式会社白寿生科学研究所が代々木八幡にある本社の7,8,9Fに持つホールである。2003年10月から運営を続けている。白寿の理念に「食事、運動、心の三原則を整える」とあるが、“音楽”や“心地のよい空間”は、三原則の一つ“心の健康”に貢献できるとの考えから、白寿ホールが設立された。ホール周辺には多くのレストランやカフェが存在し、公園当日にチケットの半券を提示することでサービスを受けられる場所も多くあるなど、地域のコミュニティづくりを意識した運営を行っている。

白寿本社ビルの7Fにクローク、バーカウンター、ホワイエ、客席、8Fに舞台、楽屋、9Fにスカイテラスがあり、客席は300席+車椅子席1席（取外可動式）となっている。

白寿のホールの特徴として、斬新なホールのデザインと最高の音響設備があげられる。インテリアデザインをアトランティスアソシエイツのアルベール・アビュト氏が担当。インテリア実施設計・施工は竹中工務店、音響設計を同技術研究所に依頼し、個性ある美しいデザインと素晴らしい音響を備えたコンサートホールが

実現。ホール内の床は全てサクラ材を使用し、柔らかい音としっかりとした低音を堪能することができる。2つ目に世界で初めてリクライニングシートを導入している事が挙げられる。このシートはパリのオペラ・バステュー（新オペラ座）で導入されているものと同じ規格である。3つめに9Fにあるスカイテラスホールが挙げられる。演奏会の前後や休憩時間に自由に利用できるくつろぎ空間になっており、代々木公園、新宿高層ビル街の夜景、少し視線をそらすと細い窓から東京タワーやスカイツリーのイルミネーションを見ることが出来る「都会の隠れ家」として演奏を聴きにきたお客さんから親しまれている。

落とし公演は、オープニング・ガラ・コンサート『響きあう音の饗宴』を講演。尺八、ピアノ、弦楽アンサンブル、ジャズバンド等多岐にわたる音楽の演奏を行った。2012年度は、ジャンルとしてはクラシック音楽（ピアノや声楽、アンサンブル等）が主で、時折ジャズや二胡、現代音楽、各種コンクール、教室発表会、子どもや親子向けのリサイタルも催された。白寿ホール主催の公演も一月あたり2～4公演開かれ、月のうち半分前後は公演スケジュールで埋まっている。

様々な企画が工夫され行われて来ているが、その中でも具体的に3つ講演の様子を例に挙げる。

1つ目はレ・タンブル バロック・アンサンブル（ブルージュ国際コンクール覇者、気品と情熱のイタリア・バロック）。計2公演を全席指定席で、1回券を2,000円で設定した。講演内容はリコーダー、ヴァイオリン、ヴィオラダガンバ、2台のチェンバロ、オルガンのアンサンブルである。2つ目は、世界を席卷する藤倉大パラダイス音楽×エレクトロニクス×映像。計2公演で、全席指定。1回券を2,500円と設定しており、途中スカイテラスにてフィンガーフード+ドリンク提供を1,500円で行った。Art×Art×Artシリーズ第1回の試みで、ジョンケージ生誕百年を記念して委嘱作曲されたエレクトロニクス作品や、演奏家との密なコラボレーションから生まれた室内楽作品、坂本龍一と共同で作曲された電子音楽作品の映像付き世界初演、音楽評論家とのアフタートークなどのプログラムが組まれた。3つめは、スーパー・リクライニング・コンサート第99、吉川隆弘リサイタル。計2公演行い、全席リクライニング席・指定席。1回券を1,500円で設定し、愛をテーマにしたピアノの名曲コンサートを行った。モーツァルト、シューベル

ト、シューマン、ショパン、リスト、サティ、ドビュッシーほかの名曲を選曲した。

貸しホールとしての運営も行っており、設備概要としては、シューボックス形式、間口が11m、奥行18m、天井高8.3m（平均）、舞台の間口は11m、奥行6m、舞台高0.6m、各素材は床・ステージ（サクラ材）、壁面・天井（FG曲面ボード）。残響は満席時1.5秒、空席時1.6秒（中音域）となっており、置いてある楽器は、グランドピアノ（スタンウェイD-274）である。その他音響、照明、映像設備、機材各種用意されており、オプションとして利用出来るようになっている。利用料金は17.85万～58.175万円となっており、時間帯、リハーサルと本番の区分けによって変わってくる。また、場所を貸すだけでなく、サポートプランというリサイタル初心者や利用者側の人手不足を解決するため、コンサート実現に向けてトータルコーディネートするサービスも行っている。基本料金は15万円（別途ホール使用料、印刷費）で、会場及び利用者との折衝全般/当日運営全般/広報物の制作代行/広告宣伝プラン等の提案/チケット販売業務委託手配/招待状・チラシ等の発送手配/お問合せなど様々なサポートが用意されている。また、Twitter、Facebook、ライブドアブログを頻繁に活用し広報活動を図る。ウェブサイト内コンテンツには「アーティストインタビュー」があり、公演出演者や著名人らによる寄稿掲載が頻繁に更新されている。

## 八ヶ岳

正式名称は八ヶ岳高原音楽堂。演奏家が八ヶ岳で演奏したいと思える様なホールでブランドを強く持っている。また、後ろが開かれていて景色が見えるなど、環境が素晴らしい事でも知られている。音楽通を惹き付けている八ヶ岳はどのような仕組み、歴史があるのかを知る事が音楽のある場をデザインする時に重要になってくるという事で調査項目として取り上げた。

竣工は1988年9月で、こけら落としを音楽監修をリヒテルの元、八ヶ岳高原音楽祭'88として行った。長野県南佐久郡南牧村大字海の口に建ち、雄大な自然の中にあるホールである。最大収容人数は250名とそれほど大きく無い。アドバイザーとしてスヴァトスラフ・リヒテル（ピアニスト）、武満 徹（作曲家）が在籍している。受賞暦として'89年毎日芸術賞」「'89年東京クリエイション大賞環境

賞」を受賞している。

八ヶ岳公言音楽堂の歴史は1974年に八ヶ岳高原ヒュッテの前庭で、別荘オーナーが持ち寄ったレコードを利用して八ヶ岳高原レコードコンサートを開催した事から始まり、1975年に“大自然の中で生の演奏を”という呼びかけで、サロンコンサートを開催。1987年には国内外の音楽家を招いてサロンコンサートが開かれたのち、1988年に八ヶ岳高原音楽堂が完成となった。

音楽堂では様々なコンサートが開催されている。88年から毎年八ヶ岳高原音楽祭が行われ、1989年にはキースジャレットがチェンバロリサイタル、1993年にはミッシェルマイスキーが無伴奏チェロリサイタルを、1995年には狂言公演狂言師

野村万作の世界なども行われている。2008年には林光と谷川俊太郎の夕べという子供のためのピアノ曲と詩の朗読など幅広い試み企画されて来た。また、コンサートホールに併設して、部屋数68部屋の八ヶ岳高原ロッジが建っており、宿泊を含めたプランを立てられるようになっている。宿泊プランの参考として、八ヶ岳高原音楽堂サロンコンサートプランを挙げる。コンサートチケット、宿泊料、朝食、夕食のついたプランである。八ヶ岳高原ロッジにある「ル・プラトー」または「花暦」での食事が可能。その他にも、ティーラウンジやバーラウンジの利用が可能になっている。料金はコンサート、部屋のタイプによって異なるが、例として「加藤登紀子 Song for LOVE」の際には28,000～98,000円に設定されていた。

貸しホールとしても運営しており、プライベートコンサート、ファンクラブの集い、合唱フォーラム・音楽合宿、発表会、ウェディング、講演会・セミナー、学会・シンポジウム・研究会などとして使用される事が多い。ブライダルは挙式と宿泊のプランや、コンサート挙式プランがあり、30名での挙式、パーティーとピアノコンサートが催す事が可能になっている。レンタル料金は平日で100,000～350,000円、土日祝で300,000～420,000円となっている。

## Musicasa

ピアニストのオーナーの夢である「一生、好きな音楽に囲まれていたい」、「若手音楽家に練習と発表の場を提供したい」という思いから建てられた Musicasa。オーナーは黒田 珠世で、1995年の秋に竣工した。建築設計は鈴木エドワード、音



響設計は永田音響設計。代々木八幡、松濤周辺で白寿ホールや近隣の飲食店を巻き込んで音楽活動を考えて行くとき必要だ言う事で調査項目にあがった。

毎週月曜日が休館となっている。休館日以外の稼働率が90を超えており、個人運営の音楽ホールでは日本で一番成功していると言われるほどである。人気の理由は、立地、オーナーの人柄に加えて、音響設計が優れているためであると言われている。名前の由来は、イタリアの音楽 (music) と家 (casa) から、音楽の家を意味している。設備は客席数が最大120席で、ピアノはスタインウェイ B-211 (1999年ハンブルグ製 Music Room Grand # 550886) とベーゼンドルファー Model 200 (1982年製 88鍵盤 Salon Grand # 35691-6144) を所有している。残響は空席時が1.3秒、満席時には1.0秒と設計されている。スタジオの大きさは27mとなっており、録音・録画用機材、照明用機材などは要望に応じて貸し出す事が出来る様になっている。レンタル料は、基本使用料60,000円+曜日と時間帯に合わせて15,000~63,000円となっている。小田急小田原線 代々木上原駅から徒歩3分。高級住宅地区である西原に建っている。この地域の地形は起伏に富んでおり、坂が多い。また、代々木上原駅は一日平均乗降者人数が22万人を超える。駅周辺にはレストランやカフェが充実しているのが特徴である。年に6回程、会員制のミュージカーコンサートを主催しており、次回で第104回目を数える。第103回は「兵士の物語」を黒木岩寿演出で行った。

## エッセン歌劇場 (ドイツ)

建築家 Aalto 氏のデザイン (フィンランドの建築家) によって設計され、1988年に竣工された。同年9月に、「ニュルンベルクのマイスタージンガー」で柿落としを迎えた。2008年 (もしくは2007年) に、国民投票によりドイツで一番の歌劇場に選ばれる。

劇場があるエッセンは、人口が約58万人、面積が210.32 kmの都市で、ドイツのノルトライン＝ヴェストファーレン州に位置し2010年に欧州文化首都に選出されている。人口構成が0-18歳が16.8% 18-65歳が62.5%、65歳以上が20.7%と比較的若い年代が多い都市である。観光地としては「世界で最も美しい炭坑」と評価されるツォルフェアアイン炭鉱業遺産群や1922年に設立され、19世紀の

ドイツとフランスの絵画、1945年以降のクラシックモダンとアートを展示しているフォルクヴァング美術館、国際的に認められたレッド・ドット賞受賞作品を展示しているレッド・ドット博物館、ドイツ初の歩行者通路となり、人気のショッピング通りとなっている、ケットヴィガー通りなどがある。

この街の印象を旅行を趣味とする女性（ブログ：Erfahrung 黄昏主婦の一人旅より）は「街はほこりっぽくざわざわしており、魅力を感じなかった。しかし、オペラハウスにはいったとたんに、全く別の世界に。中は真っ白、お客さんの服装はほとんど黒、時々真っ赤な服を着ている人がいて、劇場自体が舞台のような印象を受けた。この人たちはいったいどこから湧いて来たのだろうかと驚くほど、皆俳優のように綺麗でした。」また、エッセンにて、日本人宿「Reese」を営む女性（ブログ：ドイツ『エッセンの日本人宿』おせっかい女将のひとり言より）は友人が出演するビッグバンド&ジャズオーケストラ、アルゼンチン・アコーディオンのコンサートを観覧するために訪れ、エッセン歌劇場が国民投票によって第一位に選ばれたことを言及していた。

ドイツの歌劇場に関して、州立（Staats）と市立（Städtisch）の経営形態で運営している。州立は前身は宮廷の劇場、市立は市民階級の勃興と共に設立された劇場である。ドイツには、小さな市にも歌劇場がある。双方ともオーケストラがあり、別組織化が進んでいるものの、公務員として保証されている。現在は定年が連邦で統一されており、65歳が定年。テアターには、合唱とバレエ、そして劇団もつきものである。小中規模（客席700－1000位）の歌劇場でも、およそ歌手20人、合唱50人、オーケストラ30人、バレエ20人、演劇10人ほどのメンバーを要する。ドイツでは、「専属契約制度」の形を採用しており、オーディションが行われ、そのメンバーが決定されている。（オーケストラ、歌手、合唱団、バレエ団、演劇役者）\*日本では、州立歌劇場を国立歌劇場と訳している。

ドイツにあるエッセン以外の劇場として、バイエルン国立歌劇場（州立歌劇場）まず挙げられる。ドイツを代表する歌劇場の1つで、現在はケント・ナガノ（アメリカ）が音楽監督を務めている（福山氏は現在恵比寿 Bar Martha にいる）。また、フランクフルト歌劇場（市立歌劇場）は1995年、1996年、2003年に年間最優秀オペラ座に選出された。（Opernwelt 紙）

## 神奈川県県民ホール

神奈川県民ホールは国際レベルの音楽、舞台芸術、そして美術に親しむ感動空間として誕生した。地域コミュニティを作るにあたって市や県など官が運営するコンサートホールを利用する事は重要であると言える。そこで県の持つコンサートホールがどのような状況であるのかを知る為に調査項目とした。について調査世界で活躍するアーティストを中心に、充実した公演を開催し、芸術文化の創造と振興を目的としている。NHKホールをモデルにした大ホールと小ホール、ギャラリーがある。大ホールは、オペラや、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会、その他一般のコンサート等に幅広く使用されている。小ホールは、パイプオルガンコンサートや、落語会等が主に使用されている。運営は公益財団法人神奈川芸術文化財団が行う。正式名称は、神奈川県立県民ホール本館。開館1975年1月17日、客席数は2432席となっている。立地はみなとみらい線日本大通駅より徒歩約6分。区内の一部であり、横浜高速鉄道みなとみらい線の元町・中華街駅がある。横浜マリンタワーや山下公園が近くにある。みなとみらい線開通の影響によりマンションが増えたため、人口は増加傾向にあり、区の特徴として国際色豊かになっている。設備は、大ホールが2,488席、小ホールが433席となっており、リハーサル室、展示室、会議室、ギャラリーがある。大ホールの舞台形式はプロセニウム形式という客席からみて舞台を額縁のように区切る形式を採用している。舞台のサイズは間口20m 高さ10m 奥行18m 面積1,337m<sup>2</sup>、オーケストラピット面積126m<sup>2</sup> (90人~100人収容可能) となっている。残響時間は約1.8秒 (空席時)、約1.6秒 (満席時) である。大ホールではクラシック、ロック、オペラ、お笑い、演劇、吹奏楽、演歌、ダンス、発表会、ジャズ、ミュージカルなど幅広いジャンルの公演が行われる。

行われたコンサートをいくつか具体的に見て行きたい。神奈川大学附属中・高等学校シンフォニーオーケストラは参加料無料 (事前予約制)。神奈川県民ホールオープンシアター2013はサン＝サーンス 音楽物語「動物の謝肉祭」が演奏され、指揮は藤岡幸夫、管弦楽は神奈川フィルハーモニー管弦楽団が行い、価格は大人1,500円。ズーラシアン フィルハーモニー管弦楽団の「世界初!! 親子のためのオーケストラ」は価格がS席4,500円。デビュー15周年記念スペシャルコンサートと

して行われた綾戸智恵 Forever Young、価格は6,500円であった。

観客は神奈川フィルハーモニーのファンという人が多く見られる。また、アーティストのコンサートのために訪れる来客者も多くいる。その多くが神奈川県在住の人であることがわかっている。

## サントリーホール

東京初のコンサート専用ホールとして、アークヒルズの一画に1986年10月12日に開館。森ビルが所有し、公益財団法人サントリー芸術財団が運営している。2007年4～8月まで改修工事のため休館し、同9月1日にリニューアルオープン。「ホール・オペラ」という独自のオペラ上演形態を生み出す等、開館以来日本のクラシック音楽業界を牽引し続けているホールの一つである。白寿の原氏もアマデウスの公演で利用しており、また新百合ヶ丘を本拠地に行っている「麻生フィル」と「世田谷交響楽団」はアマチュアでは活発に活動している。開館は1986年10月12日、開館公演：ヴォルフガング・サヴァッリユ指揮NHK交響楽団が演奏を行った。所在地は東京都港区赤坂1-13-1。建築設計を安井建築設計事務所・入江三宅設計事務所が行い、音響設計は永田音響設計、施工を鹿島建設が行った。運営をサントリーホールディングス株式会社が行う。大ホールは2006席（1F858席/2F1148席）、小ホールは384席又は432席（演奏会標準）の客席数である。大ホールには舞台後方にもP席と呼ばれる客席があり、ヴィンヤード形式の中でもアリーナ形式と呼ばれるホールである。これは、ホール建設にあたり独の同形式のコンサートホール、また指揮者カラヤンの助言も参考にされている。座席の配置上、本格的舞台装置や背景を必要とするオペラやバレエは上演できない。オーストリアの名門リーガー社製の世界最大級のパイプオルガンが設置されており、これもカラヤンの助言から設置が決定した。小ホールはリサイタルや室内楽の演奏を想定して設計された。客席は可動式。舞台は昇降式でフラットなフロアにする事もでき、大ホールのレセプション等にも使われることもある。2007年のリニューアルオープンに合わせて「ブルーローズ」という名称が与えられた。

特徴としてユニバーサルデザイン対応という事が言える。2007年9月のリニューアルオープンにより、ホワイエにスロープや昇降機を設置するなど、車椅子のま

ま正面玄関から直接大ホール1階客席に辿り着けるようになった他、オストメイト対応の多機能トイレ6基も新たに設置するなどといったバリアフリー強化が図られている。また、ホール内に託児施設はないが、近隣の託児施設にて優待サービスを受けることが可能。また、「音楽に会うよろこびを」「音楽を創るよろこびを」「より開かれたホールをめざして」をキーワードにサントリーホールが展開する教育普及、社会貢献活動としてENJOY MUSICという活動を行っている。子どもに向けた演奏会や教育プログラム、若手音楽家を対象としたオペラと室内楽の二部門からなるアカデミーの開講、オープンハウス、バックステージツアー企画等がある。ウィーン楽友協会との提携も盛んにおこなっている。2006年10月、ウィーン・フィルの本拠ウィーン楽友協会ホールを企画運営する同協会と提携し、双方のプログラムやアイデアを互いに活用し、日本とオーストリアの音楽文化の発展につとめることとした。多くの来日オーケストラや著名なソリストの東京圏における公演が行われている。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を除く全ての在京プロ・オーケストラがここで定期演奏会を行う。また、教室発表会や音大の定期演奏会、卒業公演なども開催されている。

行われた公演として、ロリン・マゼール指揮によるミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団の公演が大ホールにて1回公演あたりの料金がS25,000円/A22,000円/B18,000円/C14,000円/D10,000円。ベートーベンの交響曲3曲が演奏された。がんばろう！日本 スーパーオーケストラ毎日希望奨学金チャリティーコンサートでは、料金が指定4,500円 / P2,500円で設定され、出演はがんばろう！日本スーパーオーケストラ、武蔵野合唱団、他アマチュアオペラグループによるオペレッタやオペラ演奏が行われた。JETSTREAM2013～Thank you from JAL～は大ホールにて1回公演あたり料金がS8,400円 / A7,350円に設定され、指揮を円光寺雅彦が行い、出演は大沢たかお(ナビゲーター)、東京フィルハーモニー交響楽団、曲目はミスターロンリー/ウエスト・サイド・ストーリー・セレクション/威風堂々/英雄ポロネーズ/亡き王女の為のパヴァーヌを演奏した。TOKYO FMの長寿番組「JET STREAM」が主催する企画であった。

## 4.2. ライブハウス

ライブハウスでコンサート収入を求めて主催するビジネスモデルはリスクが大きく、それによって経済効率的な編目からこぼれてしまうアーティストが沢山存在するのが現状である。結果売れるコンサートと売れないコンサートの二極化が進み、真ん中の聴衆がいないのである。お金を使ってくれる真ん中の聴衆を作る事がライブハウスにしても、音楽配信にしても重要になってくる。また、現在のプロモーションのやり方に関して工夫出来るやり方があると考えられる。また、CDなど物が売れていないと言われている中で、ライブ会場では売れていたりする。近年では当日のライブ音源をその場でパッケージにして帰りに販売するなどの試みが行われて話題になっている。これらの事を調査する為に、東京ドーム、武道館、O-group と規模の違う3つのライブハウスを調査した。

### 東京ドーム

全国から5万人のファンが集まり賑わう、オールジャンルな公演が行われる場所。東京都文京区後楽に位置し、最寄駅は水道橋駅である。敷地はTokyo Dome City内にあり遊園地等が併設されている。閑静な住宅街にあるため音を出せる時間に制限がある。

日本でも最大規模のコンサートを行う事が出来、ステージやセットに派手な仕掛けがあることもある。広い東京ドームの中でもどこからでも見られるよう大きなディスプレイが設置される事が多い。アーティスト、ファン達にとって東京ドームは聖地の様な場所でここを目指すアーティストは多い。そしてこの場で解散コンサートを行ったアーティストも多い。大規模な会場のため、チケット代金は割高になっており、X JAPANが12800円、LUNA SEAが9000円、水樹奈々が8000円、Perfumeが6500円、Aerosmithが9000円、The Rolling Stonesが13200円となっている。

## 武道館

1964年開催の東京オリンピックでの柔道競技化にあわせ、会場のひとつとして建設された。法隆寺夢殿をモデルにした八角形の意匠である。

東京都千代田区北の丸公園に位置し、収容人員は14,471人、客席数の内訳は、固定席(1階：3,199席)、固定席(2・3階：7,846席)、立見席(3階：480席)、仮設席・アリーナ(最大2,946席)となっている。延床面積は21,133.3m<sup>2</sup>、運営は財団法人日本武道館が行っている。

武道館は元来、音楽を主目的に建設した施設ではないため、コンサートホールとしての音響性能では、音楽演奏を主用途に設計されている専門のコンサートホールに遠く及ばない。良好な音質で観客に聴かせるのは困難を極めるという欠点があり、舞台音響設備を持ち込むなど別途対処する必要がある。ザ・ビートルズの来日公演では、ステージ上のギターアンプの生音と会場据付けのPA装置を通じたボーカルだけで行われた。結果として演奏が全く聞こえない席が存在した。その様な問題の改善のため、現在に至るまで様々なノウハウが開発されてきたのである。この武道館で培われたノウハウは、同様に音響面で難を抱える全国各地の多目的ホールや体育館などでのコンサートにも応用されている。法政大学の入学式、卒業式などは武道館で開催される。

会場を使用するにあたって条件があり、団体が1年以上経営・存続されていること、決算書を公開していること、興行での黒字収支が見込めること、日本武道館側が負債を背負わない見解が出来ていること、備品・設備の破損時には即時弁償ができることを満たす事が必須である。プロレスなど有料の興行・イベントに使用する場合大変に厳しい。

2013年3月に行われたイベントは、3/2/Sat. に May'n Special Concert 2013 「MIC-A-MANIA」が指定席6500円、運営はホットスタッフ・プロモーション(03-5720-9999)。11/Tue. にはジャーニーの公演が行われ、料金はS席9000円、A席8000円。運営はウドー音楽事務所(03-3402-5999)。3/12/Fri. にはサンタナの公演がS席12100円、A席11100円にて行われ、運営はウドー音楽事務所(03-3402-5999)が行った。3/19 20/Tue.Wed. には第35回全国高等学校柔道選手権大会(公財)が全国高等学校体育連盟柔道部によって行われた。3/29/Sat. には miwa の

公演が全席指定 5800 円にて、キョードー東京 0570-550-799 の運営で行われた。3/30 31/Sat.Sun. には D-LITE の SOLO CONCERT in JAPAN が行われ、指定席 7800 円でホットスタッフ・プロモーション (03-5720-9999) によって行われた。

## O-Group

1991 年 2 月 「ON AIR」(収容人数 1000 人)としてオープン。東京で初めて 1000 人規模のキャパシティーを誇る大型ライブハウスとして運営をスタートした。コンソーシアムに参加しているシブヤテレビジョンが運営に関わっている。1993 年 12 月に ON AIR の向かいに ON AIR WEST (現在の O-WEST) を建設。1994 年 7 月には ON AIR をリニューアルし、「ON AIR EAST」に改名。2002 年 7 月に建て替えのため ON AIR EAST をクローズし、2003 年 12 月 21 日 5 階建ての Shibuya O-EAST ビル完成させた。1300 人規模の O-EAST。

O-Group は全部で 5 つのホールを含んでおり、それぞれと違う特徴をもっている。一番大きいホールである O-EAST (1300 人) は集客が見込める有名人や海外アーティストの公演が主流。O-WEST (600 人) はある程度の集客力があるアーティストのライブ、O-Crest (230 人) は若手アーティスト・バンドがメインになっており、O-nest (250 人) は若手バンドなどの演奏の場になっている。DUO MUSIC EXCHANGE(300) は O-EAST ビル内にあるが、管理運営は別の会社が行っている。それぞれサイズにメリハリをつける事によって様々なタイプのミュージシャンが利用出来る様な設計になっている。各ライブハウス毎に詳しく見て行きたい。

O-East のキャパシティーは 1300 人規模 (イスの場合 569 席) で、ステージサイズは、間口 12.8m、奥行き 8.4m、高さ 1.18m である。使用頻度 (2013.4.15 現在) は、2013 年 4 月は 30 日間で 23 日の使用、2013 年 3 月は 31 日間で 28 日の使用、2013 年 2 月は 28 日間で 24 日の使用、2013 年 1 月は 31 日間で 22 日の使用、2012 年 12 月は 31 日間で 29 日の使用と横ばいの使用率で、平均使用頻度は月 25 日 (1 ヶ月 = 30 日) となっている。

ライブチケット料金はライブによって異なるが、前売り 3000 4500 円、当日券 4300 5300 円が相場である。その場合ドリンク代は別になる。



利用者の傾向として、アイドル系のイベント、ダンスイベント、ロックバンドのコンサートなど、コンサートのみならずイベントでも使用されている。コンサートは主にロック系が多い。

O-Westのキャパシティは600人規模で、ブッキング料金は朝11時から夜10時を基本の使用とし、使用料金(箱代)が月～木で714000円、土日祝で787500円、時間外延長は36750円/1時間となっている。\*スタッフは別料金

使用頻度は2013年4月は30日中29日の使用、2013年3月は31日中29日の使用、2013年2月は28日中27日の使用、2013年1月は29日中28日の使用(1/1,1/2は休み)、2012年12月は31日中30日の使用となっている。平均使用頻度は月29日(1ヶ月=30日)である。

O-Nestは250人規模で、O-WESTビル5,6Fに位置する。am/pmの脇にある階段から入場する事ができる。

O-Crestは230人規模でO-EASTビル5Fに位置している。

DUO MUSIC EXCHANGEは300席(席なしでも可)を収容でき、O-EASTビル1Fに位置する。(株)デュオミュージックエクスチェンジが運営管理している。(O-EAST, O-WESTとは別の会社)

営業時間は12:00～19:00(月～日)会場使用料は基本会場使用料(11:00～23:00)700,000(税抜)、時間料金(1H):は応相談となっている。

利用状況は2013年4月は30日中22日の使用、2013年3月は31日中26日の使用、2013年2月は28日中26日の使用、2013年1月は31日中23日の使用、2012年12月は31日中28日の使用、平均使用頻度は月25日(1ヶ月=30日)である。

大御所のアーティストのコンサートや、若手・新人アーティストのコンサート、楽器のワークショップなどで使用される事が多い。過去の利用者としてGAKU-MC、齋藤誠、Crystal Kay、YU-A、などがいる。

### 4.3. 音響設備

#### Sound System

室内でハイレゾの音源などをいい音で楽しむときや、野外ダンスパーティを提供する時などに使うものなど、場所に合わせた様々な音響設備が存在する。ジャマイカの音楽史、とりわけダンスホールレゲエにおいては 欠かせない要素である。現在ではテクノやレイヴ、ヒップホップ、カリブソ、ポスト・ダブステップ、ディープ・ハウスなどの音楽と深く関わっている。音響ありきの音楽もあり、James Blake - Limit To Your Love は (<http://www.youtube.com/watch?v=oOT2-OTebx0>) の映像は途中でコップが震え出すシーンがある。ここで 20hz~50Hz が同じくらいのレベルで入ってるサイン波が鳴っており普通のスピーカーでは聴こえないが、サウンドシステムで鳴らすと重低音としてオーディエンスに届くようになっている。サウンドシステムを担当する Eastaudio という会社はアーティストマネジメント、イベント・ツアー制作、自主事業開発・音楽プロデュース・制作、REC スタジオ・クラブ・ストリートプロモーション / フライヤー・フリーペーパー設置・サウンドスペースデザイン / PA・DJ 機材レンタルなど活動を多岐にわたり行っている。その他に kamome sound works、sound slugger、tokyo onken などの会社がサウンドシステムの扱う会社として存在する。

### 4.4. 貸し音楽スタジオ

楽器のレッスン（練習）に使用する。音楽家が生活しやすい住環境（練習が出来る住まい）を整備して多様な音楽家をこの地域に呼び込む可能性を検討するためには貸し音楽スタジオの現状を知る必要があり、音楽コンソーシアムミーティングの議論（付録より第1回議事録）では、「住宅」と合わせて不動産のビジネスモデルを考察するために議論されている。また、自由が丘の調査では「住宅と音の関係」として「音の問題」も議論され、防音の設備がないマンションの住人のための練習場所として貸し音楽スタジオの必要性が議論された。報告書では、貸し音楽スタジオの検索が出来る「スタジオ一覧」、貸し音楽スタジオである「音楽

館」、「NOAH」の調査を行った。「スタジオ一覧」では、リハーサルスタジオ、カラオケボックス、音楽教室、公共施設を様々な条件で一括検索することができる。楽器を練習する様々な場所を一括で検索できる。主な検索条件は以下の通りである。種類(リハーサルスタジオ、カラオケボックス、公共施設、音楽教室) 場所(都道府県、市区、最寄駅の名前など) 特徴(大人数での利用向き、個人練習向き、アコースティック楽器向き) 設備(ピアノ、専用駐車場、コインロッカーなど)で検索をすることができる。

## NOAH

NOAHは、音楽貸しスタジオ「Sound Studio NOAH (サウンドスタジオノア)」東京都最大レンタルスタジオである。リハーサルなどでも使用出来る。プロのプレイヤーからアマチュアまで利用者がいる。渋谷1号店、渋谷2号店、代々木店、新宿店、高田馬場店、池袋店、初台店、下北沢店、吉祥寺店、秋葉原店、自由が丘店、都立大学店、三軒茶屋店、池尻大橋店、駒沢店、野方店、銀座店、赤坂店、ノアミュージックスクールを経営している。ひとり用の練習用スタジオから300近いリハーサルスタジオを提供している。料金は1時間900円から6,000円ほどでスタジオの大きさ、時間帯によって変わる。

## 音楽館

音楽館は新池袋店、新宿西口店、明治通り新宿店、新宿ドキドキ店、高田馬場店、四谷店、渋谷駅前店、渋谷店、代々木店、アキバ店、お茶の水店、上野御徒町店、本八幡店を経営している。貸し音楽スタジオと合わせて音楽館写真スタジオ事業、閑静な住宅街四谷にあるハウススタジオも経営している。施設の特徴としては、全3スタジオ同時録画が可能で、レコーディングスタジオとして新宿店、お茶の水店、本八幡店の3店舗が使用できる Protools を導入している。レコーディング料金(3店舗共通) 8 Mic DAT(一発録り) 10:00 - 13:00 : ¥4,790/h、13:00 - 16:00 : ¥5,000/h、16:00 - 22:00 : ¥5,520/h、22:00 - 翌10:00 : ¥6,050/h、土日祝祭日 : ¥6,050/h、10:00 - 16:00 6h : ¥25,000、土日祝祭日 6h : ¥31,500

Dig.16tr 10:00 - 13:00 : ¥7,150/h、13:00 - 16:00 : ¥7,360/h、16:00 - 22:00 : ¥7,880/h、22:00 - 翌10:00 : ¥8,410/h、土日祝祭日 : ¥8,410/h、10:00 - 16:00 6h : ¥37,000、土日祝祭日 6h : ¥43,500

## ビーチサイド

海辺の合宿スタジオ「ビーチサイド」千葉県南房の合宿専用スタジオを運営している。宿泊棟に176名を収容可。打ち上げライブが可能な80畳のビックスタジオ等、全6スタジオが設備としてある。24時間入浴できる温泉も備えている。設置機材は東京のスタジオとほぼ同じラインナップ。宿泊料金2食つき OFF season: ¥5,670/泊 ON season: ¥6,720/泊 スタジオ料金例 Sur(f 12畳) OFF season: ¥30,450/日 ON season: ¥33,600/日 Marmeid(20畳) OFF season: ¥36,750/日 ON season: ¥39,900/日 Pear(180畳) OFF season: ¥68,250/日 ON season: ¥71,400/日

音楽家や音楽愛好家のなかで練習が出来る環境への需要は「音の問題」がある住宅地では高く、また住宅地以外でもアクセスの便利性などを兼ね備えた練習の出来る環境への需要は高い。また、貸し音楽スタジオの供給側は貸し音楽スタジオにとどまることなく多様化されている。

## 4.5. カラオケ

### カラオケ館

カラオケ館は、株式会社ビーアンドブイが首都圏を中心に運営するカラオケボックスである。全国関東中心に約80店舗を展開する。通称カラ館。店のコンセプトは『シンプル・豪華』で、昼間の料金は30分40円(店舗により異なる)などと安い料金設定になっている。ただし、掲示してある料金はいくまで部屋の利用料金であり、別途1ドリンク(通常380円・店舗により異なる)が必須のため、その分料金がかかり他店より高つく場合がある。無料で即時発行できる会員証を利用すると料金が割安になるサービスがある。ブラックライトによって壁に模様が映る事が特徴的。他にもパーティールーム禁煙ルーム、クラブルーム、VIPルー

ムなどの多様な部屋が選択でき、2012年より一人カラオケ専用の部屋のサービスも開始。一人カラオケルーム「あなただけのマイスタジオ」というコンセプトを掲げた「ひとりカラオケルーム」では、本格的なレコーディングに近い音源を録音が可能となっている。プロが使用するコンデンサーマイクと、収録などで使用するモニター用ヘッドホンを用意しており、ヘッドホンは2台まで同時に使用になっており、2人同時に歌ったり録音したりすることが可能である。カラオケ機種はDAM（第一興商）・JOYSOUND（エクシング）・UGA（エクシング、旧BMB）の3種類が設置されており、フロントで選ぶことができる。殆どの店舗において旧機種も並存させていることは大きな特徴で、最新機種になって消滅してしまった機能やコンテンツを楽しみたい場合に最適な全国チェーンといえるだろう。

## カラオケの鉄人

カラオケの鉄人は、株式会社 鉄人化計画 (TETSUJIN Inc.) によって資本金7億43百万、空間提供型アミューズメント施設の運営を目的に作られたカラオケチェーンである。現在従業員数、正社員212名で、売上高93億5,800万円をあげている。鉄人システムというものがあえい、これは1つの部屋で複数機種を選んで歌えるという物で、歌える曲は50万曲以上になる。お気に入りのメーカーで歌える為、もちろんその時の気分や自分の好みによって、曲ごとに機種も選べる。アーティスト達のカラオケ楽曲が、カラオケの鉄人店舗で何回再生されたかを競うバトル、カラオケの鉄人杯という企画がある。毎回、数十組のインディーズアーティストが参加し、ニコ生放送「カラ鉄チャンネル」の企画として、イベント期間中は毎週ニコ生放送を実施している。優勝者には200,000円が送られる。12～100名を収容可能なパーティールームを持っており、ソファ・椅子タイプとお座敷タイプが選べる。また、フードメニューが充実しており、180種類以上のドリンクメニューや100円のワンコインランチが揃う。他のカラオケ店との差別化の為に鉄人化計画は昨年9月、「ニコニコ動画(ニコ動)」を運営するドワンゴと資本・業務提携し、ニコ動で配信されている“初音ミク”などのボーカロイド楽曲や背景画像などの提供を受けはじめた。今年6月には韓国カラオケ機器メーカー最大手のKumyoung社と組んで、最新のK-POPや韓流楽曲の配信が可能で同社最

新機種を全店に導入している。

## カラオケパセラ

カラオケパセラは株式会社ザンザが運営しており、事業内容ホテル・ブライダル・テーマレストラン・自主企画、イベント&ツアーの開催等各種レジャー産業の企画運営を行っている。57億6000万円(2012年10月期実績)の売り上げを出し、従業員数600名が働いている。30名以上の予約がある場合、1組2名の旅行券をプレゼントしたりと、幹事に優しいシステムも準備されている。カラオケ曲数世界最大級の80万曲(ギネス申請中)を取り扱っており、独自のカラオケシステムΣ-Naviをタブレット端末に導入している。取り扱い機種は、JOYSOUND F1、LIVEDAM、CROSSO、UGAnext、プレミアムDAM、UGA+、BBサイバーDAM、Hyper Joy WAVE、V-BeMaX's、孫悟空、カンドーネ、GIGA+LDと、プレイヤーの全ての曲が歌えるカラオケ集中管理システムをとっている。充実した食事の提供も強みで、季節の食材を用いた旬鮮料理コースや100種類以上の飲み放題、シーズンセレクションコース、料理10品+室料(3時間)一人につき3,000(税込)+1,500(税込)などのお得な価格設定で提供されている。

## カラオケ歌広場

歌広場は、株式会社クリアックスが、関東地方に展開するカラオケボックスチェーン。リーズナブルな料金を背景に首都圏において急速に勢力を伸ばし、1990年代には低価格カラオケの代表的なチェーン店として知られた。しかし2000年代に入ると、部屋やサービスに特徴を持たせたり、新型機種の導入に積極的な他社チェーン店(カラオケ館、ビッグエコーなど現在の業界大手)が台頭し、内装や設備の老朽化が進んでいた歌広場は不振に陥った。このためカラオケ機種の入替え、店舗改装などで巻き返しを図っている最中である。また、一部店舗でJALマイレージバンクのポイント加算がされるサービスも行っている。ジャンボカラオケ広場は、東愛産業が関西で展開しているカラオケボックスチェーンである。略称はジャンカラ。2013年1月現在、店舗は大阪市内や、京阪神エリアを中心に、大阪府、兵

庫県、京都府、奈良県、和歌山県の関西一円と、愛知県、岐阜県、岡山県、広島県の一部に合計 114 店舗ある。関東地方を中心に展開されているカラオケ店チェーン『歌広場』は、ジャンボカラオケ広場を経営する東愛産業社長の実兄、李支宗による経営である。両社はともにカラオケ店チェーンや格安ホテルチェーンを経営しているが、その営業地域を関西と関東とに棲み分けている。これら『歌広場』と『ジャンボカラオケ広場』とは、お互いに類似したロゴマークが使用されている。

プロモーションを 2010 年までは TV CM を世界のナベアツ、天津などの吉本芸人が担うが 2010 年以降北乃きいが務める。様々な機種が提供されているが、店舗によっては扱っていない機種もあるため注意となっている。飲み放題のドリンクバーが安価で提供されているため長時間滞在する学生などに人気である。

## カラオケアドアーズ

アミューズメント施設の運営、企画、開発、デザイン、施工、監理や遊戯機器および遊戯機器・部品のレンタル、修理および保守管理業務などを行う。秋葉原駅電気街口より徒歩 1 分圏内の超駅前立地。3F はフロントのみ、4F 8F までがパーティールームを含む通常カラオケフロア。秋葉原商圏内で唯一、全 27 部屋の、「一人カラオケ専用フロア」を 2 フロアにわたって提供。最新機種「JOYSOUND f1」を搭載し、ギターパート、ベースパート、自分の得意な楽器で「うたスキ」動画を撮影し、簡単に楽器演奏動画のアップロードが可能。うたスキユーザー同士の個性と演奏技術のコラボでバーチャルなバンド体験を楽しめる。持ち込む物は楽器と接続ケーブルだけである。また、自社施工ならでの 58 部屋全てが個性的な表情を持つこだわりのフロア内装になっている。さらに、ギター、ベース、ドラムマシン等、あらゆる加エフェクトユニットが集結された「GB-1」も、地域最大数導入されている。ギター各種 300 円など楽器のレンタルも行っているため、手ぶらで遊ぶ事が出来る。

デメリットは料金がスタジオの個人練習のほうが安い。ドリンクはないがスタジオペンタ大塚店の個人練習が 1 時間 8 0 0 円。あとは機材。SHURE SM58 とカラオケ用マイクは根本的に違う。モニタースピーカー、壁、まあ比べるのが間

違っているのかもしれないがあえて比較すると色々と違う。メリットは手軽にいつでも使えること。スタジオの個人練習は結構予約がとれないのである。当日予約のところが多く、バンド練習優先だから運が良くないと空いてないのだ。夕方とかまず無理空いていない。これが唯一にして最大のメリットではないだろうか、アドアーズ秋葉原店を利用した来場者は話していた。

## 第一興商

株式会社第一興商（だいいちこうしょう、英称：Daiichikoshō Co., Ltd.）は、業務用カラオケ・コンテンツ関連の会社である。業務用通信カラオケでは業界最大手であり、放送事業にも参入しており、レコード会社を子会社として傘下に収めている。社是は「もっと音楽を世に、もっとサービスを世に」である。カラオケの旗手である DAM シリーズを提供。LIVE DAM、Premium DAM などバラエティに富んだラインナップをそろえている。全国のカラオケ店に導入されている人気機種である。

将来性あふれるアーティストの発掘と作品の発表を積極的に行い、質の高い、幅広い層で受け入れられるヒット曲・名曲を数多く創出することにより、カラオケへの参加を促進するために音楽レーベル会社2社（日本クラウン株式会社、株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ）及び販売会社1社（クラウン徳間ミュージック販売株式会社）において音楽、映像ソフトの制作・販売を行っている。最近ではアニメのキャラクターやボーカロイドとコラボした専用のカラオケルームが準備されており、現在は池袋店にて「青の祓魔師」とのコラボレーションを展開中。プロモーションとしては、DAMの独自コンテンツである DAM CHANNEL をカラオケ店にて配信。現在はきりーぱみゅぱみゅが司会をつとめ、様々なアーティストにインタビューをしていく内容で配信中。

## セガカラ

セガカラとは株式会社セガが手掛けるカラオケ事業の総称の事である。エンタテインメント事業の一貫として1994年に子会社（セガ・ミュージック・ネットワー



クス)を作り、カラオケ事業に参入したのが始まり。カラオケだけではなく、アミューズメントパークのように、いろんな遊びが揃った空間を作ることを目的に機能が選ばれた。Prologue21というカラオケ配信機器を使用し、特徴として、全国採点機能や、自由にメドレーを作れるフリーメドレー機能、ネットショッピング機能、また、セガサターンをベースに作られているため、ゲームソフトで遊ぶことが可能になっている。曲数は少ないが、マニアックな曲(アニメソング)が豊富なため、ファンが多い機器である。カラオケルームの設備は、ブロードバンド対応、ハイビジョン映像、5.1chサラウンド、テレビ電話(オーディション)、ハイテクリモコン、歌った後、歌っていない時など、さまざまなシーンで楽しめるゲームを搭載している。

セガカラはiphone用カラオケ配信アプリを配信しており、30000曲以上のバリエーション、エコー調節機能、採点機能(最高1000満点)、音量調節機能、キーコントロール、テンポコントロールと多様な昨日を備えている。対応機種はiPhone5, iPhone4, iPhone 3GS, iPod touch, iPad。ダウンロードを無料で行い、アプリ内課金でチケットを購入することで利用可能となっている。30日間歌い放題 450円(税込)、10回再生利用権 85円(税込)、25回再生利用権 170円(税込)である。

家庭用PC向けカラオケ配信サービスも行っており、月額1,050円(税込)で歌い放題、合計30000曲以上の配信を行っている。毎月約200曲が追加されており、全国採点機能付きで本格的なカラオケを楽しむ事が出来る。使用方法は専用アプリケーションをPCにインストール (Windows 限定)、特定のISPのIDを用意して、契約をし、アプリケーションを起動。曲を選択し、PCにマイクを繋げばすぐにカラオケを楽しむ事ができる。

実際にサービスを使っているユーザーは、家での自主練や、休日に子供達とセガカラを使ってカラオケを行ったりしている様である。また、DAMなどには無いアニメソングなどが配信されているため、アニメソングを歌いたいユーザーが好んで利用している。

## 1 人カラオケ

一人カラオケとは、名前の通りだが、一人でカラオケを利用する事を指す。略してヒトカラと一般的に呼ばれている。マーケティングサイト「モッピーラボ」での女性向けアンケート結果によると、20代で26.7%、30代で18%、40代で12%にヒトカラの経験がある事がわかった。サンケイリビング新聞社アンケートでは、20代から50代女性のカラオケ経験者のうち27.7%にヒトカラの経験があるという事も解った。歌の練習やストレス発散、場の空気を考えながら選曲することへの気疲れなどの理由から、一人でカラオケを楽しむ例が多くなっている。

そんな中、1人カラオケ専用店「ヒトカラの鉄人」という一人でカラオケをするための設備が整ったヒトカラ専門店が存在する。全ルーム鍵付きで、レディースエリアやカフェスペースなど普通のカラオケ店ではあまり見られないサービスが展開されている。また、個人でのレコーディングサービスがあり、スタジオとしても利用可能である。

また一人でカラオケを家で楽しむ事の出来るキットをセガカラが出している。「うるさくないカラOK! ミュートマイク」価格:3,980円(税込)である。セガカラのアプリに対応しており、連動することで一人カラオケを楽しむ事が出来る様になっている。2012年11月現在、マイクからの音声を入出力出来るカラオケiOSアプリは「セガカラ」のみとなっており、その他の音声入出力に対応していないカラオケアプリでは、イヤホンからマイクの音声を聞くことは出来ない。

また、エクシングの動画撮影サービスもヒトカラの人気もあって話題になっている。カラオケルームで歌う姿を録画し、同社専用サイトで共有できるという物である。1カ月の投稿数は約10万本。「利用者の9割が10代~30代」である。月に30本を投稿する待山昌寛さん(38)は週に約2回、約4時間ずつ1人カラオケに費やし、持ち歌を歌う動画を投稿している。閲覧者から「すてきでした!」といったコメントがサイトに届くのが魅力という。時には他人の動画を同時再生させて疑似デュエットも楽しむとのことだ。

k

## 第5章

# 東横線沿線に音楽の能力がある人材の移動についての調査

5章では新たに提供できる演奏（ライブ、コンサート、レッスンなど）の検討をする為に、東横線沿線に音楽の能力がある人材の移動についての調査結果について述べる。具体的には Sound system、音楽番組、音楽教室、学校公演、その他、都市基本構想・道玄坂街作り研究会を取り上げて書いて行きたい。先に各項目の調査するに到った理由と、調査のまとめについて述べ、後に報告書で書かれている詳細について述べて行きたい。

・駅前演奏現在、駅前や路上にて演奏する事は基本的に禁止されている。演奏を行っているミュージシャンは無許可で演奏を行っているのが現状だ。演奏を行うには警察の許可が必要であり、それらは一般的に許可が下りる事はない。しかし柏や埼玉など一部の地域では警察と演奏者の間に路上ライブを許可する仲介会社が入り、演奏可能な場所も最近は出て来ている。自由が丘でも夜22時以降、駅の周りにて演奏可能な場所が設けられていることがコンソーシアムにおける議論にも出て来ていた。路上ライブを行う事は、聴衆と近距離で演奏をする事によって直接的に反応が見られる場になっており、演奏者にとって技術だけではなく、見せ方を含めた学びの場所として重要である。そのため、コンソーシアムでは駅前演奏など路上ライブを行える環境をつくって行く事を検討していきたい。現在路上ライブが活発に行われており、有名なミュージシャンも過去に演奏を行っていた「横浜」を調査対象とした。

・野外フェス 野外フェスティバルとは、屋外で大規模に会場を設営して行われる祭りの様な複合的なライブイベントである。大音量を用いるため、住宅地から離

れた都市部の工業地域や埋立地などの空き地、あるいは郊外の牧場・スキー場・海浜公園などで行なわれている。野外フェスティバルは2年程前から特に話題になってきている。一般的なライブに行く際には誰が出るかという情報が参加への決め手になるが、野外フェスの場合にはアーティスト単体ではなく、その野外フェスの持つ編集力(会場の雰囲気、アーティストセレクト、来客者の雰囲気、提供される食事など)であると考えられている。それはつまり、フェスに来ることで情報を得られるようになっており、フェスが単に音楽を聞くだけの場ではなく、マガジン化しているのではないかという事がコンソーシアムで議論された。都市計画的において、音楽をどう使っていくかという事を考えた時に、都内の飲食店や空き地、既存のコンサートホール、ライブハウスなどをデジタルインフラで有機的に繋ぎフェスティバルを企画することで、聴衆と演奏者の新しい出会いをつくる事を検討する。その為に日本国内、国外における有名な野外フェスティバルである「FUJI ROCK FESTIVAL」、「RISING SUN FESTIVAL」、「MTV ZUSHI FES」、「Free Dommune」「lollapalooza」、「Mid Green Stage」の調査と、「ap bank fesにおけるビジネスモデル」の調査を行った。

・飲食×音楽演奏者が過去に飲食関係の仕事に就いていたり、掛け持ちしたりしているケースは多く、本プロジェクトのリサーチャーである川村氏(ウィーン国立音大修士首席卒業)も日本に帰国した後、barで働き、時にはその場で演奏を行っていた。演奏者にとって、お客さんの顔が見える中で演奏する事は野外ライブを行う事と同じ様に学ぶ事が多い上に、ファンをつくる事が出来る機会となる。聴き手からすれば、いい音、生演奏で音楽を聴く事は食事の体験をより豊かな物にしてくれる。しかし、クラシックやジャズの音楽家が開かれた空間に出て行くことをネガティブに捉えている事が多い。それらをポジティブに捉えられる仕組みが必要だとコンソーシアムでは考えている。また、ハイレゾなど高音質音楽配信が発達している中で、いい音を聴ける場が存在しない。これらを踏まえて、シブヤテレビジョンの持つ物件を使ってミュージックレストランを行う事を検討したい。調査項目として、音楽を聴く事を目的に音楽通が多く通う「BAR TRACK」、オープンな雰囲気でも高音質の音楽を流している「Spiral Cafe」、食べログにおいて赤坂での評価が一番高い事で知られる「bar tiare」、立食だが本格的なフレンチと

生演奏を提供することで他店との差別化に成功している「俺のフレンチ」を取り上げる。

・ニッチな音楽ニッチな音楽とは現在メジャーに演奏されているジャズ、ロック、クラシックなど以外の音楽ジャンルの事を指す。ニッチな音楽は根強いファンによって構成される強いコミュニティを持っている。独自の楽器やルール、それぞれのジャンルで協会が存在している物もある。また、関わる演奏者達は音楽を続けて行く中で様々な工夫をしながら活動しており、その多くは飲食を扱ったり、音楽教室とライブハウスを時間を別けて行うなど、我々のプロジェクトにおいて参考になるため調査項目とした。「シャンソン」、「タンゴ」、「三味線」、「フラメンコ」を調査対象とした。

・音楽教室音楽教室とは、生徒がピアノやヴァイオリンの演奏について先生から教わる事の出来るサービスである。音楽教室で有名なのは、ヤマハ音楽教室やカワイ音楽教室、山野音楽教室などがある。子供に向けた教育だけではなく大人の為の音楽教室もあり、近年はそちらの方が盛況である。しかし多くの個人/法人音楽教室の講師は、音大を卒業していない人も多く、全体的に教育のクオリティが低い。しかし、音大を卒業した人が音楽教室にて教えることを拒否しているから講師をしていないのではなく、法人音楽教室が彼らを音楽家として扱っていない、というのが原因である。レベルの高い先生は存在するが、それらのコースを受ける為には多くの授業料を払わなければならないのが現状である。しかし実際は教えたいと思っている音楽家は多く、コンソーシアム参加企業の森音楽事務所では音楽家が教える音楽教室を現在行っており盛況である。きちんと音楽家をそろえた音楽教室を開く事は、音楽家にとっては教える事で収入を得ながら自分のファンをつくる機会であり、生徒にとっては質の高い教育を受ける事が出来る場である。コンソーシアムでは音楽家と生徒のコミュニティをつくる事が本プロジェクトにおいて多くの事に関係する重要な事であると考えており、ノウハウのある森音楽教室と音楽家のつながりを持っているコロンビアによって新しい音楽教室をつくる事を検討している。そのために森音楽教室に良い音楽教室の条件についての資料を頂き、報告書に載せる事となった。

その他その他では坂茂について説明したい。坂茂は紙で出来た円柱を構造材に

用いて建物を建てる建築家である。コンソーシアムにおいて音楽教室やコンサートを変った素材や雰囲気の良い空間の中で行うという事は重要であるという議論がされ、調査項目とした。また、ポップアップコンサートを行うなど、素早く設置、分解させる事が求められる場合には紙で出来た構造は適していると議論された。

#### 都市基本構想・道玄坂街作り研究会

都市基本構想は東京の西部である渋谷から横浜の地域において音楽教育と音楽演奏に代表されるパフォーマンスを集合的に感じ取ることが出来る都市環境を構築するためのものである。2013年3月16日に東京メトロ副都心線と東横線の相互直通運転がはじまったことで、現在音楽家が多く住んでいる東京の東の地域と渋谷から西の地域への行き来が容易になり、東京の北部に集中している音楽大学の周辺に住居を構える音楽家の環境が変化する可能性がある。そのことにより、将来的に渋谷から横浜に至る地域は音楽パフォーマンスによって場所の価値が高まる場所になると言う事がコンソーシアムにて議論された。コンソーシアムの指針にする為、議論された内容をまとめ報告書に記載した。さらに都市計画の参考として、東急電鉄が行っている二子玉川ライズに関する調査を行った。また、総務省ICTスマートタウン事業についても関係が深いので調査を行った。現在行われているICTスマートタウン事業には行政と観光・交通・教育・医療はあるが、教育のプロジェクトがない。平成25年度予算で35億円が予定されている事業である。全国で50箇所の採択検討がある。『音楽コミュニティコンソーシアム』が、東京都世田谷区、目黒区において東京急行電鉄及び音楽コミュニティコンソーシアムの会社で提案も検討している。道玄坂まちづくり研究会とは、シブヤテレビジョンは平成18年度から行っている勉強会である。これの成果をシブヤテレビジョンから頂き、報告書に記載した。コンソーシアムでは渋谷において様々な都市計画について議論してきたが、この土地に住む地権者や渋谷区、町会、商店街が行っている議論を理解し、共につくって行かなければならない。その為に道玄坂まちづくり研究会の成果を参考に検討して行く必要がある。

それぞれの項目の詳しく調査した内容についてそれぞれ見て行きたい。

## 5.1. 駅前演奏

### 横浜

横浜駅西口繁華街に直通しており、平日休日を問わず多くの人を利用する。そのため西口で演奏を行うアーティストも多く、オーディエンスもつきやすい。路上ライブを行うには道路使用許可の申請をしなくてはならない。

横浜駅前で演奏していて、今は有名になったアーティストは多くいる。その中の一人である廣瀬友里は赤坂 BLITZ において行われた「第一回 おとめ会 発足記念 festa」に出演した経験を持ち多くのファンを持っており、先日六本木で 300 人ワンマンライブの達成した。CD は TOWER RECORDS ONLINE にて購入可能。また、ヒガシミネメグミは今、横浜駅付近のライブハウス、BAYSIS にて月に一度のコンサートを行っている。また自身の楽曲をインターネット上でダウンロード販売している。Lake Placid Blue は横浜 VIVRE でインストアライブを行ったり、神奈川県を中心に精力的に活動中のバンドである。2011 年には渋谷 O-EAST O-WEST で行われた「全力投球!!'11 夏 "音楽ガデキルコト"」に出演するほどの実力バンドになった。

## 5.2. 野外フェス

### FUJI ROCK FESTIVAL

FUJI ROCK FESTIVAL は新潟県湯沢町苗場スキー場で行われる国内最大級の野外フェスである。2013 年は 7/26~28/Fri, Sat, Sun に行われた。入場券は 3 日通し券で 42,800 円、1 日券で 17,800 円（各日限定 10,000 枚）を販売した。FUJI ROCK FESTIVAL の会場は周囲を山林に囲まれた大自然の中にあるため、単にライブを観賞するだけではなく、森林浴やキャンプといったアウトドアを満喫する行楽イベントという意味も含めた「フェスそのものを楽しむ」ために来場する客も多く来場している。それが会場の和やかで落ち着いた雰囲気を作り、その



居心地の良さに惹かれた多くのリピーター (いわゆるフジロッカー) を獲得しているといわれる。

広大な敷地にはステージがいくつか別れている。WHITE STAGEHS は 15,000 人収容セカンド・ステージになっており、各シーンの先端をいくサウンド、ジャンルレスなステージで人気を博し入場規制がかかる事もある。RED MARQUEE は唯一の屋内ステージになっており、約 5,000 人収容の大型テントである。深夜から朝まではライブと DJ パフォーマンスが繰り広げられる。木道亭はボードウォークにある森に囲まれた小さなステージ。電力はバイオディーゼル発電で行っており、CO2 排出量削減に取り組んでいる。DAY DREAMING & SILENT BREEZE はアトラクション紙芝居やパフォーマンス、チルアウトミュージックからダンスビート、子供から大人まで楽しめる場になっている。

FUJIROCK には国内国外から著名なアーティストが参加しており、2013 年の参加アーティストを一部紹介すると。リズム&ブルースやロックンロールをルーツにした楽曲や熱いライブパフォーマンスを得意とする THE BAWDIES、音楽プロデューサー、ディスクジョッキーである FLYING LOTUS。おもにヒップホップ音楽を手がけるが、ジャズや電子音楽、ブラジル音楽の影響をつよく受けており、強い重低音と特異なリズムが特徴的。アリス・コルトレーンを叔母に、ジョン・コルトレーンを叔父にもつ。また国内からは KEMURI なども参加しており、彼は 1995 年東京 skapunk という音楽スタイルと、PMA Positive Mental Attitude (肯定的精神姿勢) というメッセージを掲げ、明るく、力強い独自の音楽創りを行っている。

## RISING SUN ROCK FESTIVAL

RISIN SUN ROCK FESTIVAL は「サマソニ」や「ロックインジャパンフェス」が幅広いジャンルの J-POP アーティストが出演するのに比べ、ロック的なジャンルに沿ったラインナップを志向しており、ちょっと硬派な、個性的なアーティストが出演するフェスとなっている。何もない石狩の広大な土地の草刈りをするところから、フェスティバルはスタートするのが特徴。電気を通し、水道を引き、資材を組んでステージを設営し会場を作り上げて行く。

運営は北海道のコンサート企画・運営会社 WESS（ウエス）が行っており、石狩湾新港樽川ふ頭横野外特設ステージにて、2013年は8月16日（金）・17日（土）に行われた。会場への交通アクセスは、北海道中央バスが地下鉄麻生駅から開催期間中に臨時のシャトルバスを運行している（所要時間約30分/運賃600円）。また入場チケットとのセット販売もされている。自家用車だと駐車場からかなり歩くこと（約15分）になる。

総出演アーティスト数は全103組（2012年度）、総入場者数は47,000人（2012年度）と、国内最大級のフェスである。真夏に行われるため、気温が最高30.1度（13日）、最低14.8度（13日）と厳しい暑さになる。

オールジャンルの音楽の演奏を行う為に設置されたオーディオは、ヴィンテージオーディオを選択。音質のみの追求ではなく非日常感の演出を目指す事が目的である。会場内にテントを張って一夜を明かせることも大きな特徴になっている。

ロックやテクノを中心に好む老若男女がRISIN SUN ROCK FESTIVALに参加している客の特徴で、フェス中の服装はTシャツ+カーゴパンツ（or マキシ丈程長くないスカート）+スニーカー（or 長靴）を基本的な服装にし、加えてウインドブレーカー、パーカーを持ってくる事が一般的なスタイルとなっている。（北海道なので防寒は必須）

ライブ以外にも北海道ならではの味覚が味わえる飲食店や自然を満喫できるアトラクション、環境問題について学べるブースに至るまで、ステージ上で音が鳴っていない時間も楽しめる要素が満載である。通常のコンサートやイベントなどと異なる点はいくつもある。RISIN SUN ROCK FESTIVALにはあらかじめ確保された座席もなければ、入場ゲートからステージまで誘導する案内スタッフも存在しない、来場者各自の判断に任せるのが特徴である。

## MTV ZUSHI FES

MTV ZUSHI FESは灼熱の太陽の下、海に囲まれたリゾート地ならではの開放感の中、豪華アーティストのライブが見れ、水着で参加できるリゾート型野外音楽イベントである。2008年からスタートし、現在5年目の野外音楽イベント。目の前に広がる海とパームツリーに囲まれた「シーサイドリビエラプール」で遊び

つつ、水着のままライブにも参加できる、08年にスタートしたMTVによるリゾート型フェスである。主催は株式会社 リビエラ東京、MTV Networks Japan 株式会社、avex live creative inc.、女性チャンネル♪ LaLa TVである。神奈川リビエラ逗子マリーナ特設会場にて行われ、2012年は8/10 [金]・8/11 [土]・8/12 [日]、各日開場 10:30、開演 12:00であった。

Crystal・Kay、ナオト・インティライミ、西野カナ、三代目 J Soul Brothers、PESなど参加アーティストはJ-POPの有名所が多い。

MTV ZUSHI FESの参加者は、ケータイ世代で派手なイベントを好む人、J-POPやR & Bを好む人がおおい。フェス参加中は鎌倉のしらす丼を食べたり、会場にあるプールで遊んだりと音楽以外のことでも遊べる様になっている。

## Free Dommune

Free Dommuneは平日の夜にまるで本当にクラブにいるような感覚を味わえる、がコンセプトのフェスである。運営は宇川直宏（グラフィックデザイナー、映像作家、VJ、現代美術家、文筆家、オーガナイザー）が主宰している。普段は東京・渋谷のライブストリーミングチャンネル／スタジオにて録画がされており、年に一度幕張メッセでFree Dommuneが開催されている。19時から第1部「TALK LIVE」が、21時から第2部「DJ STREAMING (BROADJ)」が行われる（日によって異なることもあり）。スタジオ観覧は事前予約制で入場料1500円である。

このフェスに参加してる客の特徴は、インターネットへのリテラシーがあり、クラブミュージックに興味がある人である。ライブストリーミングでの視聴者は常時2000人ぐらいいる。

DOMMUNEの特徴としてまず、フリーであるのにも関わらず一流のアーティストが出演すること。世界中のトップアーティストがライブを行う。トーク番組も出版記念トークや芸能人同士での対談など他ではあまり無いような変わったテーマなどが多い。次に音質、映像のクオリティが非常に高い。「高いビットレートのmp3を聴いているかのような見事な音処理とプロの人からの評価が高くされている。また、自宅でクラブにいるような体験ができる。視聴者はリアルタイムでツイートできるので、それがまるでクラブでの会話のような感覚になる。そのため

か自宅1人で放送みながらお酒飲む人が結構多い。また、放送の著作権に関しては、JASRACのライセンスも取得してクリアしている。全曲をJASRACに申請して使用料を支払っている。プレイするDJはセットリストの提出を義務付けられている。

配信方法は、すべての番組がインターネット上のライブ配信と、連動しているTwitter @DOMMUNE で発信される。2012年8月まではUstreamを使用していたが、同年8月11日のFREEDOMMUNE 0 < ZERO > A NEW ZERO以降はYouTubeのライブ配信サービスを使用している。配信番組は視聴無料で、原則として日曜～木曜に放送される。金曜・土曜に放送がないのは「リアルなクラブへ足を運んでほしい」という意向によるものである。

参加アーティストは、小室哲哉、salyu x salyu、マニユエル・ゲッチング、灰野敬二、HEIKO LAUXなど。Freeのイベントとは思えないメンバー構成になっている。

## **lollapalooza**

Lollapaloozaはアメリカ合衆国で開催されるロック・フェスティバル。オルタナティブ・ロック、パンクロック、ヒップホップなど様々なジャンルのミュージシャンが公演するほかダンスパフォーマンスやコメディなどの公演も行う。1991年にジェーンズ・アディクションのボーカル、ペリー・ファレルが組織したロラパルーザは北米各地をツアーする形態をとったロックフェスティバルで、オルタナティブ・ミュージックの隆盛に伴い1990年代のアメリカの若者文化の重要な一部を担う存在となった。加えて音楽以外のカルチャー（少林寺拳法、イラスト、ゲーム、美術作品）などのパフォーマンス、ブースが設けられカウンターカルチャーが集まる場ともなる。

2005年以降、テキサス州オースティンに本拠をおくキャピタル・スポーツ・エンタテインメントが運営を行い、シカゴ都心の大規模公園グラント・パークを毎年の会場とする週末開催型の野外フェスティバルに変更された。猛暑にもかかわらず65,000人が集まる成功となった。以後、ステージ数や開催期間を増やしなが

らフェスティバルは毎年続いている。開催地は 2011 年までシカゴに固定されている。

発起人はペリー・ファレル。ジェーンズ・アディクションの解散にあたり、単独の全米解散ツアーの代わりに多くのバンドとともに全米を回る「ロラパルーザ・フェスティバル」の開催を考案。Lollapalooza は音楽のジャンルを超越し、また全国都市を巡回してのフェスであり 1990 年代のアメリカオルタナティブ・ミュージックの活性化に結びつく。

開催場所はアメリカ、シカゴのグランドパーク。2008 年オバマ大統領の大統領選挙勝利宣言をした場所としても有名 1.29 平方キロメートルの広さがある。2011 年まではグランドパークに固定されていたが、2012 年はブラジルサンパウロで、2013 年はイスラエル・テルアビブで開催予定。Lollapalooza の特徴は開催地がシカゴに固定される 2005 年以前は移動式のフェスだったこと。左記の図は 1994 年にアメリカ、カナダで 43 公演を行ったときのコンサート開催地。

主な参加者は EMINEM、LADY GAGA、RED HOR CHILI PEPPERS、X JAPAN など多ジャンルのアーティストが出演している事が特徴的である。近年では YOUTUBE に専門チャンネルを設立し、ライブ映像の配信も行っている。

## Mid Green Stage

爽やかな春風が心地よい東京ミッドタウンの芝生広場で、「New Stage～新たなステージ～」をテーマに屋外コンサートを開催。国内外の第一線で活躍する多彩なジャンルの表現者たちが挑む、オペラ、バレエ、クラシック音楽の新たなステージである。開催日時は 2013 年 4 月 27 日（土）～29 日（月・祝）で、時間 15:00～、18:00～であった。入場料は無料で行われている。主催は東京ミッドタウン。

4 月 27 日（土）は OPERA（オペラ）の公演が行われ、演目は Digitalyrica 《イタリアオペラ・ガラ・コンサート》であった。協力は株式会社二期会 21 である。オペラ歌手と最先端の電子楽器が融合した Digitalyrica（デジタルリカ＝“Digital”と“Lyric”の造語）。2,600 名以上のプロオペラ歌手を有する二期会の精鋭トップ歌手と最先端の電子楽器（エレクトーン）による、上質かつエキサイティングなステージ。『椿姫』や『リゴレット』などで知られるオペラ界の巨匠ヴェルディ生誕

200周年を記念して、イタリアオペラ400年のレパートリーの中から選りすぐりの名場面を東京ミッドタウンの芝生広場で展開した。4月28日(日)にはBALLET(バレエ)の公演が行われ、出演は西島千博、新感覚のバレエ・ダンサー「西島千博」が芝生広場を舞台にコンテンポラリーダンスに挑んだ。最終日の4月29日(月・祝)にはCLASSIC(クラシック)が行われ、出演は西本智実、演奏はイルミナートフィルハーモニーオーケストラが行い、オーケストラによるクラシック音楽演奏が公演された。

### フェスのビジネスモデル(ap bank)

フェスのビジネスモデルについてAP BANK フェスのモデルを例に挙げる。様々なステークホルダーにap bankのコンセプトのもと集まり、構成されている。

## 5.3. 飲食×音楽

### BAR TRACK

落ち着いた店内で、ゆっくり音楽を聞きながらお酒を飲むためのバー。目立たない外観になっており、入りにくいとを感じる人も多い。客層は30~40代の男性が多く、音楽の邪魔になる携帯の着信音や通話は禁止されている。また、大声での会話や笑い声は禁止されており、店員が注意をすることや、お店を出されてしまうこともある。お店の雰囲気を重視しているため、客へのサービスに関しては批判も多く、フレンドリーな雰囲気は常連にならないと味わえない。一方で、常連からの支持は熱く、「audio、選曲、雰囲気ともに最高」との評価もある。また店内全席喫煙可能なため、タバコのおいなどが気になる人にはおすすりではない。オーナーの福山氏が音楽の選曲を行う。福山氏は現在、Bar Marthaを運営している。

店舗は東京都渋谷区東3-24-9 サンワード恵比寿101に位置し、恵比寿駅から徒歩5分と近い。定休日はなく、営業時間は19:00~翌05:00。平均予算は3000~4000円で、席数は50である。2010年7月にオープンした。

オーディオにこだわりを持っており、SpeakerはTannoy Rectangular York (Monitor Gold)を使用、AmplifierはMcIntosh MC 240、McIntosh MC 2205。Phono-EqualizerはLuxman E-03。PlayerはGarrard # 301 + アーム; SME3012-RPioneer P3aである。流されている音楽のジャンルはオールジャンル（ロック／シンガーソングライター／ソウル／ブルース／ジャズ...）である。

提供される飲食では、ハモンイベリコ、氷なしハイボールが名物となっている。氷なしハイボールは京都サンボアのスタイルを継承しており、グラスが冷えているため、氷で味が薄まることなくハイボールを楽しめるようになっている。

BAR TRACKを利用する客さんは食通や、飲食関係の人が多く、「この雰囲気は一朝一夕ではできない」「背伸びして行きたくなるおしゃれなバー」と食べログにてコメントしている。

Martha Records Inc. はBAR TRACK（恵比寿）BAR MARTHA（恵比寿）、BAR NICA（新宿）、Rosie Bar（新宿）、BAR SMOKE（新宿）など、いくつか店舗を経営している。

## Spiral Cafe

複合文化施設「スパイラル」は、ギャラリーと多目的ホールを中心に、レストラン・バー、生活雑貨ショップ、トータル・ビューティ・サロンなどで構成されている。ワコールアートセンター株式会社が運営しており、1985年10月から「生活とアートの融合」をコンセプトに活動している。現代美術やデザインの展覧会、演劇・ダンスなどの舞台公演、コンサート、ファッションショー、シンポジウム、パーティなど、ジャンルを融合するようなアート・イベントを数多く開催。デザインを槇文彦（建築家）が行っており、1980年代の日本のモダニズム建築を代表する建物として評価されている。建物内部の1階から3階は、世界に類を見ないユニークな構造を持っており、ギャラリーを見渡すカフェからショップを通って多目的ホールへと連なるオープンな空間構成が、通常の美術館や劇場とは異なったアートとの出会いを体験できる。

東京都港区南青山5-6-23 スパイラル1Fに位置し、表参道から約200Mの距離である。営業時間は11:00～23:00（ランチあり）、平均予算は1000～2000円（昼

／夜ともに)である。年中無休で営業している。

スパイラルでは様々な開催イベントが催されている。ゴールデンウィーク (今年14回)に行われる、ICF (スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)は公募展形式のアートフェスティバルで、さまざまなジャンルのクリエイター100組を選出、新しい才能を紹介を目的としている。

Monday Bluesは全く新しいブルースイベントを”として始められた、2013年は3会目の開催となり、初の”二回連続企画”に挑戦しているイベントである。”ニューオリンズ”を舞台とし、一回目は”マルディグラ”を、二回目は”セカンドライン”を取り上げた。

その他開催予定イベントの一例として、展覧会では専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ2012年度卒業制作展。イベントではスパイラル芸能の宴2013『花方』～序章「花の宴」。ダンスではPOWER OF ART DANCE SERIES VOL.2 駆ける女が、レクチャー&ワークショップでは美しい暮らしの学校 第6回「ものとの縁の結び方。自分で選んで使い続ける。」などが開催された。

## 俺のフレンチ

俺のフレンチは、一流のフランス料理を低下価格で提供している新しいタイプのレストランである。3つの工夫からそれらは成り立っている。一つ目に居抜き物件に出店すること。中古の飲食店などを買い取るにより、設備投資に必要なお金を抑えている。2つめに内装にお金をかけないこと。居抜き物件にの内装をできるだけ流用することにより出費を減らす。つまり、料理以外にはできるだけお金をかけないということである。3つめに高い回転率で収益をあげようこと。一般のフレンチレストランだと回転率が1程度になるが、立ち食い席にすることにより回転率をあげることができる。回転率を数回転にすることにより利益があがる運営になっている。

コストを押さえているが、一流シェフスタッフを起用している。銀座店は松涛にある「シェ・松尾」の元総料理長・能勢和秀氏、シェ松尾・青山サロンの元総料理長・布川鉄英氏、ジョエル・ロブションの飯田夢崇氏など一流シェフを迎え、神楽坂店にはフランスの3つ星フレンチ「アランシャペル」で修業した遠藤雄二



シェフをトップシェフ迎え、フランスの星付き店で料理長を務めたキャリアを持つ前田伸治シェフらが脇を固めている。お客の70%は女性で構成されている。(出典 All about グルメ) 広報担当の岩崎菜乙美さんは、20代以上をターゲットに、「これまでフレンチは敷居が高いと思っていた方はもちろん、造詣の深い方にも本物を召し上がっていただきたい」と語っている。

提供される料理のメニューは、牛フィレ肉とフォアグラのロッシーニ(1,344円)、活オマールのロースト貴腐ワインソース(1,344円)、鴨のオレンジ風味(1,575円) ニース風ラタトゥイユ(504円)、魚介のマリネ(504円)などがある。

お店を利用したNyaho(20代後半・女性・東京都)は「2人でたくさん食べて飲んだのに、とても満足できる値段。想定どおりに美味しい!」接客は丁寧ではないのが、他の店とも共通しているところ。非常に残念。」「一気に注文すると、次々料理が運ばれてくるので、小さなテーブルに入りきらなくなる」とコメントしていた。

また、俺のフレンチでは時間によって生演奏を行っている。この事に対しての意見は賛否両論で、クオリティの低さからブランディングを下げていると言う人もいれば、生演奏を聴きながらの食事を心地よく感じ、絶賛する人もいたりしているようである。

## 5.4. ニッチな音楽

ニッチな音楽は強いコミュニティを持っている。独自の楽器やルール、それぞれのジャンルで協会が存在しているジャンルもある。また、関わる演奏者達は音楽を続けて行く中で様々な工夫をしながら活動しており、その多くは飲食を扱ったり、音楽教室とライブハウスを時間を別けて行ったりと我々のプロジェクトで多い参考になるため、調査項目とした。

### シャンソン

シャンソンが演奏される場所はライブハウス等より、多くのイベントがホール、飲食店(レストランやバー等)、貸切会場にて行われる。多数の客席がある大きな

会場を貸し切るには、場所によって夜の割増などのルールがあるため、料金は少し高めとなっている。

現在活動しているシャンソン歌手を例にあげて活動の様子を見て行きたい。鳥越さやかはラゾーナ川崎プラザソルで最近演奏しており、そのキャパシティは200席、チケット料金は5000円で設定している。山口蘭子は最近セルリアンタワー東急ホテル JZ Brat で演奏しており、290席（スタンディング200名、着席90名）、チケット料金：5000～5500円と設定している、ソワレはSARAVAH東京で演奏しており、お店のキャパシティは230席（着席60、オールスタンディング100、着席40＋立見30）、チケット料金を4000円～4500円としている。佐々木秀実が最近演奏しているお店は森のホール21でキャパシティは436席、チケット料金は5500円である。

また、日本におけるシャンソン協会がいくつかあり、日仏シャンソン協会、日本シャンソン館、日本シャンソン協会が存在する。

## タンゴ

タンゴのステージはライブステージで行われる。都内ではタンゴのライブがある飲食店があり、そこもやはりステージがあったり、普段教室を行っている場所である。また、またパーティー会場や貸しステージのある場所でも行ったりする事もある。タンゴが聞ける場所として赤坂のアンベ・クアトロがまず挙げられる。プロの演奏者であるタンゴ・エスキーナ・トリオ、バンドネオンの大河内 祐を中心に、石井有子、山下真愉美、吉川雅子の4人が「街角のタンゴ」として毎月第二水曜日にレギュラー出演している。ノチェーロ 六本木ではサンバ、ボサノバ、ショーロ、タンゴ、バンドネオン、チャマメ、ボレロなどラテン音楽を中心にしたライブを行っている。

日本で古くから活動しているサークルがある。Orquesta de Tango Waseda（オルケスタ・デ・タンゴ・ワセダ）である。951年に「早大タンゴ・バンド」として誕生したバンドである。ファン・ホセ・オルティス氏によって「オルケスタ・デ・タンゴ・ワセダ」と命名され現在に至る。活動としてTANGO スエニョスさん主催のタンゴフェスティバル2012に参加や、渋谷にある東京タンゴシティでミュージシャ

ンとして参加など、出張演奏も年数回行っている。(福山氏は現在は Bar Martha にいる)

## 三味線

三味線とはリュート属の楽器であり、15～16世紀成立し、和楽器では比較的歴史が浅いものである。伝統的な日本のイメージ、国際交流の出し物としてよく使われる。海外でも知名度が高い。また、クラシックやポップ・ロックとの親和性が高く、受けやすい。

三味線には大きく別けて津軽三味線と沖縄三味線の二つが存在する。

津軽三味線は青森県津軽地方で盲目の旅芸人達が始めた門付芸で、最初は譜面がなく、蔑まれていた。ジャズやブルースに通じる即興演奏が魅力である。津軽三味線が聞ける場所をいくつか挙げる。青森県弘前市住吉町8(銀座街)にある津軽路 居酒屋あどはだりは営業時間が16:00～24:00(L.O. 23:30)、不定休(要電話)での営業である。青森県弘前市富田2-7-3にある、ふる里の響 あいやは営業時間が17:00～23:00(L.O. 22:30)で、演奏時間は19:00からタイミングを見て随時行われる。不定休での営業である。

また、津軽三味線のイベントも行われており、津軽三味線全国大会「The 津軽三味線」がローカル企業の協賛を多数得て開催されている。

津軽三味線のプロの奏者が存在する。渋谷 幸平、昭和56年4月9日黒石市浅瀬石(つがるじょんがら節発祥の地)に生まれ、9歳より津軽圭助氏のもとで三味線を始める。平成12年度津軽三味線全国大会B級チャンピオン、平成13年度津軽三味線全国大会A級入選、平成20年度津軽三味線全国大会A級チャンピオンになっている。

沖縄で三味線は一般に広く普及している。それゆえに沖縄出身者が多い土地柄には三味線店が多いとも言われている。

三味線演奏者のライブのギャラの参考として上妻宏光を参考にすると、CDは(3,000円)、DVD販売・ライブ、コンサートでは明智楓ホール2,500円、富山県教育文化会館では3,500円、浅草公会堂では5,500～6,500円、千葉市民会館で行った時は無料招待制で演奏会を行った。また、三味線奏者の澤田勝成はイベント出演

や、地方出張、国内外文化系イベント（東日本大震災チャリティー中国凱旋ライブ）、稽古教室（入会金1万、月謝1万）、指導（椎名林檎「勝訴ストリップ」）、他コンテンツとのコラボ（映画、ドラマ、ゲーム等）など様々な活動を行っている。Youtubeでは吉田兄弟の演奏が100万回再生を超えるなど人気を博しており、また、英語のコメントが多い。（<http://www.youtube.com/watch?v=Ron17xFNBf0>）

三味線販売の大手、三味線オンラインショップは三味線を5万～200万円で販売している。近年では楽器の進化も進んでおり、ゆるまない糸巻き、エレアコ三味線など様々なものが開発されている。

## フラメンコ

フラメンコ（flamenco: フランドル地方の音楽という意味）は、スペイン南部のアンダルシア地方に伝わる芸能で、歌、踊り、ギターの伴奏が主体となっている。フラメンコの歴史と発展にはヒターノ（スペインジプシー）が重要な役割を果たしている。さらにさかのぼると、ムーア人の影響もみられる。フラメンコという語が、今日知られる意味でのフラメンコに対して用いられるようになった時期は、文献から判断する限り19世紀半ばのことである。歌とギターと踊りで、悲しみや苦しみ、喜びや快楽などを表現するが、フラメンコの原点は差別されて迫害されたジプシーたちの叫びだといわれている。- フラメンコが演奏される場合は、当初は個人の家などプライベートな空間が中心であったが、19世紀後半にカフェ・カンタンテと呼ばれる定期的にフラメンコが上演される飲食店が出現し、フラメンコの普及を後押しする。カフェ・カンタンテは20世紀初頭には姿を消すが、20世紀後半になると同様の飲食店であるタブラオが出現し、現在までフラメンコの上演の場の大きな部分を占めている。この時期からは劇場公演やフェスティバルもフラメンコ上演の重要な場となっていった。

近年、フラメンコ専門アーティストおよび一般愛好家の増加はめざましく、日本は今やスペインに次ぐフラメンコ人口を誇るまでとなった。日本フラメンコ協会（略称ANIF＝アニフ）は、日本のフラメンコ芸術の普及振興及び向上発展に寄与することを目的に1990年に誕生した。日本におけるフラメンコ芸術をさらに発展させるべく、コンクールならびに協会賞の制定、国際交流による芸術活動の提

携及び促進、対外的な各種啓蒙活動、専門家の利益擁護と福利厚生、内外資料の収集保存、機関紙及び図書の刊行、各種公演、イベント、講習会などの開催、その他フラメンコの普及振興に必要な事業のような事業を計画、実行している。

協会ウェブサイトに登録されている全国の教室（バイレ、ギター、カンテ）は計136ヶ所、協賛店・企業（飲食店（タブラオ、バル等の名称がつく）、レンタルスペース、用品販売、舞台制作会社等）は計86ヶ所ある。

日常的にフラメンコライブが行われる場所はバルやタブラオ、レストラン内での定期公演であることが圧倒的に多い。ANIFに登録している協賛店はいくつかある。カルメン（兵庫県神戸市中央区北長狭通1-7-1）は、営業時間11:30～15:30 & 16:30～23:00で営業しており、1956年創業、日本で一番古いスペイン料理店である。毎週土曜日午後8時からフラメンコライブが行われる。

エルムンド（東京都羽村市五ノ神1-8-3）はランチタイム11:30～14:00（月、火、木、金曜日）／夜17:30～翌1:00（料理のラストオーダー23:30）、定休日を水曜日で営業しており、スペイン料理とフラメンコと共に32年の歴史がある。舞踊、スペイン語クラスを行っており、2階をスタジオとして貸し出している。第3土曜にはフラメンコ（19時・20時半）の公演が行われている。メゾンセルバンデス（東京都千代田区六番町2-9セルバンテスビル）は月～金にランチ&カフェ11:30～15:30/ディナー17:00～22:30、土には10:30～22:30、日祝には12:00～22:30に営業している。日本で一番スペインに近いレストランバルで、スペイン国営の文化施設セルバンテスビルの最上階にある。フラメンコ発表会にも利用することができる。

フラメンコには専門用語が多々存在するのでいくつか紹介したい。カンテ（Cante）とは歌という意味であり、魂の奥底から響く深い声（カンテ・ホンド）こそ、フラメンコの真髄といえる。ヒターノ達にとってフラメンコと言えば、まずはこのカンテが重要。男性の歌い手はカンタオール（cantaor）、女性の歌い手はカンタオーラ（cantaora）と呼ぶ。バイレ（Baile）とは、踊りのこと。日本ではフラメンコといえば踊りというイメージが強い。つま先やかかとで床を踏み鳴らしてリズムをとる（サパテアード）、また手の動き（ブラッソ）はフラメンコの命である。男性の踊り手はバイラオール（bailaor）、女性の踊り手はバイラオーラ（bailaora）

と呼ぶ。トケ (Toque) とはギター演奏。主に、アコースティック・ギターの一種であるフラメンコギターを用いる。指先でギターを叩いてリズムを取る奏法からギター表面を保護するため、セルロイドなどで出来たゴルペ板を貼ってあるのが特徴。ゴルペ (名詞 golpe, 動詞 golpear) とはスペイン語で「打撃、(剣術の) 打ちこみ」などの意味。パリージョ (palillos) とは踊り子が両手に持つカスタンネット。利き手には高音が出るもの、逆手には低音がでるものをつける。

日本のフラメンコパフォーマーである平富恵は 1988 年 小松原庸子スペイン舞踊研究所に入門。その後コンクール出場、受賞等を経て国内外で高い評価を受ける。人気アーティストのミュージックプロモーションビデオ出演や TVCF、雑誌など多方面でも活躍。現在千代田区にて平富恵スペイン舞踊研究所を開設し、後進の指導にあたる。鍵田真由美は様々な舞踊の研鑽を重ね、日本女子体育短期大学・舞踊科在学中にフラメンコと出会う。佐藤・山崎スペイン舞踊団員として、数多くの舞台を踏む。創作フラメンコその他、能とコラボレーション作品も発表し幅広く活躍。2006 年、Newsweek 日本版の「世界が尊敬する日本人 100 人」に選ばれるなど、国内外で高く認められている。現在「鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団」、ARTE Y SOELRA を主宰。石塚隆充は日本を代表する実力派カンタオール。学生時代にカンテに出会い、卒業後 1998 年よりスペインへ渡る。フラメンコの本場ヘレス・デ・ラ・フロンテーラのサンティアゴ地区に滞在し、現地のジプシー達に学ぶ。日本人離れしたその声と歌唱力はスペイン人からも定評がある。2006 年より日本に拠点を移し、ソロ活動を精力的に展開する他、フラメンコ界以外でも幅広い活動をしている。

## 5.5. 音楽教室

ヤマハなどの大手は、宣伝力や安心感があるが、講師のレベルは全体的に低く、音大を卒業していない先生や (グレード試験というものがある)、考えられないほどレベルの低い講師も存在する。誰でも教えることができるように、教える内容はマニュアル化されている。レッスン料は安く思わせているが (入学しやすいように設定している)、個人レッスンをきちんと受ける等ある程度進むとレッスン料

は高くなっている。

個人教室は、音大を卒業した人が結婚し主婦となり、その片手間でおもに自宅などで個人的に教えている。レッスン料は安く設定されている。講師のレベルは演奏家としての能力は低く、教えるプロでもないので全体的にレッスンの質は悪い。宣伝はあまりしない（できない）。生徒はおもに近所付き合いで集める。生徒の対象はおもに子供で、自宅レッスンのため大人は教えていない。たまにプロの演奏家や良い先生がいたりもするが、一般の人がそれを探す手段はほとんどないのが現状である。

コンソーシアムに参加している森音楽教室の提案する良い教室の条件は、一流の講師（音楽家）優れた講師陣が揃っている（見た目、経歴、雰囲気）こと、人が多く住む駅であり（1日の乗降者数が乗換含まず7～8万人以上）、駅から近い（徒歩5分以内、理想は3分以内）こと。綺麗で快適な環境（学校や幼稚園などが近隣にあり、緑が多い環境であるのが理想である）があること。教室の雰囲気がお洒落でカッコイイよく、少し高級感がある（通っている生徒が他の子に自慢できるような教室）こと。レッスン室は快適にレッスンを受けられる広さがある（ピアノのレッスンはグランドピアノでレッスン室は7畳以上。それ以外の楽器のレッスンはアップライトか電子ピアノ設置であっても6畳以上の広さ）こと。レッスン室は空きが少なくなるように、より多くの生徒が入れるようにすること。レッスンは土日も含む全曜日、15分単位で夜23時まで稼働すること。レッスン室の空き時間はスタジオとして一般の人に貸し出し（生徒は格安で利用できる）することである。

## 5.6. 都市基本構想・道玄坂街作り研究会

### 全体構想（副都心線）

東京の西部である渋谷から横浜の地域において音楽教育と音楽演奏に代表されるパフォーマンスを集合的に感じ取ることが出来る都市環境を構築するための基本構想を作成する。具体的に日吉、渋谷、代々木の駅前を中心に検討をする。渋谷から横浜の地域はパフォーマンスとしての音楽に価値をもつ人々が多く生活し

ているにもかかわらず、それを支える音楽家が比較的少ない地域である。2013年3月16日に東京メトロ副都心線と東横線の相互直通運転がはじまったことで、現在音楽家が多く住んでいる東京の東の地域と渋谷から西の地域の行き来が容易になるのである。東京の北部に集中している音楽大学の周辺に住居を構える音楽家の環境が変化する可能性がある。そのことにより、将来的に渋谷から横浜に至る地域は音楽パフォーマンスによって場所の価値が高まる場所になると考えられる。現在、主要音楽大学の殆どが池袋から北部～埼玉県に分布している。音楽大学の在校生は学校周辺に住居を構えているが、卒業生もまた「音出し可能な住まい」を求めて卒業した学校周辺に住んでいる場合が多い。また、コンサートのリハーサルなどに関しても卒業した大学のリハーサル室などを利用出来るため、音楽大学の卒業生のコミュニティは音楽大学周辺に集中している。音楽大学を卒業し、演奏や指導が出来る音楽家を渋谷～横浜の地域に呼び込み、音楽教室とコンサートホールやライブハウスなど音楽が実際に演奏される場所を有機的に連携させ、実際のパフォーマンスだけではなく、そのパフォーマンスを高品質に保存し、鑑賞できるサービスの可能性も検討する。

音楽の新しい価値についても考えて行いく。パッケージ化された「伴奏」に合わせて歌唱を楽しむカラオケに始まり、クラシック、ジャズ、ポップスを問わず、ライブ演奏の盛況に見られるパフォーマンスとしての音楽の価値がその一つである。また、音楽の価値を「パッケージ」から「パフォーマンス」へ変化させ、音楽にふさわしい都市をデザインすることが本研究の目的である。

都市をデザインするにあたって、東急電鉄が行っている二子玉川ライズについて調査した。全体の開発を行うにあたって、クリエイティブシティコンソーシアムをつくり、進めている。クリエイティブシティコンソーシアムとは、様々な新しい仕事、ワークスタイル、地域リソースの活用などから新たな産業を興すことを目指すコンソーシアムである。すでに二子玉川ライズには楽天のオフィスが立つことが決定しており、周辺地域では、会社員以外にも主婦、学生など様々な層が生活している。オフィスの足元は、デジタルシネマ・スタジオ類・大きな公園・五島美術館がある。東京には他に無い、ガレリアと呼ばれる商店街や歩行者用道路に屋根のある設計になっている。スケートリンクでは、2月に慶應義塾大学SFC



の寛康明准教授とエプソンによるプロジェクションマッピングを行った。また、カタリストBAというスペースが2011年4月25日に8階に設けられた。カタリストBAは、「人と情報のコネクションポイント、新しい価値を生み出すナレッジスタジオ、価値を具現化していくインキュベーターとしての役割を担う」というものである。また、渋谷、二子玉川自由が丘はプラチナトライアングルと呼ばれ、このエリアおよび周辺は収入や職種、教育レベルなど、頭ひとつ上に出ているエリアである。具体的にこのエリアでの動きは渋谷のヒカリエ、東横線と副都心線の直通に伴う再開発、二子玉川ライズなどであり、自由が丘のエリアは長く再開発が出来ていない。クリエイティブシティコンソーシアムはこれらのエリアをベースに、今までに無いワークスタイルやビジネスを生み出すことを目指している。

クリエイティブシティ内には、自然環境、都市基盤、空間、テクノロジー、サービス、コミュニティ、クリエイティブクラスや近隣住民といった階層が存在する。その中で、NFCを使った新しいタッチコミュニティをはじめとして、様々な取り組みが行われていたり、才能発掘、集まった才能の融合、ビジネスへの活用といった取り組みも行なわれている。メンバーには設計の日建設計、内装のコクヨなどが参加している。しかし、音楽系、芸術系をビジネスにするメンバーがまだ少なく、今回のMusic in Community コンソーシアムの活躍できる機会があるだろうと考えている。

総務省ICTスマートタウン事業についても関係が深いので触れておきたい。現在、国の機関、三菱総研・三井不動産・住友商事などの民間企業が集まり事業を検討している。検討項目は、センサーネットワーク（街中のカメラなどのセンサーを張り巡らす）、ビッグデータ（膨大な情報の分析）、ID（マイナンバー制度）、ワイヤレスネットワーク、ブロードバンド、クラウドの合計6つのICTキーワードで、行政、防災、観光、教育、農林水産業、環境、エネルギー、医療福祉介護、育児などの応用領域で実証実験を行っている。我が国の課題解決として、災害に強い町づくり、国際競争力の強化、地域が抱える諸課題の解決、ビジネス作って雇用の創出を目指すが掲げられている。

平成24年度1次の採択5例を挙げる。一つ目は千葉県柏市にある東京大学柏キャンパスを中心に三井不動産主導で、イーソリューションズ（株）、日本ヒュー

レット・パッカード（株）、（株）メディシンクニーソリューションズなどのコンソーシアムが立ち上げた、ICTを活用して日常の健康状態を“見える化”するサービスの実証事業「柏の葉スマートヘルス」プロジェクトである。2つめは愛知県豊田市にある名古屋大学、岐阜大学、豊田市、（株）メイテツコムが立ち上げた「医療分野」と「交通分野」の先進技術の融合による、超高齢社会と減災に十分対応できる「ICTスマートタウン」の開発<sup>1</sup>、3つめは東京都三鷹市で行われている、株式会社まちづくり三鷹、三鷹市が立ち上げた「三鷹市コミュニティ創生プロジェクト」NTTと共に行っているプロジェクト。4つめは長野県塩尻市において日本ソフトウェアエンジニアリング（株）、信州大学、塩尻市のプロジェクト。「センサーネットワークによる減災情報提供事業」5つめは静岡県袋井市において（株）大和コンピューター、袋井市、慶應義塾大学、神奈川工科大学のプロジェクト。「災害時支援物資供給機能を兼ね備えた6次産業化コマース基盤構築事業」である。

現在行われているICTスマートタウン事業には行政と観光・交通・教育・医療はあるが、教育のプロジェクトがない。平成25年度予算で35億円が予定されている事業である。全国で50箇所の採択検討がある。『音楽コミュニティコンソーシアム』が、東京都世田谷区、目黒区において東京急行電鉄及び音楽コミュニティコンソーシアムの会社で提案も可能だと考えられる。

公募前、想定サンプルとして、健康支援、生活支援、観光支援、単身生活者の見守りや交通などが挙げられる。世代間交流など、『音楽コミュニティコンソーシアム』に共通することがある。下の段には独自産業化、農産物を含めて合格案件。デジタルアーカイブは金沢にデジタル美術館を建設。地域の風土芸術コンテンツをデジタル化して、アーカイブしていく取組。また、医療介護、交通、情報共有による環境改善、一番右端が災害となっている。様々な提案はあるが、採択されているところは実証実験によらず、その後事業主体で続けていけそうかどうかという評価要素が強く効いている。

ICTスマートタウンに提案する音楽の街とは、ハコと人と町とツールで構成される事を検討する。学校の音楽室やポケットパーク、ライブハウス、カフェ、教

---

<sup>1</sup><http://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/tool/kohosiryo/hodo/24/11/1127.htm#besshi1>

会、スタジオなどの活動の拠点空間＝ハコ。何処をターゲットにするか整理する必要あり。音楽家、生徒、聴衆、マネジャー、プロシューマー（単なる消費者ではなく、お金を使って発表会をする人）が活動をする想定。また、上記の人、その他の人が音楽の町で活動するプレーヤーになってもらうことの整理。フィールドは、町、駅、住宅街、世田谷区もしくは目黒区、両方である。ツールは楽器、AVシステム、ネットワークはイッツコム。上のハコを結ぶという役回りとしてのネットワークはケーブルテレビ。アプリケーションとユーザーインタフェースは、スマートフォンの端末もしくはデジタルサイネージ。「音楽を聴く」「体験する」「持ち歩く」をツールとして設置する。「アクティビティの連携」「シナリオ」「人々の行動」という3つくらいの視点でネタを作り、花を咲かせる。組み合わせで、ICT街づくりを構築する。演奏を聴く」「習う」「音楽のある魅力的な環境で飲食をする」「町の魅力アップに協賛する・広告を出すコミュニティ（ファンクラブのような組織）」で活動することで資金を動かす。また、「音楽の街の運営が持続的になる」「さらに新しい演奏家の排出に繋がる」ことを考える。構成要素と連携する具体的な話だと思います一連のアクティビティの具体的なシナリオを何本も想定して上のハコとかお金の動きとをチェックしながら考えていく必要がある。ショッピングモールなどのフェアの活動連鎖の考察についても行う。趣味的コミュニティ、ファンクラブ会員、楽器も含めてツールにお金を使う価値観、これらをソーシャルネットワークと連携し情報発信していく部分を特に調査する。今はまとまりのない話をアクティビティの連鎖としてディスカッションし、整理していく。

## 5.7. 道玄坂まちづくり研究会の成果

株式会社シブヤテレビジョンは、平成18年度から街づくり勉強会を行っている。街づくり研究会では音楽の街づくりが出来ないかと模索しており、ミュージックインコミュニティと何か絡められるのではないかという事でコンソーシアムミーティングの議題にあがった。渋谷、日吉、代々木、自由が丘のどこであっても、街には柵が存在する。その中で地域の展開をしていく事が重要である。渋谷駅周辺に土地をもつ地権者はシンボルとなる様な建物を建てたいと思っている。しかし

地権者側の同意構成ができていないが、既に渋谷区、町会、商店街の確約はとれている。現在は滞っているがシブヤテレビジョンとしては2年後にはまちづくり協議会として区の認定を受け、特区申請を行いたいと考えている。ただし、道路が非常にせまいため、商業地域なので容積率は600%までいけるのにも関わらず、道路が狭くてきっちりとした容積率がとれていない。経済的な事情もあって滞っている。土地は持っているが住んでいるのは銀座という人も多く、実際に住んでいる人は少ないのにも関わらず、空いたハコの中に何を入れるかが決まっていないのである。

## 第6章

# 2013年度の活動

3章、4章、5章ではコミュニティの開けた音楽教育と音楽演奏に代表されるパフォーマンスを集合的に感じ取ることが出来る都市デザインをすることによって、音楽家という資産をコミュニティに戻し、新たな音楽産業の基盤を作る為に調査を行った。3章では2013年3月16日に東京メトロ副都心線が東横線と相互直通運転する事により音楽を専門とする人たちの居住パターンが変化すると考えられた為、音楽を専門とする人材の居住パターンに関する調査について。4章ではライブハウス、コンサートホールなどの需要と供給の新たな可能性を研究する為に、代々木、渋谷から横浜までの東横線沿線の音楽施設を調査について。5章では新たに提供できる演奏（ライブ、コンサート、レッスンなど）の検討する為に東横線沿線に音楽の能力がある人材の移動についての調査についてまとめて来た。調査の結果を踏まえて、ミュージックインコミュニティにおいての都市基本構想案を作成した。具体的には以下の7つである。

1. 教師の質が高い音楽教育ビジネスをこの地域に導入する可能性の検討である。音楽を専門とする人たちの活動が東横線沿線でいままでより容易に行うことが出来るとすれば、どのような音楽教育ビジネスが可能になるかを検討する。

2. 既存のライブハウスやコンサートホールをデジタルネットワーク化して演奏家と聴衆の出会いを活発化する方法の検討である。代々木、渋谷から横浜までの東横線沿線にはライブハウス、コンサートホールなどの多くの音楽施設がある。そこがネットワーク化された状況を想定して音楽パフォーマンスの需要と供給の可能性を検討する。

3. 駅前でのパフォーマンスを組織化して場所の音楽性を住人が感じる事が出来るようにする仕組みを検討する。駅前演奏を行う為の運営は仲介業者が入って

いる事が調査の結果わかったので、そこへ本プロジェクトが参入する事などが考えられる。

4. 音楽家が生活しやすい住環境（練習が出来る住まい）を整備して多様な音楽家を東横線沿線地域に呼び込む可能性を検討する。音楽家や音楽愛好家のなかで練習が出来る住まいへの需要は高い。また音楽家が多く住む地域ではライブ、コンサート、駅でのライブ、レッスンなどを企画することが容易になる。

5. 高度なデジタル技術を駆使して現状のカラオケボックスを質の高い音楽教室へと変換する。あるいはあらたな教室を作る方法を検討する。

6. 高性能のデジタル技術を活用して、レストランやバーやショッピングモールの一角でのパフォーマンスを行いやすくするシステムを検討する。

7. 高性能のデジタル録音再生技術をネットワークを使って提供して、この地域で行われている音楽パフォーマンスを時空間を超えて鑑賞することを可能にするサービスを検討する。

以上の都市基本構想の検討項目として2013年度のミュージックインコンソーシアムは活動を行っている。参加企業6社とKMDミュージックプロジェクトが毎月一度のペースでミーティングを行いながら新事業を検討しており、既に幾つかの事業が発足された。6章では検討項目2・6・7に当たる活動であり、自身が現在取り組んでいるプロジェクト、自宅で演奏会のある場を提供する「formes sound」について詳しく説明していきたい。また、検討項目3・7にあたる「Prelude sound」、検討項目1・2・5にあたる「コロンビア音楽事務所」についても説明していきたい。

## 6.1. forme sounds

### 背景

演奏家と聴衆の関係はコンサートホールが開発されて以来、音響の良い場所で大勢が集まって静かに聴く事が、特にクラシックにおいて一般的になっている。閉じた空間の中で、こうあるべきだという聴き方が提示されてしまう以上、音楽そのものの楽しさは縮小してしまう。更に今回の調査によってもコンサートホールやライブハウスではクラシックに限らず、ビジネスモデルとして成り立たせる事

も難しくなっていることがわかった。現在、コンサートを行う時には、出演者がチケットを知り合いなどに販売していくケースが多く、ノルマを達成するのが難しい。ライブハウスではそれが特に顕著に現れており、バンドメンバーが知り合いにチケットを捌き、演奏を行っているので観客と演奏者は関係者で固められ、音楽聴こうと思った人がそれを楽しむ場としての機能はしていない。しかし一方で多くの聴衆を呼び、イベントを行う演奏者もいる。しかし彼らはスター演奏家と呼ばれるごく一部の演奏家である。イベントを行う時に、このような二極化が進み、良い音楽を聴きたい純粋に聴きたい、出会いたいと思う聴衆と、演奏家が出会える場が現在少ない。

しかし、近年youtubeなどのメディアの発達などの影響もあり、スター演奏家以外の日本の演奏者の質も全体的に上がって来ている。独自にチャンネルを持ち、発信しているアーティストがいたり、路上ライブでの演奏を聴いても演奏のレベルが高いアーティストが多い。海外から反応が寄せられる人さえ存在する。クラシックに関しても同様で、日本の演奏者の技術は高い。しかし彼らの音楽を実際に聴衆が楽しめる場所が日本にはまだ少ない。場所というのは、チケットを身内で販売してつくるステージではなく、良い音楽を求めている聴衆が、実際に生演奏を聴いてファンになる可能性の高い出会い場の事である。

そこで近年様々な所で行われ、盛り上がりを近年見せているフェスを参考にしてみる。フェスとは様々なアーティストが組まれたタイムテーブルの元演奏を行い、1日から数日間行われる大規模で長時間行われるライブイベントである。(報告書5章参照) 様々な種類のフェスが現在行われているが、通常のライブイベントとは違うところは、フェスに行くという体験がマガジン化しているという点である。それはつまり、来場者は音楽をただ単に聴きに行くのではなく、美味しい食事、お酒、気持ちのいいロケーション、現場にいる人達がつくる空気感など、すべての要素を楽しみに来ているのである。大事な事は誰が演奏するかという事よりも、あのフェスなら行きたいと、フェスでの体験を求めている。コンサートホールやライブハウスでの体験をこのフェスの様に、食事やドリンクなど、場の雰囲気をしっかり作り、音楽がある事でより豊かな体験へとなるようにデザインする事で、聴衆と演奏家の良い出会いを作る事が出来るのではないだろうか。

また今回コンソーシアムでの調査によって、松濤に建つ住宅の多くは大きく、立派なリビングを持っている事がわかった。また、そのような住宅の主人の方は自宅で人を招いて演奏家を呼び演奏会を行う事を想定し、家を建ている事が多いのだが、実際にパーティーを行う事は少ない。なぜならまず、演奏家を手配する手立てがない事が理由として挙げられる。自宅でパーティーを開くにしても適当な演奏者ではなく、一定のレベルを超えていなければ来場者に大して面子が立たない。この演奏者の選定の難しさが演奏家を求めているのにも関わらず、自宅で演奏会を開く事のハードルを挙げている一番の要因である。

## 活動方針

現在ミュージックプロジェクトはフィロソフィーを「音楽を道具とし人々が幸せになるコミュニティをデザインする」として活動が続けている。このフィロソフィーのと、現在の演奏家と聴衆の背景の元、ミュージックインコミュニティでは forme sounds というプロジェクトを行っている。forme sounds とは、音楽を生演奏で楽しみたいオーナーと仲間が、おいしい食事やワインとともに、いい演奏家を選択でき、ジャンルを問わずライブを楽しめるパーティーである。このようなパーティーを行う事によって結果、優秀な演奏者と、それを求める音楽家が出会う場を作る事が出来ると考えている。forme を作る為に我々は、場所（自宅リビング・会社ロビー・レストラン）を持っているオーナーとオーナーの友人、食事提供者（料理人）、演奏家（クラシック・ジャズ・ポップスなどジャンルを問わず）をマネジメントし、それによって音楽を道具とし人々が集うコミュニティを作る事を目的としている。直近の目標は、25人のオーナーを断定する事である。オーナー候補として邸宅、オフィス、アトリエ、レストランなどを持っており、コンサートホールなどではなく、音楽を演奏する事が可能な場所を持っている人とする。最パーティーの在り方のデザインと、次に向けたオーナー探しを意識しながら始めは知り合いを元に活動を行う。また、事業化にあたって、forme を録画し、コンテンツとして web にて配信した際に得る広告料を一つの収入源としているのだが、そこに関しても研究を行っている。現在、音楽家は演奏に大して正当な配分を得ていないと私たちは考えており、演奏者のパフォーマンスライセンスについて



も見直した配分を考えている。具体的には得られる収入を100とした時に、forme運営に60、オーナーに10、音楽家に30という配分で検討しているが、今後更に検討を行い実施していきたい。

## 活動結果

forme soundsを画家平野傑氏のアトリエにて開催をした。また、2014年1月には研究協力先である株式会社白寿生科学研究所 代表取締役社長宅にて、2月中旬にはジーコール運営会社会長社長である秋山氏のご自宅にて、2月末には平野氏の友人である新宿花園町在住の山井氏のご自宅にて、3月には華道の講師をされている山根氏のご自宅にて、3月中旬には慈恵医大医師である川村氏のご自宅にて、既に幾つかオーナーが見つかり、開催を予定している。

## 考察

formeを行うまでの準備の段階で、名刺の整理やインビテーションの送付などの作業を重ねることで各人々に対するもてなしの気持ちが大切であり、そのもてなしの気持ちをオーナーとともに持つことによりよりよいコミュニティを構築できると考察できた。実際に20人以上のイベントを行うとなると、誰を呼ぶかという選定が難しく、当初予定していたよりもformeスタッフは平野氏と共に時間をかけて選定した。その中で平野氏は普段行う食事会などのパーティーでは呼べない様な人にformeでは声をかける事が出来ると話しており、オーナー自身のコミュニティを豊かにする物になり得る事がわかった。

また、formeはコンサートではなくパーティとして行うため、ステージをきちっと作りすぎない事を念頭に設営を行ったが、実際に行ってみると、空間と来場者の雰囲気から、演奏者を照らすスポットは最低限必要であることがわかった。

11/23に行った平野氏のアトリエでのformeを通して、参加者の方から楽しい会として終わるだけでなく、自分の家でも行いたいと申し出てくれる人がおり、更に平野氏自身も、次回はアトリエではなく自宅で開催したいと申し出てくれた。

forme は単発のイベントでは無く、コミュニティをつくる活動として行っており、その中で新しいオーナーを見つけるという事は大きな目標であった。

## 6.2. Prelude sounds

### 概要

Prelude sounds は、ミュージシャンの為のコミュニティをつくる活動の一環として、ミュージシャンの魅力を伝えるためのコンテンツ制作 youtube などの動画配信サイトを使ったプロモーション ミュージシャンの権利を守る音楽著作権ビジネスの在り方を研究している。

### 背景

若い世代の実情として、Youtube やニコニコ動画などの動画配信サービスが新しい音楽と出会う手段になっている。米国で大人気のパフォーマー Justin Bieber や Internet Idol と呼ばれるようになった Sam Tsui、邦楽カバーで人気を高めた Goose House などをはじめとした、多くのミュージシャンたちが着目される機会が増えているのが現状である。沢山の人がチャンスが与えられている中、高い品質の動画を届けるために必要な高価な撮影機材の購入ができ、映像を専門としたスタッフへのアクセスがある人はなかなかいない。特に、ミュージシャンは音楽を制作する楽器や録音機材を持っていても、撮影機材を揃えられる方は多くはないのである。そこで、KMD Recording Project では、そういったミュージシャンにより多くの高品質な映像を発信・露出する機会を提供したいと思い発足した。

### 活動について

これまで、複数のミュージシャンの方に無料のビデオ撮影・制作を行ってきており、2012年に2回、2013年4月から12月までに12回、計14回の撮影、16組以上のアーティストの撮影を行ってきた。2014年03月初旬にプロジェクトホー

ムページ、youtube チャンネルを公開し、月24回のコンテンツを定期的にリリースする予定である。今後、Youtube チャンネル広告収入を得られた場合、制作費などの経費を差し引いた一定割合を演奏者に支払う事を予定している。

## Youtube チャンネルの趣旨

「作品ではなく演奏を届ける」ことを心がけて活動している。一般的に流通しているミュージックビデオは映像作家とプロデューサーの意図や解釈が介入している。そのため、音楽作品の世界観を映像を通じて表現するものになっており、必ずしもアーティストの演奏にフォーカスしたものになってはいないのではないかと考えている。曲の為に作られた映像であるはずなのに、いつの間にか映像の為に曲になっているのではないかと考えている。それらの作品を否定している訳ではないが、演奏を全面に出したミュージックビデオがあった方が、アーティストから曲という「物語」を直接語る事が出来るのではないかと考えている。「ミュージシャンの真の魅力を発信したい」という想いで Prelude sounds はミュージックビデオを創出する。

音楽の原点は「生演奏」にあり、生演奏が出来るミュージシャンこそがいつの時代でも求められる真のミュージシャンであると私たちは信じている。プロジェクトメンバーは全員、無類の音楽好きであり、それぞれのこだわりがある。メンバーの独断と偏見で、あらゆるジャンルの、こだわりと実力を兼ね揃えたアーティストに参加してもらえるような活動を行っていきたいと考えている。編集されていない「ライブ」こそがミュージシャンの魅力を一番伝えられると考えているため、音と映像の「ほぼ一発撮り」の生演奏によるミュージックビデオ作成にこだわっている。

ミニマルなセッティングで、野外・室内問わず、日本のあらゆる特徴のある撮影場所で撮影し、配信していきたいと考えている。(ビーチ、プール、温泉、屋上、螺旋階段、公園、観光地、古民家、教会、文化遺産、廃墟、等) これは、あらゆる場所で音楽が奏でられるという面白さを表現したいと同時に、日本にある様々な風景の美しさを伝える意味も込められている。また、DVカメラではなく、一眼レフカメラやシネマ一眼を駆使した「映画のような映像」を通して、リスナー

を魅了していくものを制作している。

これらの動画を発信していくべく、Youtubeにて動画チャンネルを設立した。名前はPRELUDE SESSIONSである。「PRELUDE」には日本に新たな音楽シーンをもたらす「前兆」、ミュージシャンの自由な「序曲」、リスナーの新たな音楽ライフの「序章」になるという意味が込められている。より多くの曲を、産地直送の野菜のように新鮮な音楽を、世界中の音楽好きに届けたいと考えている。そして、当チャンネルに出演することが、アーティストのブランド力を高めるきっかけになり、結果として、アーティストが沢山のリスナーの支持を集められるようにしていきたい。

## 撮影条件

撮影するにあたって条件を儲けている。まず2曲分の演奏を撮影すること。これは月に2-4本を公開していくにあたって、スタッフの労力を考えると一度に1曲では厳しいため設定した。また、youtubeで公開したときに視聴者が見る事を考えて一曲あたり35分程度とする。撮影のスタイルは、コンセプトを表現するため生演奏の撮影とする。その際には原則、音と映像ともに「一発撮り」で行う。これまで撮影したアーティストは、シンガーソングライターのUKOさん、慶應ワグネルソサエティ、シンガーソングライターの高田良和さん、慶應SFC DOLCE ウィンドアンサンブル、シンガーソングライターのDaniel Steinbockさん、早稲田MSE所属ロックバンドDIGNOSなどである。

## 6.3. コロンビア音楽教室

### 概要

研究の成果として研究協力先の株式会社白寿生科学研究所の施設にて、日本コロムビア株式会社とともにレコード会社としては初めてのクラシック音楽教室である、「コロムビア音楽教室 Hakuju 校」を開校した。コロムビア音楽教室は初

心者から音大受験生までニーズにあったオーダーメイドのレッスンを、一流講師陣によって実現するクラシック音楽教室である。

## 背景

現在、街のピアノ教室などでは「一流の演奏家」が音楽愛好家のレッスンを行っている教室は少なく、実力のある「一流の演奏家」と音楽愛好家が出会いレッスンを通してコミュニティを形成していく機会はあまり存在しなかった。そこで、KMD ミュージック プロジェクトの研究として、クラシックの音楽教室、場所、規模、誰が通うのかを検討し、ビジネスモデルを構築することを目指してきた。音楽家と音楽愛好家が産み出すコミュニティの基板となる音楽教室を開校し、実際の音楽教室の運営をすることは重要であるという事から発足した。

## 活動について

第1校となる「Hakuju 校」は、音響の良いクラシックホールとして定評のある Hakuju ホールの協力を得て、現在同ホールのある白寿生科学研究所本社ビルの2階に開設されている。本教室の最大の特徴は、演奏家としても活躍する一流の講師陣が、マン・ツー・マンで、しかもリーズナブルな料金でレッスンを行う点だろう。楽器に初めて触れるお子さまから、好きな音楽をご自身でも演奏してみたい大人の音楽愛好家、そして音楽大学の受験生までを対象とし、あらゆるお客さまのニーズに対応できるようになっている。さらに音楽教室を開講することで、オーダーメイドで最適のレッスンをご提供する一方、音楽家に対しては、講師として演奏とは違った形で一般のお客さまと関わる場を作ることにより、音楽を様々な形で伝える機会を提供している。また、コロムビア音楽教室は、音楽教室としての活動を軸に音楽による地域活性化に貢献することを目指し、レッスンのご提供に留まらず、独自のイベントやワークショップなどの開催を通じて、講師、レッスン生、地域との音楽による関わりを作り出してゆくことを行っていく。

## 6.4. 展望

本論文では、音楽活動を恒常的に維持できるコミュニティ活動とそれを支える新しい音楽産業（教育）を基盤とする都市計画基本構想案をデザインすることを目的としたミュージックインコミュニティコンソーシアムにて、音楽が中心のコミュニティとはどのような物かというテーマについて1月24日から3月8日までの計5回行われたミーティングで議論にあがった事を選択し、それぞれについて調査し、まとめた報告書について述べた。この報告書は受理され、ミュージックインコミュニティコンソーシアムは今年度も継続して活動を続けており、「formesounds」、「preludesounds」、「コロムビア音楽教室」がプロジェクトとして現在行われている。

現在、OIKOS ミュージックプロジェクトで行われている活動をまとめたwebサイトを構築中であり、メンバーとミーティングを重ねている。単に名刺代となる様なwebサイトではなく、音楽のある場所、コミュニティをwebにあつめ、つなげる事でネット上に様々なコミュニティが活発に起こっている都市の様なサイトを作成したいと考えている。このwebサイトのプロトタイプを今年度のコンソーシアムでの成果物としたい。

# 謝 辞

本研究の指導教員であり、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科の奥出直人教授に心から感謝を申し上げます。毎回ミーティングの文字起こしをしながら反省する日々でした。奥出教授の指導は大変厳しいものでありましたが、その一つ一つにある教授の考えに触れられた事は、とても楽しく充実した日々でした。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科の加藤朗教授に感謝申し上げます。論文では副査をお願いし、少ない回数でしたがご指導頂いた事で自分のプロジェクトを一步引いた目で見える機会を得る事が出来ました。MUSIC PROJECTのメンバーである、水上寿美江さん、古川精一さん、伊東広太郎君、尾崎裕哉君、山中学君、Yolanda Caoさん、Luyuan Yangさんに感謝申し上げます。プロジェクトルームにどのプロジェクトよりも長く滞在し、多くの議論を交わした日々は多くの気付きを与えてくれました。特に2月からプロジェクトに誘って頂き、4月まで2人でプロジェクトを進めてきた水上寿美江氏に深く感謝致します。到らぬ事が多い自分でしたが、常に気遣って頂きなんとかプロジェクトの研究を行う事ができました。ディレクターとしての水上氏から学ぶ事が沢山ありました。最後に、大学、大学院と自由に活動していても何も言わず、黙って見守ってくれた両親、妹に感謝致します。有り難うございました。

## 参 考 文 献

Goodman, Percival and Paul Goodman (1990) *Communitas: Means of Livelihood and Ways of Life*: Columbia Univ Pr, reprint edition.

Lynch, Kevin (1960) *The Image of the City (Harvard-MIT Joint Center for Urban Studies Series)*: The MIT Press.



付録 A

報 告 書

" 都市計画基本構想案 "



01 | コンサートホール

Musicasa

基本情報:

オーナー: 黒田 隆博  
竣工: 1995年 秋  
設計: 黒木ニリコ  
音響設計: 永田音響設計  
目的: 音楽専用の小ホール(最大120名)  
休館日: 月曜日

ピアニストのオーナーの夢である「一生、好きな音楽に囲まれていたい」「若年音楽家に練習と演奏の機会を提供したい」という思いから建てられた。

休館日以外の稼働率が90%を超えており、個人運営の音楽ホールでは日本で一番成功していると言われるほど。

人気の理由は立地、オーナーの人格に加えて、音響設計が優れているためである。

名前の由来は、イタリアの音楽(music)と家(casa)から、音楽の家を意味している。

設備:

客席数: 最大120席  
(可変式) / (1階94席、中2階18席、2階16席)  
ピアノ: スタインウェイB211  
(1999年・アップルミュージック・ルーム・グランド #550286)  
ペーゼンドルファー Model 200  
(1962年製 88鍵型 Salon Grand #35691414)  
録音: 定常録音 / 1.2秒、高周波 / 1.0秒  
スタジオ: 27m  
その他: 録音・録音用機材、照明用機材 有り



**場所:**  
151-0066  
東京都中央区西區3-33-1  
小田急小田原線 代々木上原駅から徒歩5分、高級住宅街にあり  
ある西側に位置する。地形は起伏に富んでおり、建物が少ない。  
代々木上原駅は一日平均乗降者数が22万人を超える。  
駅周辺にはレストランやカフェが充実している。



コンサートの様子



Concert:

会員制ムジカザコンサートを主催(年6回)  
次回で第104回目を数える。  
第103回ムジカザコンサート「兵士の物語」  
演出: 黒木隆博  
<原案: テアトロマン>

高井英治(Vn)  
黒木隆博(Cd)  
生立正広(Cb)  
吉野善行(F)  
長谷川智之(Tp)  
倉田 真(Tb)  
久保真一(Perc)

	1		2		総計	
	午前	午後	午前・午後	午後・総計		
9:00~12:00	13:00~16:30	17:30~21:00	9:00~16:30	13:00~21:00	9:00~21:00	
平日	15,000	20,000	24,000	30,000	18,000	52,000
土曜日	18,000	23,000	28,000	37,000	46,000	60,000
日曜・休日	22,000	28,000	20,000	45,000	41,000	63,000

**Price:**  
基本使用料: 60,000円  
+  
曜日と時間帯に合わせて: 15,000~63,000円

MUSIC IN COMMUNITY PROJECT

01 | コンサートホール

エッセン歌劇場 (ドイツ)

エッセンの基本情報:

人口: 約58万人  
場所: ドイツ、ノルトライン・ヴェストファーレン州  
面積: 210.32 km<sup>2</sup>  
2010年の国勢調査によると  
人口構成: 0-18歳 16.8%  
18-65歳 62.5%  
65歳以上 20.7%

歴史:

850年: エッセン成立  
1811年: フリードリッヒ・シュレギエルが劇場工場を建設し、建築家として有名になる。  
1958年: シュテフィット教会の再建が完了。カトリックの敷地が解放される(建設は1952年から始まる大規模の再建とカトリックの再建をドイツ初の歩行者空間に)

\*エッセンは工業化によって栄え、コール工業地帯の主要都市として栄える。しかし、その後の産業転換で人口は減少傾向に。

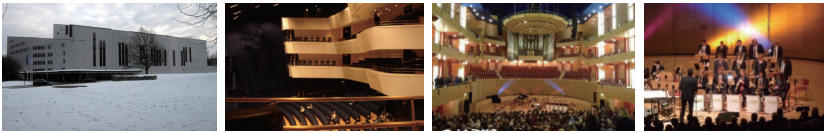
観光:

フォルムエアイン鉄鉱業遺産群 (2001年UNESCO世界遺産に登録)  
「世界で最も美しい街」と評される

フォルムクワング美術館  
1922年に設立  
19世紀のドイツ・フランスの絵画、1945年以降のクラシックセダンとアートを展示

レッド・ドット博物館  
国際的に認められたレッド・ドット賞受賞作品を展示

ケットウィー通り  
ドイツの歩行者天国となり、人気のショッピング通りとなっている。



日本でもエッセン・パレスに行く人あり、自費などの費用を行う。



ドイツの歌劇場に関して:

種類: 州立 (Staat) と市立 (Städtisch) の種類あり  
州立: 前身は宮中の劇場  
市立: 市民団体の依頼と共に設立された劇場  
ドイツには、小さな市にも、歌劇場がある。

双方ともオーケストラがあり、別個化が進んでいるものの、公演として認定されている。現在は定年が廃止されており、65歳が定年。

テアターには、合唱とバレエ、そして劇団もつきます。  
小規模 (客席700-1000席) の歌劇場でも、およそ客席20人、合唱団員、オーケストラ30人、バレエ20人、演劇10人ほどのメンバーを有する。

ドイツでは「専属幹部制度」の形を採っており、オーディションが行われ、そのメンバーが決定されている。  
(オーケストラ、歌手、合唱団、バレエ団、演劇団)  
日本では、同じ歌劇場を築き上げるに似ている。

バイエルン国立歌劇場 (州立歌劇場):

ドイツを代表する歌劇場の1つ。現在はアントナガ(アメリカ)が音楽監督を務める(演出は現在はBar Marthasに任されている)

フランクフルト歌劇場 (市立歌劇場):

1955年、1994年、2003年に年間最優秀オペラ館に選ばれる (OpenStage)

MUSIC IN COMMUNITY PROJECT



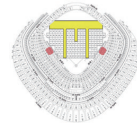


### 東京ドーム

Place:

東京都文京区後楽1丁目3-6-1  
後楽駅・水通駅前  
Tokyo Dome City内にあり、近隣地区が併設  
された住宅街にあるため音を出せる時間に  
制限がある。

株式会社 東京ドーム



ファン:  
会場から5万人のファンが集まり歌う、オー  
ルジャンル

座席:

Audio:  
大規模な会場のため、チケット代金は割高。  
X JAPAN : 12800円  
LUNA SEA : 9000円  
水曜夜会 : 8000円  
Perfume : 6500円  
Aerosmith : 9000円  
The Rolling Stones : 13200円

Capacity:

5万人を動員可能。  
日本でも最大規模のコンサートを行う事が出  
来る。ステージセットに該当する仕掛けがある  
ことも。



ステージ:  
広い東京ドームの中でもどこからでも見られるよう大きなディス  
レイが設置される事が多い。

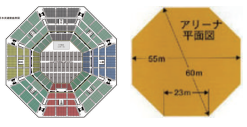


歴代出演アーティスト:  
アーティスト、ファン達にとって東京ドームは  
聖地の様な場所。ここを目指すアーティスト  
は多い。そしてこの場で解散コンサートを行っ  
たアーティストも多い。

### 武道館

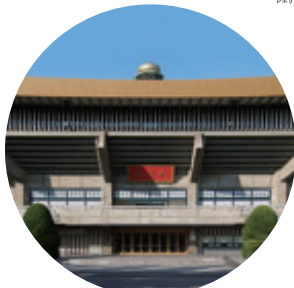
基本情報:

東京都千代田区北の丸公園2-3 地下鉄丸の内線  
丸の内線 丸の内駅より徒歩5分  
収容人員 14,471人  
建築費  
- 固定費(1階): 3,199 萬円  
- 固定費(2-3階): 7,846 萬円  
- 固定費(4階): 480 萬円  
- 仮設費: アリーナ(最大 2,946 萬円)  
コンサートホール使用時  
- 8,000 ~ 10,000 席  
- 舞台設備: 観覧などの都合から  
延長面積 21,133.3m<sup>2</sup>  
運営 財団法人日本武道館



2013年3月スケジュール:  
3/27 Sat.  
May'n  
Special Concert 2013! MIC-A-MANIA!  
指定席 6500 円  
ホットスタンプ・プロモーション  
03-5720-9999  
11/Tue.  
ジャーニー  
-  
S席 9000 円  
A席 8000 円  
U席 音楽事務所  
03-3402-5999

1964年開催の東京オリンピックでの柔道競技  
化にあわせ、会場のひとつとして建設された。法  
政大学をモデルにした八角形の意匠である。  
法政大学の入学式、卒業式などは武道館で開催  
される。



コンサートでの最高キャパシティは2011年10月  
「FUNKY WAKKUS」公演  
レジェーション・ワンランド 2012 in 千代田武道館



3/12 Fri.  
ザンタナ  
-  
S席 12100 円  
A席 11100 円  
U席 音楽事務所  
03-3402-5999

元来は音楽を主目的に建設した施設ではない。  
コンサートホールとしての音響効果では、音楽  
演奏を主用途に設計されている。専門のコンサ  
ートホールに遠く及ばない。良好な音響で観客に  
届かせるのは困難を伴う必要がある。観客音  
響設備を持ち込むなど別途対応する必要がある。  
ザビエル大の毎日公演では、ステージ上  
のモニターからの音響設備からのPA設置  
を通したボーカルだけで行われ、結果として  
演奏が全く聞こえない座が存在した。その座  
間隔の改善のため、音響に響くまで様々なク  
ラウドが開発されてきた。この武道館で増えた  
ノウハウは、以降に音楽面で響を伝える会場を  
他の多目的ホールや体育館などでのコンサ  
ートにも応用されている(wikipediaより抜粋)。



3/19/20 Tue, Wed, 第35回  
全国高等学校音楽連合大会(会期)  
全国高等学校体育連合連盟  
-  
3/29 Sat.  
miwa  
全席指定 5800 円  
キヨードー東京  
0570-550-799



3/30/31 Sat, Sun.  
D-LITE  
SOLO CONCERT in JAPAN  
指定 7800 円  
ホットスタンプ・プロモーション  
03-5720-9999



## O-Group

**ナックルボート株式会社:**  
関西と関東にあるホールの運営管理している会社。関東ではShibuya O-EAST、O-Crest、O-WESTの運営もしている。

**Shibuya O-Group歴史:**  
1991年2月「ON AIR」(収容人数1000人)としてオープン  
→東京で初めての1000人規模のキャパシティを誇る大型ライブハウスとしてオープン  
1993年12月: ON AIRの向かいにON AIR WEST(現在のO-WEST)を建設  
1994年7月: ON AIRをリニューアルし、「ON AIR EAST」に変更  
2002年7月: 建て替えのためON AIR EASTをクローズ  
2003年12月21日: 5階建てのShibuya O-EASTビル完成、1300人規模のO-EAST。

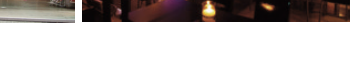
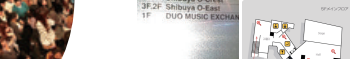
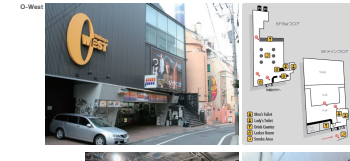
**ホールリスト (収容人数):**  
①O-EAST(1300人)  
→一番客が詰め込める有名人や海外アーティストの公演会場  
②O-WEST(600人)  
→ある程度の集客力があるアーティスト、③O-Crest(250人)  
→若手アーティストのライブがメイン  
④O-Nest(250人)  
→若手バンドなど  
⑤DUO MUSIC EXCHANGE(300)  
→O-EASTビル内にあるが、管理運営は別の会社

**O-East:**  
キャパシティ:  
1300人規模(イースの場合569席)  
ステージサイズ:  
開口12.0m 奥行8.4m 高さ1.18m  
立席条件:  
混雑後徒歩7分

**使用履歴(2013.4.15現在):**  
2013年4月は30日期中23日の使用(予定)  
2013年2月は31日期中28日の使用  
2012年2月は28日期中24日の使用  
2013年1月は31日期中22日の使用  
2012年12月は31日期中29日の使用  
平均使用履歴: 月25日(1ヶ月~30日)

**ライブチケット料金:**  
ライブによって異なるが、前売り3000~4500円、当日券4300~5300円が相場、ドリンク代は別。

**使用費の傾向:**  
アイドル系のイベント、ダンスイベント、ロックバンドのコンサートなど、コンサートのみならずイベントでも使用されている。コンサートは主にロック系。



**O-Nest:**  
250人規模  
O-WESTビル 5.6F  
am/pmの隣にある階段から入場

**O-Crest:**  
230人規模  
O-EASTビル 5F

### DUO MUSIC EXCHANGE:

キャパシティ:  
300席(高なしても可)  
場所:  
O-EASTビル1F  
管理会社:  
(株)デュオミュージックエクスチェンジが運営している。  
(O-EAST、O-WESTとは別の会社)

営業時間:  
12:00~19:00(月~日)  
会費使用料:  
基本会費使用料(11:00~23:00)  
¥700,000(税別)  
練習料金(1H)  
必須

稼働状況:  
2013年4月は30日期中22日の使用73.3  
2013年3月は31日期中28日の使用83.9  
2013年2月は28日期中26日の使用92.9  
2013年1月は31日期中23日の使用74.2  
2012年12月は31日期中28日の使用90.3  
平均使用履歴: 月25日(1ヶ月~30日)

大所帯のアーティストのコンサート、若手・新人アーティストのコンサート、楽器のワークショップなどで使用。  
過去の利用有: GAKU-MC、斎藤誠、Crystal Kay、YU-A、など

MUSIC IN COMMUNITY PROJECT

## シャンソン

**現在活動しているシャンソン歌手:**  
高橋さやか  
最近演奏しているお店: ラゾーナ川崎プラザソル  
お店のキャパシティ: 200席  
チケット料金: 5000円

山口優子  
最近演奏しているお店: セリアンタワー東急ホテル 2F 201号  
お店のキャパシティ: 290席(スタンディング200名、着席90名)  
チケット料金: 5000~5500円

ソワレ  
最近演奏しているお店: SARAVAN(東京)  
お店のキャパシティ: 230席(着席60、オールスタンディング100、着席40+立見30)  
チケット料金: 4000円~4500円

佐々木秀実  
最近演奏しているお店: 森のホール21  
お店のキャパシティ: 436席  
チケット料金: 5500円



日本のシャンソン協会

**AFJC**  
日本のシャンソン協会

フランスの香り  
越えたい空間...

**日本シャンソン館**  
MUSEE DE LA CHANSON FRANÇAISE

一般社団法人  
**日本シャンソン協会**  
Japan Chanson Association

MUSIC IN COMMUNITY PROJECT



## タンゴ

**Orquesta Tango Waseda**  
(オルケスタ・タンゴ・ワセダ):  
1954年に「草子タンゴバンド」として誕生。  
ファン・ホセ・オルティス氏によって「オルケスタ・タンゴ・ワセダ」と改名され現存に至る。  
活動としてTANGOスエニョさん主催のタンゴフェスティバル(2012)に参加や、近郊にある東京タンゴシティでミュージシャンとして参加など、出張演奏も年数回行う。  
(福山は現在Bar Marthaにいる)



**演奏・楽器:**



**ライブステージ:**  
■ 館内ではタンゴのライブがある飲食店がある。  
■ タンゴのライブは主に個室やステージのある飲食店である。  
■ またパーティー会場や貸しステージのある場所で行う。



**赤坂 アンペ・クアトロ:**  
プロの演奏者  
タンゴ・スエニョ・ナトリオ  
バンド・スエニョ・ナトリオを中心に、石井有子、山下真由美、吉川雅子の4人が「新島のタンゴ」として毎月第二水曜日にレギュラー出演。



**ノチエーロ 六本木:**  
演奏は、サンバ、ボサノバ、ショーロ、タンゴ、ポルカ、マラカテ、チマヤ、ボカロなどラテン音楽を中心にしたライブを行う。



## 三味線

**三味線とは:**  
リョート風、15〜16世紀成立、和楽器では比較的歴史が古い。



**演奏家の活動:**

**上巻発売**  
-CD(3,000円)、DVD販売  
ライブ、コンサート  
朝野橋ホール2,500円  
富山県教育文化会館3,500円  
演奏会会場500〜6,500円  
千葉県民会館無料招待制



**澤田勝成**  
イベント、地方出演、国内外文化系イベント  
(東日本大震災チャリティー・中国観光ライブ)  
\*得意客(入会金1万、月謝1万)、指導(地名特権)「勝成ストリップ」  
\*地コンテントとのコラボ(映画、ドラマ、ゲーム等)



**ネット情報発信**  
ブログ、ウェブサイト

**Youtube**  
吉田兄弟100万再生、英語のコメントが多い  
<http://www.youtube.com/watch?v=Rm1747NB10>

**ニコニコ**  
ボカロのアレンジ20万再生  
<http://www.nicovideo.jp/watch/sm1530435>



**三味線販売:**

三味線オンラインショップ  
5万〜200万円  
楽器の進化:ゆるるまない糸巻き、エレアコ三味線



**津軽:**  
津軽三味線  
青森県津軽地方で冒頭の漁業人達が始めた門付芸で、最初は離業がなく、雇われていた。ジャズやブルースに通じる即興演奏が魅力。

**文化的資源**  
(津軽三味線観光会館、三味線が響けのお店)

**津軽路 居酒屋 あどはり**  
津軽三味線のじやわめきを1〜  
営業時間:18:00〜24:00(L.O. 23:30)  
定休日:不定休(要電話)  
住所:青森県弘前市住吉町8(銀座街)

**ふるまの響 あいや**  
一本橋の津軽三味線が響ける渋谷駅直下の第一  
営業時間:17:00〜23:00(L.O. 22:30)  
演奏時間:18:00〜タイムラグを見て臨時  
定休日:不定休  
住所:青森県弘前市富田2-7-3

**イベント**  
津軽三味線全国大会「The津軽三味線」  
(船員事務所多助、主にローカル企業)



**渋谷 幸平:**  
昭和56年4月9日白石市津波石  
つからじよんがら那良津の地に生まれる。  
9歳より津軽並立のふもとで三味線始める。  
平成12年度津軽三味線全国大会A級入選  
平成13年度津軽三味線全国大会A級入選  
平成20年度津軽三味線全国大会A級入選



**沖縄:**  
三味線  
沖縄では一般に広く普及している。  
沖縄出身者が多い土物には三味線店が多い?

**印象:**  
ネットの情報発信は英語のサイトを用意しているの多い。  
\*伝統的な日本のイメージ、国際交流の出し物としてよく使われる。  
海外でも知名度が高い。  
クラシックやポップス・ロックとの親和性が高く、受けやすい。

## フラメンコ

フラメンコとは：  
フラメンコ(Flamenco)はアンダル地方の音楽といふ意味は、スペイン南部のアンダルシア地方に由来する。歌、踊り、ギターとの音楽が生体となっている。フラメンコの歴史と発展にはヒタノ(スペインジプシー)が重要な役割を果たしている。さらにそのほか、ムーア人の影響もみられる。フラメンコという語が今日知られる意味でのフラメンコに対して用いられるようになった時期は、文獻から判断する限り19世紀半ばのことである。  
歌とギターと踊りで、楽しみや楽しみ、喜びや快楽などを表現するが、フラメンコの原形は差別されてきたジプシーたちへの偏見に基づいていわれている。

フラメンコが演奏される場  
当初は個人の家などプライベートな空間が中心であったが、19世紀後半にカフェ・カンテンテと呼ばれる定期的にフラメンコが上演される飲食店が出現し、フラメンコの普及を後押しする。カフェ・カンテンテは20世紀初頭には音楽を演ずる20世紀前半に当たる重要な飲食店である。カフェ・カンテンテは現在までフラメンコの上演の大きな部分を占めている。この時期からは娯楽空間「ラス・ベネマス」もフラメンコ上演の重要な場となっている。



### 日本フラメンコ協会とその周辺

近年、フラメンコ専門アーティストおよび一般市民の関心が増え、日本ではスペインに次ぐフラメンコ人口を誇るまでとなった。日本フラメンコ協会(通称ANIF)は、日本のフラメンコ芸術の普及振興及び国際的発展に寄与することを目的に1990年に誕生した。日本におけるフラメンコ芸術をさらに発展させるべく、以下の活動を展開している。  
・コンクールならびに協会賞の開催  
・国際交流による芸術活動の振興及び促進  
・地方的な各種音楽活動  
・専門家の利益保護と福利厚生  
・内外資料の収集保存  
・贈答及び贈答の付与  
・各種公演、イベント、講習会などの開催  
・その他フラメンコの普及振興に必要な事業



ANIFに賛助している協賛店例  
日常的にフラメンコライブが行われるバルやタブラオ、レストラン内での定期公演であることが圧倒的に多い。

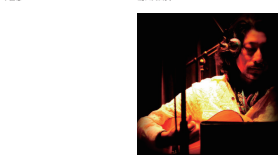


<b>カボメン</b> 住所: 兵庫県神戸市中央区北長狭通1-7-1 営業時間: 11:30-19:30 & 16:30-23:00 1956年創業。日本で一番古いスペイン料理店。毎週土曜午後8時からフラメンコライブあり	<b>エルムンド</b> 住所: 東京都豊洲五ノ輪1-8-3 営業時間: フラメンコライブ 11:30-14:00月、水、金、曜日のみ。夜 17:30-21:00 料理のみ フラメンコライブ 19:30-22:30 実演日 休曜日	<b>メゾンセルベラス</b> 東京都中央区区内有楽町2番2ビル5F 営業時間: 月-夜 17:30-22:30 土-夜 19:30-23:30 月曜 12:00-22:00 日本で一番スペインに近いレストラン。スペイン国営の文化施設セルベラスビルの上階。フラメンコ演奏会にも利用できる。
---	--	--

MUSIC IN COMMUNITY PROJECT



### 日本のフラメンコパフォーマー



**平塚 菜穂**  
1988年 小松原子スペイン舞踊研究所に入門。その後スペインへ派遣。卒業後帰国。国内で高い評価を受ける。人気アーティストのミュージックプロモーションビデオ出演やTVCM、雑誌など多岐にわたる活躍。滋賀県彦根市にて平塚菜穂スペイン舞踊研究所を設立し、後進の指導にあたる。

**藤田真由美**  
様々な種類の研鑽を重ね、日本女子体育短期大学・舞踊科在学中にフラメンコと出会う。在学中スペイン舞踊団員として、舞臺からの舞台を舞台。劇伴フラメンコの他、能とコラボレーション作品も発表し、2006年、2008年、Newsweek日本の「世界が驚かす日本人100人」に選ばれるなど、国内外で高く認められている。現在「藤田真由美・在籍舞臺フラメンコ舞踊団」ART EY SOELARIAを主宰。

**石塚 隆夫**  
日本を代表する歌謡カントーラ。学生時代にカンパに出会い、卒業後1998年にスペインへ渡る。フラメンコの本舞ヘレス・デ・トラフロンテのタンゴ・ゴメスに師事し、初期のジプシー達と学ぶ。日本に帰ったその声と歌唱力はスペインからも支持がある。2006年より日本に拠点を移し、ソロ活動を積極的に展開する。他、フラメンコ舞団でも幅広い活動をしている。

### 用語

**カンテ (Cante)**  
歌。音楽から響く響(カンテ・ホンド)こそ、フラメンコの真髄といえる。ヒタノ(ジプシー)によってフラメンコと言え、ヒタノ(cantaores)は、女性の歌い手はカンテオラ(cantaora)と呼ぶ。

**バイレ (Baile)**  
踊りのこと。日本ではフラメンコといえは踊りというイメージが強い。つまみ食いから伝説を語りながらリズムをとる(サパテアード)。また手の動き(ブロン)はフラメンコの命である。男性の踊り手は「イラウム(bailar)」、女性の踊り手は「イラウマ(bailora)」と呼ぶ。

**トケ (Toque)**  
ギター。歌、舞、共に、アコースティック・ギターの一種であるフラメンコギターを用いる。指先でギターを叩いてリズムを刻む音源はギター。音源を刻む音源は、セルロなど出た。ゴルベを刻む音源は、名前の通りgolpe(名詞 golpear)とはスペイン語で「打撃」(腕の打ちこみ)などの意味。

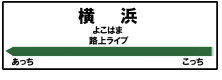
**パルジョ (palliso)**  
踊り手階級に付くカントーラ。踊り手には高貴が出るもの。足手には低貴がるものをつける。



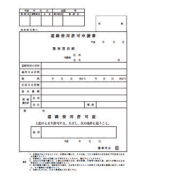
パルジョ 実物のフラメンコシューズ。爪を鋭く研ぎ、踊り手階級に付くカントーラ。踊り手には高貴が出るもの。足手には低貴がるものをつける。

## 横浜

基本情報：  
横浜駅西口駅前には商業ビルに隣接しており、平日の日を問わず多くの人が利用する。そのため、夜間で演奏を行うアーティストも多く、オーディエンスもつきやすい。



路ライブを行うには遊藝使用許可の申請をなくしてはならない。



横浜駅でライブをした有名なアーティスト：  
**廣瀬友里**  
前年BLITZにおいて行われた「第一回 初とめ会 参事記念フェスタ」に出演した経験を持ち多くのファンを持つ。先日週末で300人ワンマンライブの達成。GDAY TOWER RECORDS ONLINEにて再入場可能。

**ヒガシミネメグミ**  
横浜駅付近のライブハウス、BAYSISにて月一回のワンマンライブを行っている。また自身の楽曲をインターネット上でダウンロード販売している、されている。

**Lake Placid Blue**  
横浜VIVREでメインストリートライブを行ったり、神奈川を中心に身体的に活動中。2011年に自身の高曲をインターネット上でダウンロード販売している。また「音楽ガダルカナル」に出演するほどの音楽ファン。

MUSIC IN COMMUNITY PROJECT





# FUJI ROCK FESTIVAL

**基本情報:**  
 フジロック2013  
 開催日: 7/26-28(Fri, Sat, Sun)  
 開催9:00 / 開演11:00 / 終演23:00  
 会場: 新潟県湯沢町湯沢スキー場



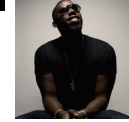
**THE BAWDIES**  
 リズムとブルースやフォックソールをルーツにした疾風や鋭いライブパフォーマンス。

**GREEN STAGE**  
 40,000人収容できるメインステージ、大型スクリーンも設置されているので、どこからでもステージが楽しめる。



2012年会場マップ  
 A209号一環状の道まで歩いて3分かかる。

ザ・ストーン・ローゼズの演奏風景



**FLYING LOTUS**  
 音楽プロデューサー、ディスクジョッキー、おもにヒップホップ音楽を手がけるが、ジャズや電子音楽、デジタル音楽の影響を大きく受けており、濃い低音と特異なリズムが特徴的。アリス・コルトマンを得意に、ジョン・コルトマンを敬愛している。

(左) **WHITE STAGE**  
 15,000人収容のサウンドステージ、各シーンの先陣をいくサウンド、ジャンルレスなステージで入場無料もしばしば。  
 (右) **RED MARQUEE**  
 唯一の野営ステージ、約5,000人収容の大型テント、深夜から朝までライブとDJパフォーマンスが繰り返される。



**KEMURI**  
 1995年東京skapunkという音楽スタイルと、PMA: Positive Mental Attitude (肯定的精神姿勢) というメッセージを掲げ、明るく力強い独自の音楽世界を開拓。

(左) **木蓮亭**  
 白川町にある茶屋に生まれたいかたのステージ。電力はバイオディーゼルの発電機、CO2排出量削減に取り組んでいる。  
 (右) **DAY DREAMING & SILENT BREEZE**  
 フォトグラフィック建築やパフォーマンス、デジタルミュージックからダンスビート、子供から大人まで楽しめる。



**奥田 良生**  
 日本のシンガーソングライター、ギタリスト、音楽プロデューサー。



**Toro y Moi**  
 An American recording artist and producer. His music has taken on many forms since he began recording, but he is often identified with the rise of the chillwave movement in 2010 and 2011.

会場は湖と山に囲まれた大自然の中にあるため、単にライブを観望するだけでなく、森林浴やキャンプといったアウトドアを満喫するイベントという意味も含めた「フェスそのものを楽しむ」ために来場する人も多い。それが会場の和やかで落ち着いた雰囲気を作り、その安心感の良さに惹かれた多くのリピーター(いわゆるフジロック)を獲得しているといわれる。

(上) Tower of Power  
 自らのホーンアンサンブルと強烈なビート、東西両岸が生んだ「宇宙最強のファンクバンド」。

(下) TAHITI 80  
 フランスのポップ音楽グループ、自国語を重んじるフランスにおいて、純血血種から英語で歌うポップグループである。

# RISING SUN ROCK FESTIVAL

**出演したアーティスト**  
 (2012年度):



**基本情報:**

**運営:**  
 北海道のコンサート企画運営会社WESS(ウエス)

**観客アーティスト数:**  
 会103組 (2012年度)

**観客数:**  
 47,000人 (2012年度)  
 来場 最盛30.1度 (13日)、最長14.8度 (13日)

**出演アーティストの特徴:**  
 「サウズ」(即)ロックジャンジャンフェス」が幅広いジャンルのJ-POPアーティストが出演するのとは「ライジング」は、ロック的なジャンルに固まったラインナップを志向しており、ちょっと異なるアーティストが出演する。

会場内にテントを張って「民を慰める」ことも大きな特徴。

**Audio:**  
 オールジャンルオンラインオーディオを選択し、音質の追求ではなく平日常態の演出を目指す。



**各層:**  
 ロックやテクノを中心に好きな老若男女

**特徴:**  
 「シャットカーゴバンク」(or)より大規模なイベント。RCSRにはあらかじめ確保された座席もなければ、入場ゲートからステージまで連絡する高さ20mも存在しない。

**会場:**  
 「シャットカーゴバンク」(or)より大規模なイベント。RCSRにはあらかじめ確保された座席もなければ、入場ゲートからステージまで連絡する高さ20mも存在しない。

何もない「石狩」の広大な土地の裏切りをするところから、フェスティバルはスタート。音楽を聞き、水遊びをし、資料を頼んでステージを設け作り上げていく会場。

**場所:**  
 石狩湾新港橋川ら環境野外特設ステージ (北海道小樽市鉄橋5丁目)

**日時:** 2013年8月16日(金)・17日(土) (雨天決行)  
 詳細: 会場への交通アクセスは、北海道中央バスが地下鉄新幹線から開催期間中に臨時のシャトルバスを運行している (所要時間約30分/乗車料約100円)。また入場チケットとのセット販売もされている。自家用車などは駐車場からかなり多くこと(約15分)になる。

## MTV ZUSHI FES

出演したアーティスト  
(2012年度):



**コンセプト:**  
向陽の太陽の下、海に囲まれたリゾート地ならではの開放感の中、豪華アーティストのライブが流れ、水着で参加できるリゾート型野外音楽イベント。

2008年からスタートし、現在5年目の野外音楽イベント。目の前に広がる海とパームツリーに囲まれた「シーサイドリゾートスタイル」で遊びつづ、水着のままでもライブにも参加できる、00年代にスタートしたMTVによるリゾート型フェス。

**主催:**  
株式会社 リビエラ東京 /  
MTV Networks Japan 株式会社 /  
JAVE live creative inc. /  
女性チャンネル2Lala TV

**場所:**  
神奈川県横浜子マリナ特設会場  
日時:2012年 8/10(金)・8/11(土)・8/12(日)  
各日開場 10:30 / 開演 12:00

**ライブへの参加者:**  
ケータイ世代で涼やかなイベントを好む人、JPOPやKPOPを好む人。  
**名前:** 福位置香  
**年齢:** 20歳  
**名前:** 松本ゆう子  
**好きなアーティスト:**  
Crystal Kay, ナオト・インテライミ  
選手フェスの参加は初めてで、ライブ中は舞台の様子をスマートフォンで撮影していた。

## Free Dommune

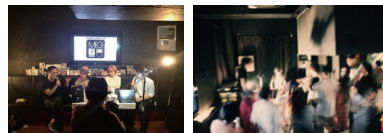
**基本情報:**  
**職業:**  
宇川直宏(グラフィックデザイナー・映像作家、VJ、現代美術家、文筆家、オーガナイザー)が主宰する。

**コンセプト:**  
「平日の夜にまるで本場にクラブにいるような感覚を味わえる」

**場所:**  
東京・渋谷のライブストリーミングチャンネル/スタジオ。

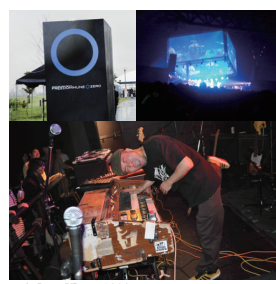
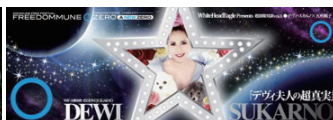
**時間:**  
19時から第1部「TALK LIVE」が、21時から第2部「DJ STREAMING(BROADJ)」が行われる(目によって異なることもあり)、スタジオ観覧は事前予約制で入場料1500円。

**利用権:**  
インターネットへのリテラシーがあり、クラブミュージックに興味がある人。ライブストリーミングでの観覧者は常時2000人くらい。



**配信方法:**  
すべての番組はインターネット上のライブ配信と、連動しているTwitter #DOMMUNEにて発表される。2012年8月まではUstreamを使用していたが、同年8月11日のFREEDOMMUNE 0-CZERO > A NEW ZEROというYouTubeライブ配信サービスを使用している。配信番組は視聴無料。原則として日曜~木曜に放送される。会場・土曜に放送がないのは「リアルなクラブへ足を運んでほしい」という意向によるもの。

**DOMMUNEに参加したアーティスト**



**DOMMUNEの特徴:**  
①一流のアーティストが出演する。世界中のトップアーティストがライブを行う。トーク番組・出版記念トークや芸能人同士での対談などではあまり無いような変わったテーマが多い。  
②音質、映像のクオリティが非常に高い。高いビットレートのmp3を聴いているかのような見事な音質とプロの人からの評価が高い。  
③自宅でクラブにいるような体験ができる。視聴者はリアルタイムでコメントできるので、それがまるでライブでの会話のような感覚になる。そのため自宅一人で楽しみながらお酒飲む人が結構多いらしい。  
④JASRACのライセンスも取得して著作権問題もクリアしている。余金をJASRACに申請して使用料を支払う、プレイするDJはクレジットの使用



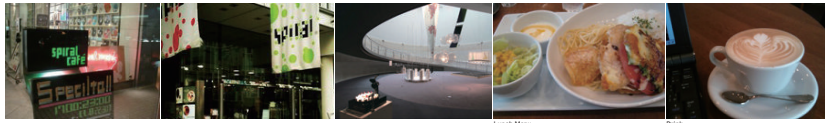




## Spiral Cafe

### 基本情報:

住所: 東京都港区南青山5-6-23 スパイラル1F  
 アクセス: 赤坂通から約200M  
 営業時間: 11:00~23:00(ランチあり)  
 平均予算: ¥1000~2000(昼/夜とも)  
 定休日: 無休



Lunch Menu

Drink

### //////

#### Spiral:

複合文化施設「スパイラル」は、ギャラリーと多目的ホールを中心に、レストランバー、生活雑貨ショップ、トータルビューティサロンなどで構成される、ワコムアートセンター株式会社が開業しており、1985年10月から「生活とアート」の融合をコンセプトに活動。現代美術やデザインの世界展、演劇・ダンスなどの舞台公演、コンサート、ワークショップ、シンポジウム、パーティなど、ジャンルを融合するようなアートイベントを数多く開催。

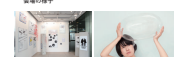
デザイン: 横文彦(建築家) 1980年代の日本のモダニズム建築を代表する建築物として公認の建築家。建築物の1階から3階は、世界に類を見ないユニークな構造を持っており、ギャラリーを貫通するカフェからショップを造って多目的ホールへと連なるオープン空間構成が、通常の美術館や劇場とは異なったアートとのか合いを体験できる。



Map

### //////

#### 開催イベント:



SCF (スパイラルインディペンデントクリエイティブフェスティバル) 公募形式のアートフェスティバル。開催期間: コールデューク(今年度は14回) ささまざまなジャンルのクリエイター100名を輩出。新しい才能を紹介を目的とする。

### //////

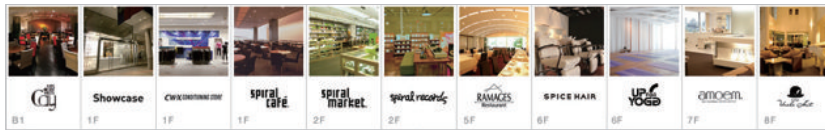
#### Monday Blues:

全く新しいグループイベントとして始められた。2013年は3会目の開催となり、初の「二回連続企画」に挑戦する。「ニュー・ブルース」を軸とし、「二回目は」マルティン・グレイ、二回目は「セカンドライン」を取り上げる。

### //////

#### その他開催予定イベント(一例):

■ 建築 専門学校セコム・フジのジュエリー・カレッジ2012年度卒業制作イベント  
 ■ スパイラル芸術の宴2013(花・力~序章)花の宴」  
 ■ クラウド POWER OF ART DANCE SERIES VOL.2(花)の女  
 ■ レタキヤ&トリキョウ  
 ■ 美しい暮らしの学校 第6回  
 ■ 「ものとの縁の結び方、自分で選んで使い続ける。」



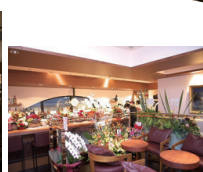
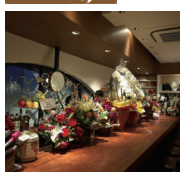
### 基本情報:

住所: 東京都港区赤坂4-2-2  
 赤坂葉月軒本店ビル5F  
 アクセス: 赤坂見附駅から徒歩3分、赤坂見附駅から徒歩166M  
 定休日: 日曜・祝日  
 営業時間: 17:00~翌1:00(L.O.)  
 平均予算: ¥4,000~4,599  
 高客: 23(全席喫煙可能)  
 オープン: 2009年12月8日

### //////

#### 雰囲気など:

赤ベロにおいては、103軒ある赤坂のバーでトップ1位になっている。評価も4.0位と高い。全体のラングでもTop20に入る。また、水澤氏の技術が高く評価するユーザーが多い。サービスも数々の賞状に繋がったものを提供している。利用客としては、カクテルなどもあるが、常連客やおじさま層が多いようである。赤ベロの口コトなども、何年も前から聞いている人が増えた。また、日コトやブログで、多くの人が水澤氏の技術をはじめ、ドリンクに高い評価をつける人が多い。店内は明るい内装になっており、一人や女性同士でも入りやすいという印象を与えている。



### //////

#### 利用客1: 30代男性

雑誌のブログ「居酒屋一歩一歩〜美味しい日本酒」掲載を契機として。Tiareを一人でも多くの人が知る。Tiareを一人でも多くの人が知る。Tiareを一人でも多くの人が知る。

### //////

#### 利用客2:

赤ベロ利用客(続率は500Aほど) 何處もTiareを覚えており、訪れるたびに賞状を向上していると評価。水澤氏のバーテンダーとしての技術が高く評価されている。

### //////

#### 店長 | 水澤泰彦:

■ 全国バーテンダー競技会においてグランプリを受賞(2004)、門前仲町の「オー」にて店長を務めた後に独立。  
 ■ グランプリを受賞した「スピリット」の店長。

### //////

#### 日本バーテンダー協会(N.B.A.)に関して:

設立: 昭和4年 バーテンダーの技術の継承と人格の陶冶を目的とした。  
 発起人: 東京都千代田区有楽町2丁目3番8号  
 事務所: 「本館事務所」(自衛隊記念会)への事務所を借り、  
 主な活動: 「N.B.A.認定バーテンダー資格証書」取得のための技能検定試験の開催。  
 昭和45年、厚生省より社団法人の認可を受け、公益法人としてのスタートを切る。  
 Tiareの水澤氏は技能検定研究員代行を務める。



## 俺のフレンチ

### 基本情報:

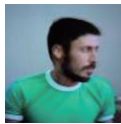
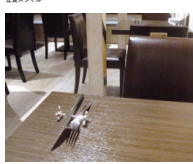
1.「高級な物件」に出演する。中古の飲食店などを買い取ることで、設備投資に必要なお金を抑える。

2.内装にお金をかけない。高級な物件の内装をできるだけ活用することにより出費を抑えつつ、料理以外にはできるだけお金をかけない。

3.高い回転率で収益をあげる。一般的なフレンチレストランだと回転率が1程度になるが、立ち食い風にするにより回転率をあげることができる。回転率を数回回転にすることにより利益が上がる運営になる。

—高シブスタッフを起用  
銀座店に於ける「シェフ秘書」の元総料理長・松永秀夫氏、シェフ秘書・山崎の元総料理長・高川英典氏、ジュエリー・ロザリオの元出品専任販売員・高シブを起用。銀座店はフランスの3つ星フレンチ「アラマンダ」で修業した高橋雄二シェフをトップシェフに迎え、フランスの料理を得意とする高橋君と高シブを持つ前田神楽シェフらが協力を図る。

顧客の70%は女性。(出典 All about グルメ)  
広瀬原の如崎美菜さんは、20代以上をターゲットに、これまでフレンチは敷居が高いと感じていたが、今はもちろん、銀座の店にも本物を召し上がっていただきたいという思いがある。



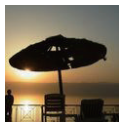
食べログ  
Jリーグカレーのまさお(29)さん  
(30代前半・男性・三重県)

口コミ: 29件 / 24票 | 写真: 145枚  
46票 | 接客: 2人 | 訪問者数: 90人  
高評価: アラベス  
「ちょっと生演奏と生歌の最中でしたが、正真正正オリオンが良かったので、プランディング下げてました。音大生とかが嗜好してたのかな?」



松永 秀夫 / 山口県をデザインする  
モトクロス | ブログ  
<http://www.digitalmotox.jp/blog/>

戦略的IT支援チームAMOTOX(モトクロス)社長。ブログには中華、フレンチ、イタリアンなど食事に關するコメントが多数。  
「ピアノ生演奏を聞きながらの絶品フレンチ。それでいて立ち食いならではの賑やかな店内は笑顔で楽しめて、とても居心地の良い空間でした。人気店。立ち食いならではの回転率があるってこそ成せる技ですね。俺のフレンチ、超オススメです!!!」



Nyaho  
(20代後半・女性・東京都)  
<http://thatseat.hatenablog.com/>

「レストランコンシェルジュ、シーンにあったレパートリーには中華、フレンチ、イタリアンなど食事にたいくち食べて飲んだら、とても満足できる。接客、接客とおりに美味しい!」接客は丁寧ではなれないが、他の店とも共通しているところ。決まらぬ。」「おススメのワインを聞いたらおまじり家。えら「一気に入注文すると、次々料理が運ばれてくるので、小さなテーブルに入りきらなくなる。」



牛フィレ肉とフォアグラのロゼーニ  
1,344 円



活オマールのロースト貴族ワインソース  
1,344 円



鴨のオレンジ風味  
1,575 円



ニース風ラタトゥイユ  
504 円



魚介のマリネ  
504 円

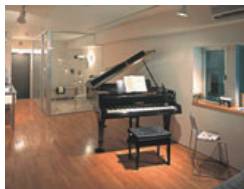
## ミュージション

### 雰囲気など:

プロの音楽家から興味を喚起したい人まで、様々な音楽家たちが集まる、生活と音楽や創作の境がなくなった複合的空間。デザイン性の高い建築。2000年、2005年と2度デザイン賞を受賞。この高いデザイン性は進行く人達にも注目される。

音楽を聴いて分かれ合う時間、位空間の提供だけでなく、マンション内でのコンサートという発表の場を提供することにより、発表意欲がなくなり、地域の活性化の役割を担っている。

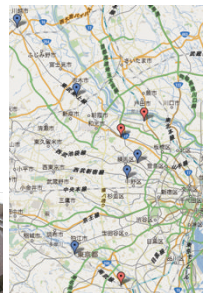
安心して演奏や音楽鑑賞ができるだけでなく、音響設備、一般的なマンションより厚い床(コンクリートスラブ厚180mm+浮き床工法)、浮き床工法で、低音効果を得るグラスウールを施工することにより、プロのセッションにも対応できる高い音響性能を実現している。



MUSICION 2F 平面図



MUSICION 3F 平面図



物件情報:  
ミュージション川越、ミュージション志木、ミュージション野方、ミュージション野方、ミュージション武蔵中央(最寄り駅より徒歩5分圏内)  
家賃 70,000円~160,000円



MUSICION 下宿



MUSICION 江古田



MUSICION 野方



MUSICION 志木

### 音響設計:

音響設計: 有名音響設計会社監修。コンサートホール、劇場をはじめとして、スタジオ、学校講堂、会議場、体育館など多くの施設の建築音響設計を行っている。日本トップレベルの会社。株式会社 名音響設計が音響設計監修を担当している。サントリーホール、カザルスホール、東京野音舎、WPAイズムコンサートホール等、国内外で多数の実績があり、この経験に基づいた豊富な専門知識で、「ミュージション」の高い音響性能が実現して

## ヴェルディ 憩の家

ジュゼッペ・フォルトゥニーノ・フランチェスコ・ヴェルディ：  
Giuseppe Fortunino Francesco Verdi  
(1813年10月10日 - 1901年1月27日)

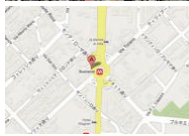
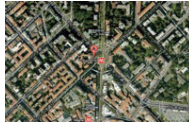


### 基本情報：

音楽家のための老人ホーム。現在は音楽学校の生徒も生活している。濃厚なレンガ色の建物に軽やかな白い窓がポポネオゴシック様式。約3000㎡の敷地に、半庭をぐるりと囲むように建物が集まっている。約80~100人のための広さの他、音楽練習室や150人程度収容可能なコンサートホールがある。半庭正面にはモザイク装飾が一面に施された書道があり、ヴェルディと妻ジュゼッピーナが眠っている。居住室は一つ一つの部屋がピアノとバイオリン、ストレーナなど、音楽家や約50人、また、音楽学校の生徒が20人。

ヴェルディの遺言によって、彼の死後50年間はヴェルディハウスすべての楽器費を彼の著作権料で支払われていたため、入居者は無料だった。

1899年竣工  
1903年施設利用開始



### 具体的な入居者：

ウィットリオ・ジュリアーニ(88) 指揮者、作曲家、ピアニスト、リーナ・ヴェスタ(70) ソプラノ歌手、フランコ・ゼンペリ(70) ピアニスト、ムイシ・ヴェツッチャ(88) チェリスト、イタリ・ヴェスコ(80) バレリーナ、レオ・アグワツォーリ(82) テール歌手、アルベルト・デル・リンコーレ(90) テノール歌手、左の写真はリーナ・ヴェスタ

## 松涛

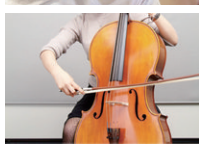
### 基本情報：

渋谷区の南西部に位置し、町域内の多くは住宅地となっている。商業中心を代表する高級住宅地のひとつとしても知られるが、「松涛」はかつての地に茶屋「松涛園」があったことに因み、茶屋の名が由来となった新しい街である[2]。町域には住宅のほか、Bunkamuraや戸美美術館、渋谷区立松涛美術館、観世能楽堂といった文化・芸術関係の施設も多く見られる。



### Hakuj Hallを頂点にした音楽コミュニティの生成：

レストランと音楽の融合を目指す。松涛にはレストランの一角が多く立ち並んでおり、日替りホールの半席を持っている人にはディスカウトを行えるシステムを作り、音楽と食のコラボレーションを促す。



### レストラン等地域のお店の活性化：

音楽と飲食店を掛け合わせる事で音楽の活性化だけでなく、飲食業やオリエティの若い音楽を誘致できる店として差別化を図る事が出来、地域全体の活性化に繋がる。

### 興行を超える収入：

300席の座席数は興行的には多くの座席があるとは言えないが、コミュニティの活性化による収入増で通常の興行以上の収入を達成できる。

### クラシック以外へ

ジャンル拡大：  
現在はクラシックを中心に公演を行っているが、白洲会科学研究所の本業であるシムパー中心の健康産業とのシナジーがとれない。耳に優しいアコースティックサウンドを提供というプランを打ち出すためにも、ジャズや民謡音楽など広く演奏を行える様にして、生音の素晴らしい時間を提供して行く。

### コミュニティのメッシュ化：

Hakuj Hallを中心に気軽に参加できる場所をネットワークで結び付けて行く。気軽に音楽を聴ける場所、売合いを入れて音楽を聴く場所など多様な場所をネットワーク化させる。



榎 HAKUJU HALL



### 広い受け皿作り：

ブラハやウィーン、ザルツブルグの教会の様に、音楽が育んだ。また多様な演奏手法のアーティストを受け入れる受け皿を創る。



音楽館

店舗:

新浜崎、新橋西口、明法通り新橋、新橋下キド  
キ、東田町、四谷、渋谷駅前、渋谷、代々木、ア  
キバ、お茶の水、上野駅前、本八幡

渋谷駅前店 料金例:

4.5畳  
個人練習 13:00-22:00: ¥430/h  
Trance(8畳)  
平日10:00-16:00: ¥1,450/h  
平日16:00-翌10:00: ¥2,200/h  
土日祝日 前日: ¥2,200/h  
Rhapsody(12畳)  
平日10:00-16:00: ¥1,980/h  
平日16:00-翌10:00: ¥2,780/h  
土日祝日 前日: ¥2,780/h  
Honey-bee(30畳)  
平日10:00-16:00: ¥3,360/h  
平日16:00-翌10:00: ¥4,800/h  
土日祝日 前日: ¥4,800/h

常設機材:

渋谷駅前店Honey-bee  
ギターアンプ4台  
ベースアンプ1台  
ドラムセット、シンバル  
ミキサー、スピーカー

基本情報:

音楽練習スタジオ事業  
期間限定で施設にあるハウススタジオ、  
全3スタジオ同時稼働可能。

例: Aスタジオ

広さ: 39.4 m<sup>2</sup>、天井高: 2560  
「自然光十分な洋風ライต์スタジオ、パ  
スーム、キッチンは洗濯、浴室を使用しての  
撮影も可能。キッチンにはハイカロリバー  
ナー、食器洗浄機あり。その他トイレ、玄関、  
浴室、外掛りの撮影も可能。お昼の惣入  
り口を最大限活用、昼間レジでの商品撮  
影など様々なニーズに対応します」

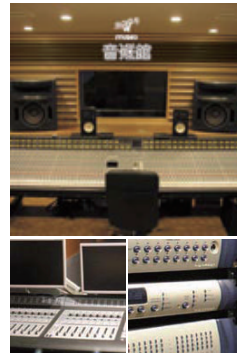


STUDIO  
音楽館

元大学サークルのバンド (20代男性、女性)  
- 慶應大学退学四次出身のメンバーで構成されたバンド  
The Black Shine. 練習にスタジオ音楽館 明法通り  
新橋店などを使用。  
「アメリカ出身のギターボーカル、ブラジル出身のベー  
ス、そして日本出身のキーボードとドラムによって生み  
出す、ハードかつソフトの音色で、現代人の心の開港を  
志す黒船バンド」

MST (@matmat37)(30代男性)  
ギター  
- 「ギター初心者が集うコミュニ  
ティに参加。ギター歴1年で音楽  
の音楽館でスタジオラ  
イブを開催。好きなバンドは  
「アメリカ出身のギターボーカル、ブラジル出身のベー  
ス、そして日本出身のキーボードとドラムによって生み  
出す、ハードかつソフトの音色で、現代人の心の開港を  
志す黒船バンド」

高校生バンドマン  
ギター & ボーカル  
- 練習の音楽館でスタジオラ  
イブを開催。好きなバンドは  
ミッセルガジェンア  
ン & Steem、Ez、ロキノノ高。演  
奏後は来てくれた人に船を最  
新で贈呈するのが特徴。



セルフレベール

また、FEI Records というオ  
リジナルレベールを運営し、  
CD制作や楽器数本などの  
出版を行っている。

RECORD DESIGN

レコーディングスタジオ

新橋、お茶の水、本八幡の3店舗。全店舗で  
Protocolを導入。

レコーディング料金(3店舗共通)

8 Mix DAT(48kHz)  
10:00 - 13:00: ¥4,790/h  
13:00 - 16:00: ¥5,000/h  
16:00 - 22:00: ¥5,520/h  
22:00 - 翌10:00: ¥6,050/h  
土日祝日: ¥6,050/h  
10:00 - 16:00 6h: ¥25,000  
土日祝日6h: ¥31,500

Dig.16tr.

10:00 - 13:00: ¥7,150/h  
13:00 - 16:00: ¥7,360/h  
16:00 - 22:00: ¥7,880/h  
22:00 - 翌10:00: ¥8,410/h  
土日祝日: ¥8,410/h  
10:00 - 16:00 6h: ¥37,000  
土日祝日6h: ¥43,500

洋風音楽スタジオ「ビーチサイド」

千葉県房総の合宿専用スタジオ。宿泊棟に176  
名を収容可、打ち上げライブ可能な80畳の  
ビッグスタジオ有。6畳スタジオが設置。24時  
間入り放題の温泉も併設している。  
設備機材は東京のスタジオとはほぼ同レベル  
アップ。実況、放送、チャンネル、グラフィック、ア  
ンを通したスタジオツアーなどの用途を提案し  
ている。

宿泊料金

2食つき  
OFF season: ¥5,670/泊  
ON season: ¥6,720/泊

スタジオ料金例

Surf(12畳)  
OFF season: ¥30,450/日  
ON season: ¥33,600/日

Marmid(20畳)

OFF season: ¥36,750/日  
ON season: ¥39,900/日

Pearl(80畳)

OFF season: ¥68,250/日  
ON season: ¥71,400/日

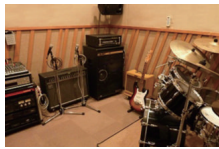
(スタジオ内、ミキシングルーム代、オペレー  
ター代、消費税込)

スタジオ一覧

基本情報:

リハーサルスタジオ、カラオケボックス、音楽  
教室、公民館施設を様々な条件で一括検索。  
検索を絞る様々な条件を一度で検索できます。  
主な検索条件は以下の通りです。

- 種類(リハーサルスタジオ、カラオケボック  
ス、公民館施設、音楽教室)
- 場所(都道府県、市区、最寄駅の名前など)
- 特徴(大人数での利用、個人練習、アコ  
スティック楽器専用)
- 設備(ピアノ、音響設備、コインロッカーなど)



クエスジョンスタジオ: 楽器練習



シスター 1010: 本音収録



クラッシュスタジオ: 日暮裏街



スーザランドスタジオ: 楽器練習

楽器の練習場  
~リハーサルスタジオ、カ  
個人練習に最適  
~アコースティック楽器の價

トップ

トップ



スタジオフォルム: 楽器演奏有



小倉区民館: 小練習



船江コミュニティ会館 1-2 二階





## カラオケパセラ

### 会社概要:

名称 株式会社ザンザ  
事業内容 テレコム・グラフィック・デジタル・メディア・システム  
シニア企業、イベント・エンターテインメント・音楽・映像・ブ  
シニア産業の企画運営、57億6000万円(2012  
年10月期実績) 従業員数600名。



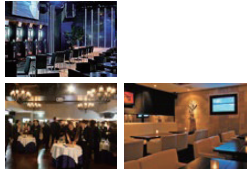
### 幹事に優しい:

30名以上の予約がある場合、1組2名の旅行券を  
プレゼントする。



### 大規模パーティーに対応可能:

5~200名まで収容可能 会議室、研修室、結婚式  
場としても利用可能なミュージックホールも充  
実しているため2次会も店内の移動で完結する。



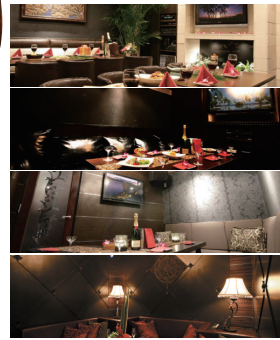
### カラオケ曲数世界最大級:

80万曲(ギネス申請中) 独自のカラオケシステム  
e-Navisをタブレット端末に導入  
JOYSOUNDのLIVEDAM、CROSSO、UGAnext、  
プレミアDAM、UGA+、BD+サイバーDAM、Hyper  
Joy WAVE、VibeMax、音信堂、カンドーン、  
DIGALDプレイヤーの全ての曲が歌えるカラオ  
ケ集中管理システム。



### 充実した食事:

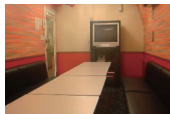
季節の食材を用いた旬料理コース  
100種類以上の飲み放題  
シニアモデルのドリンクコース  
料理10品・数量(3時間) 一人につき  
¥3,000(税込)+¥1,500(税込)  
などのお得な価格設定



## カラオケ歌広場

### 基本情報:

歌広場(うたひろば)は、株式会社リアック  
スが、関東地方に展開するカラオケボックス  
チェーン  
リーズナブルな料金を背景に異業種において  
急速に勢力を伸ばし、1990年代には関東圏が  
ラオケの代表的なチェーン店として知られた。  
しかし2000年代に入ると、部屋やサービスに  
特徴を持たせたり、最先端機種の導入に積極的な  
会社チェーン(リアックが、ビッパチや  
現在の業界大手)が台頭し、内装や設備の差  
が広がった。歌広場は不景気に陥った。この  
ためリアックの経営の不振も、店舗閉鎖などで急  
激な減少を遂げている。また、一部店舗でJALワイヤーのポイン  
ト加盟店となるサービスも行っている。



ジャンボカラオケ広場(ジャンボカラオケひ  
ろば)は、関東圏が関東圏で展開しているカラ  
オケボックスチェーンである。略称はジャンカ  
ラ。2013年1月現在、店舗は大阪市や、京都神  
戸エリアを中心に、茨城県、千葉県、東京都、奈良  
県、和歌山県の関西一円と、愛知県、岐阜県、岡  
山県、広島県の一部に合計114店舗ある。  
関東地方を中心に展開されているカラオケ店  
チェーン「歌広場」は、ジャンボカラオケ広場を  
経営する東宝産業社長の長女、李美空による経  
営である。同社はともカラオケ店チェーンや  
格安テレコムチェーンを経営しているが、その業  
業領域を関西と関東とに組み分けている。これ  
ら「歌広場」と「ジャンボカラオケ広場」とでは、  
お互いに類似したコンセプトが採用されている。  
もともと店内で、ゆっくり音楽を聞きなが  
らお酒を飲むためのバー。  
目的は全く異なるが、入りやすく感じ  
る人も多い。



様々な機種が提供されているが、店舗によっ  
ては決まっている機種もあるため注意



飲み放題のドリンクバーが安価で提供されて  
いるため長時間滞在する学生などに人気。



Promotion:  
2010年まではTV CMを世界のトップ、天津などの言本荘人が担当が2010年以降は乃木が務める。

ご利用料金 の一例	
30分	140円
1時間	320円
2時間	390円
フリータイム	980円
11:00-20:00	980円
21:00-24:00	1,980円

Price:



e-onkyo music

配信レーベル例：

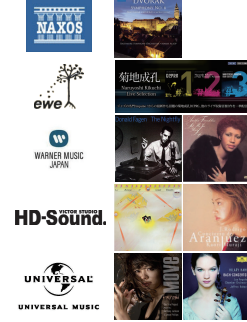


配信データ：

DRM 付き：WMA Lossless  
 DRM なし：WAV, FLAC  
 WMA Lossless, DSD  
 DSD: 1bit / 2.8MHz  
 HD: 24bit / 192kHz  
 HD: 24bit / 96kHz  
 CD: 16bit / 44.1kHz (1441kbps)  
 (© iTunes: AAC - 128kbps)



配信アーティストとレーベル例：



オーディオマニア、中高年齢：  
 中心は40~60歳、最高は80歳。  
 「うちにサポートも買っているんですが、ほとんどパソコン中毒です。そこでクリックしてくださいとか、  
 そうしてもハイレゾで聴きたいんです」



Krypton HQM Store

※基本的にウェブが得意で、  
 トップメニューはわかりやすいが、そこはわかりやすいweb1.0風。



システム構成機器：

ブルーレイプレーヤー：ブラマー (BD-32)  
 フリアンソング：アキュフェーズ (D-2410)  
 メインアンプ：アキュフェーズ (A-46)  
 スピーカーシステム：KRIPTON (KX-1000P)  
 オーディオボード：KRIPTON (AB-HRB)  
 電源ボックス：KRIPTON (PB-HR1000)  
 電源ケーブル：KRIPTON (PC-HR1000)



配信レーベル例：



ユーザー例：

業月  
 フィギュアとエロゲと秋葉原が好き。最近、DDと抱き枕にも  
 手を出し、雑学増進中。5。  
 カタ使用機材：ポニー SONY α 99・SONY α 77・SONY  
 RX100 レンズ：50mm F2.8 MACRO・Planar 85mm  
 F1.4 ZA・100mm F2.8 MACRO・135mm F2.8(T4.5)  
 STF・Vario-Sonnar 24-70mm F2.8 ZA・Vario-Sonnar 16-  
 80mm F3.5-4.5 ZA フラッシュ：HLV-F43AM  
 荒井修寛 Syuun ABC  
 書道家 / ( 財 ) 毎日書道会・会員 / ( 公益社団法人 ) 全日本書  
 道連盟・正会員 / ( 財 ) 書道技術院・同院院 ( 総務・役員 ) 書道  
 会会 / 群馬県書道連盟 ( 審査 ) 委員 / ( 社 ) 群馬県書道協会会  
 員 / 前橋市児童遊園地委員・審査員 / 紳士会会 長・将棋生半  
 http://pub.ne.jp/indianinkworld/







# schola

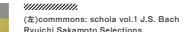
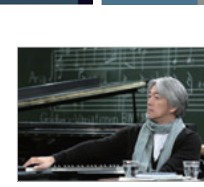
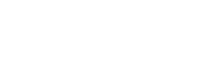
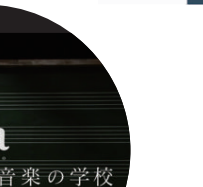
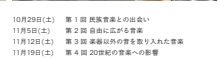
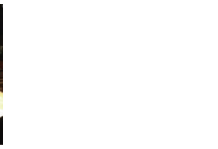
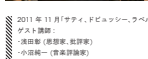
## 番組概要:

坂本龍一が現在ライフワークとして取り組む「スコラプロジェクト(スコラ)とはテレビ番組で『学校の授業』。人間の生み出した文化なる文化(音楽)の魅力を解き明かそうというこの企画のもとに、坂本龍一を講師に迎え、音楽の真実を共に学究的に、特に体験的に伝えようというコンセプトによる『音楽の学校』。

NHK 毎週金曜、午後 11:00 ~11:30  
 シーズン1  
 バッハ  
 ジャズ  
 ドラムズとベース  
 シーズン2  
 音楽史  
 ドビュッシー、サティ、ラヴェル  
 ロックへの道  
 シーズン3(2013年1月~)  
 映画音楽  
 ポプスター  
 アフリカの音楽

## common:scholaとは:

坂本龍一総合監修による『音楽の学校』、それがcommon:schola(コモンズスコラ)です。  
 『音楽の学校』にふさわしく、知る楽しさを享受する教材として、また新しい『音楽の学校』として、ユニークな選考とともに選曲されたCD」と、豪華監修陣による「本」上を組み合わせ、次世代へ『音楽の学校』を継承してゆく(全30巻のクラシック・ポピュラー・ジャズ・ロック・クラシック10巻、ポピュラー14巻で構成し、各3巻10年間に渡り放送予定。教育的な視点を持ち、音楽の成り立ち、歴史的音楽を網羅した120分のブックレット。そして、そのバックグラウンドとしてこの教材を持つ、百科事典や古典文学全集のような豊富な質感的バックグラウンドによる高付加価値商品。次世代に卒業して行く(個性を持つ)音楽の百科辞典。



(C)common:schola vol.1 J.S. Bach Ryuichi Sakamoto Selections

14曲 / 清水邦博 ¥8,925  
 ・本誌特別付録(1冊)付録 豪華ハードカバー  
 ・本誌特別付録(1冊)付録 豪華ハードカバー

(C)common:schola: Live on Television vol.1 Ryuichi Sakamoto Selections: schola TV(DVD)

amazon 価格: ¥3,027  
 NHK Eテレで放送された「schola (スコラ)」坂本龍一 音楽の学校」の番組内で演奏したさまざまなジャンルの楽曲の中から、演奏パートの最高映像を収めたDVD。

2010年4月「S. バッハ」  
 ナリシ  
 演出監: 京都府立音楽大学大学院長  
 小田純一(京都府立音楽大学音楽学教授)  
 岡田純生(京都府立音楽大学音楽学教授)  
 藤原真理(チェロ奏者)、坂本龍一  
 ワークショップ指導  
 東京音楽大学バソーン・コンサートクラブ

2010年5月「ジャズ」  
 ナリシ  
 山下 洋輔(ジャズ・ピアニスト)  
 本  
 大谷 隆生(音楽家・批評家)  
 山下 洋輔(ピアニスト)、坂本 龍一(ピアノ)  
 田中 裕紀(サクソフーン)、高尾 雄(ベース)  
 ASA-CHANQ(ドラム)  
 ワークショップ指導  
 国立音楽大学ニューイニテッドジャズオーケストラ

2010年5月「ドラムズ&ベース」  
 ナリシ  
 船野真由(ミュージシャン)  
 高橋聖宏(ミュージシャン)  
 ビューティフルカン(プロドゥクティオン)  
 本  
 坂本龍一、船野真由、高橋聖宏、  
 小山田忠孝、梅原知彦  
 ワークショップ指導  
 世田谷区立藤原小学校の児童の皆さん  
 ワークショップ指導  
 小田純一、岡田純生、佐野元春  
 (国立音楽大学ニューイニテッドジャズオーケストラ)



2011年11月「サティ、ドビュッシー、ラヴェル」  
 ナリシ  
 演出監: 佐野元春、批評家  
 小田純一(音楽評論家)

10月29日(土) 第1回 坂本龍一との出会い  
 11月5日(木) 第2回 自由になる音楽家  
 11月12日(木) 第3回 楽団以外の音を聴いた音楽家  
 11月19日(土) 第4回 20世紀の音楽への影響

・参加者が課題に取り組みワークショップ: 楽器ではない物を使って演奏する。  
 ・有難さによる対話  
 ・その後、豊富な資料提供、音楽を聴いた音楽家  
 ・坂本龍一先生によるレクチャーライブ

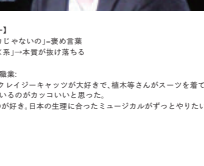
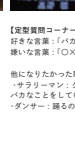
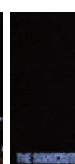
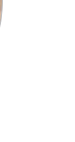
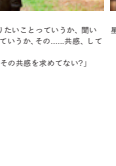
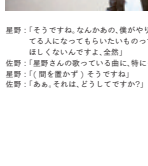
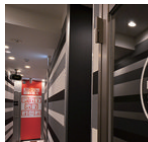
# 佐野元春のザ・ソングライターズ

## 基本情報:

2009年7月4日放送開始  
 NHK 教育テレビ  
 毎週土曜 23:25-23:55

「ポピュラー音楽のソングライターこそ、現代の詩人」ポップソングは時代の鏡であり、時代を越えたポエトリー

音楽における(音楽)をテーマに、佐野 元春が毎回異なるソングライターをゲストに招き、歌前について語り合うという形式で、佐野の母校である立教大学の教室での公開収録。  
 音楽・文芸 表現を志す学生たちを招き、ゲストのソングライターと学生との対話は番組の中で盛り込んでゆく(ワンポイントQ&A)を添えてゲストと交流する。音楽表現は基本的にない。



【編者】編 Part1  
 10月5日(金)23:00-23:29

【編者】編 Part2  
 10月12日(金)23:00-23:29

【大木実央(CI)MAN】Part1  
 10月19日(金)23:00-23:29

【大木実央(CI)MAN】Part2  
 10月26日(金)23:00-23:29

【山崎まよ L Part1  
 11月16日(金)23:00-23:29

【山崎まよ L Part2  
 11月23日(金)23:00-23:29

【なかにし L Part1  
 11月30日(金)23:00-23:29

【なかにし L Part2  
 12月7日(金)23:00-23:29

星野:「そうですね、なんかあの、僕がやりたいことっていうか、聞いてもらえるっていいものっていうか、その……共感、してほしくないんです、全部」  
 佐野:「星野さんの歌っている曲に、特にその共感を求めている」  
 星野:「(頭を掻く) そうですね」  
 佐野:「ああ、それは、どうしてですか?」

星野:「あのー、やっぱり共感って、同じことを経験してるとか同じことを通ってるとか、同じじゃないですか?でもやっぱり、若い人が『若手編』(若手編)人(はかゆう) (若手編)の歌を聴いて自分も経験するっていうのは、共感とは違うと思うんです。だって経験してないわけだから」

【質疑応答コーナー】  
 好きな音楽:「あのじゃないの、上野の音楽、好きな音楽:「Ox系」-本音が抜け落ちる

他にやりたかった音楽:  
 ・サリアー・マシナ・レイジー・キャットが好きで、橋本さんがスーツを着てバカなことをしているのがカッコいいと思った。  
 ・ダンサー: 踊るのが好き、日本の生舞に合ったミュージカルがずっとやりたかった。

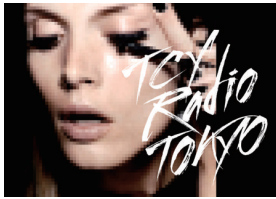
## blockfm

ダンスミュージック専門のWebラジオ block.fm開張など:  
block.fmは、アーティストm-floのDJのTaku Takahashiが主催するダンスミュージック専門の音楽インターネットラジオ。開張は、2008年からDJのTaku TakahashiがMySpaceにて始めた、ダンスミュージック専門ラジオ、TCY Radio Tokyoが2011.11.11 PM 11:11:11に新しいメディアとしてblock.fmと名前を変えた。レコードショップの閉店や専門誌の休刊など、日本のダンスミュージックが抱える問題とその解決策としてblock.fmのスタート。

出演DJ/アーティスト:  
FYS aka BINGO / Gunhead / YUMMY / JAGUAR SKILLS / SHOTARO MAEDA / Tomoyuki Tanaka(FPM) / Shinichi Osawa / Masatoshi Uemura / Yasunasa Yonehara / VERBAL / Tetsuji Tanaka / MC GARDO / NERDZ ERA / Takeru John Ooguro / Taku Takahashi / REMO OON / sasurum / Bryan Burton Lewis / RAM RIDER / POWDA / KANOMATA KEISUKE / Danny Wheeler / LaTourrette / Naokok



block.fmの前身であるTCY Radio Tokyo:



m-floのTaku Takahashiが率いるTCY Recordings Crewが始めたダンスミュージック専門のインターネットラジオで、既存のFM放送やAM放送では扱われる事がほとんどないダンスミュージックを厳選したDJセットを配信はもちろん、安室アンゼム、そしてTCYでしか聞けないエクスクルーシブな曲を紹介した貴重な音楽専門番組です。ジャンルはElectro, House, Tech House, Drum 'n Base, Dub Setp, Disco, etc. クラブ現場でかかっている曲をトップDJ達がトラックDJ MIXで配信している。自動HPではなく、ウェブページのマイスペースを利用。w



イベントの主催:  
block.fm主催により、イベントを開催することで、アーティストの活躍の場の提供とアーティストの育成を目的としている。エナジードリンクburnが主催し、ダンスミュージック専門インターネットラジオblock.fmがサポートする、世界規模のDJコンテスト「burn World DJ CONTEST 2013 supported by block.fm」を開催、才能のあるアーティストを育てる活動も行なっている。



コンテンツの種類:  
毎日更新される、様々なジャンルの様々なラジオと、参加アーティストイベント出演や新発見系などニュース情報も掲載。また、アーティスト機能も有しており、最新の放送は、放送終了から次の放送まで視聴することができます。

システム:  
システムはHTML5を採用しており、スマートフォンでも見られる。(専用のアプリケーションは無い。)また、ラジオを聞くだけであればMixlr(http://mixlr.com/)に番組を配信しているためそこから聞くことも出来る。

配信楽曲の購入:  
block.fmでは、番組ごとICDJが本人の曲もしくは、mixを流している。番組ごとに配信した曲はその場で購入できる仕組みになっている。

## 音楽教室

大手音楽教室「YAMAHA」:  
ヤマハなどの大手は、宣伝力や安心感がある。講師のレベルも体系的に高いため、音楽を卒業していない先生や(グレード試験というものがある)、考えられないほどレベルの高い講師も存在する。教えることができるように、教える内容はマニュアル化されている。レッスン料は安く思われているが(入学しやすいように設定している)、個人レッスンをきちんと受ける等ある程度進むとレッスン料は高い。



音楽教室の提案する良い教室の条件:  
『音楽教室』の提案する良い教室の条件  
一流の講師(音楽家)優れた講師陣が揃っている(見たい、経歴、音楽家)。  
人が多く(生徒)である(1日の集客数が集客数はず〜8万人以上)。  
駅から近い(徒歩5分以内、理想は3分以内)、周辺で高いビル(学校や幼稚園)が近隣にある、緑が多い(環境)であるのが理想。  
教室の雰囲気がお洒落でカッコイイよ、少し高級感がある(通っている生徒が他の子に劣るような環境)。  
レッスン室は快適にレッスンを受けられる広さがある(ピアノのレッスンはランドピアノで、レッスンの多い教室上、それ以外の楽器のレッスンはアップライトか電子ピアノ/設置であっても良い)。  
レッスン室は広さがある(なるべく広く、より多くの生徒が入れようとする。レッスンは土日も含む希望日、15分単位で23時まで稼働する。レッスンの空を期間をスケジュールとして一般の人に貸し出し(生徒は格安で利用できる)する。



町の音楽教室(個人)  
個人音楽教室:  
個人教室は、音楽を卒業した人が継続し講師となり、その半期で自らも自宅などで個人的に教えている。レッスン料は安い。講師のレベルは演奏家としての能力は高く、教えるプロでもない。なので全体的にレッスンの質は悪い。宣伝はあまりしない。生徒はおもに近所付き合いで集める。生徒の対象はおもに子供で、自宅レッスンのため大人は教えない。たまにプロの演奏家や良い先生がいたりするが、一般の人がそれを探す手段はほとんどない。





## 学校公演

### 基本情報:

全国の小学校、中学校、高等学校に招かれ、演奏などのパフォーマンスを行う。  
演奏プログラムは選曲にも強く、目次演奏を堪能できるプログラムを提供する。  
毎年課外授業として「音楽鑑賞」「独奏鑑賞」「演劇鑑賞」など学校の担当によって選ばれる。



単価 100,000円~20,000,000円  
営業方法 資料配布、電話営業、  
子ども劇場前などかなり多様な作業

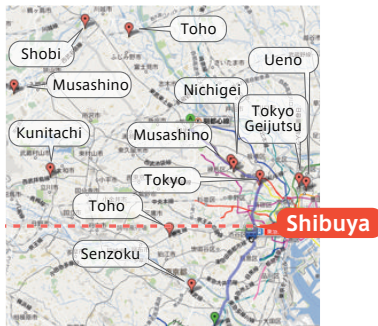
今後の学校公演の取り組み方:  
学校公演や特別演奏などやってきたことを続けるためにはもっと違うプログラムで提供する必要があります。  
面白いことと、絶対的な高度な演奏技術の披露が出来るかどうか、ここを伝えるための教育も必要、組織化した学校公演の仕組みを作る。



## 全体構想 (副都心線)

東京の西部である渋谷から横浜の地域において音楽教育は音楽鑑賞に代表されるパフォーマンスを集合的に感じ取ることが出来る都市環境を構築するための環境を構築するための基本構想を形成する。具体的には、渋谷、世田谷の駅前を中心に検討する。渋谷から横浜の地域はパフォーマンスとしての音楽に価値をもつ人が多く生活しているにもかかわらず、それを支える音楽家が比較的に少ない地域である。

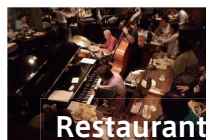
2013年3月16日 東京メトロ副都心線と東横線の相互直通運転がはじまったことで、現在音楽家が多く住んでいる東京の東の地域と渋谷から西の地域の行き来が容易になるのである。東京の北部に集中している音楽大学の周辺に住居を構える音楽家の環境が変化する可能性がある。そのことにより、将来的に渋谷から横浜に至る地域は音楽パフォーマンスによって場所の価値が高まる場所になると考えられる。



2013年3月15日  
東急東横線渋谷駅駅前  
Photo by Ryoosuke Kojima



施設、主要音楽大学の周辺が環境から生活一環音楽鑑賞に代表されるパフォーマンスに価値をもたせ、音楽大学の学生は学校周辺に住居を構えているが、卒業生もまた「音出し可能な住まい」を求めて卒業した学校周辺に住んでいる者が多い。また、コンサートホールやホールなどにも卒業した大学のホールなどを利用して、音楽大学の卒業生のコミュニティは音楽大学周辺に集中している。



音楽の新しい価値へパッケージ化された「音楽」に合わせて歌壇を築き、むかしの音楽に始まり、クラシック、ジャズ、ロックを問わず、ライブ演奏の盛況に見られるパフォーマンスとしての音楽の価値である。

「音」ではなく「場所」に付随する音楽である。音楽の価値を「パッケージ」から「パフォーマンス」へ変化させている(できる)音楽家もふたし、都市をデザインすることが本構想の目的である。

演奏や指揮が出来ない音楽家を渋谷一帯の地域に呼び込み、音楽教室とコンサートホールやライブハウスなど音楽が楽に演奏される場所を積極的に確保する。従来のパフォーマンスだけでなく、そのパフォーマンスを高品質に保持し、鑑賞できるサービスの可能性も検討する。